

Ⅱ 概 要

1 施 設

所在地 川崎市川崎区新川通12番1号

〒210-0013 TEL 044(233)5521 FAX 044(245)9600

敷地面積 19,813.32㎡

建物面積 6,325.94㎡

延床面積 49,890.18㎡

2 病 床 数

713床 内訳：一般 663床 感染 12床 精神 38床（平成30年3月31日現在）

へリポート

E L V機械室			
レストラン・職員食堂		15	食 養 科 厨 房
内科 (51床)	南 病 棟	14	内科 (47床)・透析 (5床)
内科・神経内科 (53床)		13	北 心臓血管外科・循環器科 (51床)
脳神経外科・皮膚科・放射線科・ リハビリテーション科・内科 (53床)		12	耳鼻咽喉科・眼科・歯科口腔外科・ 泌尿器科 (51床)
外科 (53床)		11	病 外科 (53床)
婦人科・整形外科 (52床)		10	整形外科・形成外科 (53床)
感染症 (12床)・救命救急センター (20床)		9	棟 精神科 (38床)
小児科 (41床)・GCU (18床)・ NICU (6床)		8	分娩室・産科 (44床)
講堂・会議室	電気室	7	リネン室・ベッドセンター 手術部空調機械室
総合医局	解剖室・霊安室	6	MEセンター
	ICU (8床) CCU (4床)	5	中央器材室 手術室 (11室)
	医療安全管理室	4	会議室・検体検査 図書室・病理検査・ 管理部門
	診療録管理室・内視 鏡室	3	小児科外来 生理・細菌検査・リハビリテー ション科・外来治療センター
	採尿・採血室・注射センタ ー・臨床研究支援室	2	歯科口腔外科 精神科・血液センター CT・X線・放射線科 結石破砕室
内科・総合内科・外科・ 脳神経外科・救命救急セ ンター	医事課・調剤室 入退院受付・売店・ATM	1	医療相談室・がん相談支援セン ター・SPD・防災センター 放射線治療科・MR・核医 学・廃棄物センター
	コジェネ室・ボイラー室	B1	中央監視室

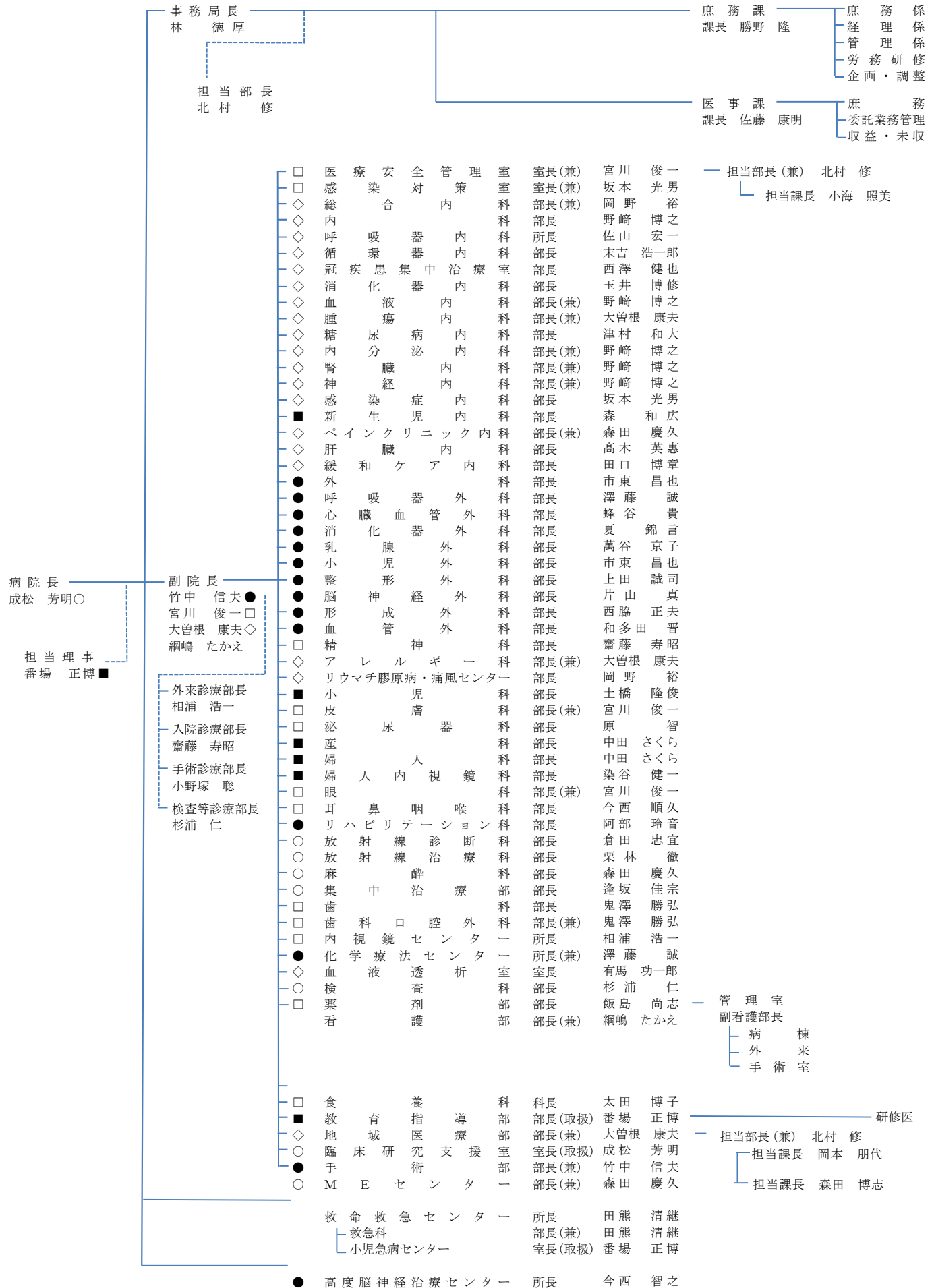
A棟 (外来棟)

B棟

C棟

3 機構 (平成 29 年 6 月 1 日現在)

担当
 ○成松 芳明 ■番場 正博 ●竹中 信夫 □宮川 俊一 ◇大曾根 康夫



4 職員の状況

(1) 職種別現員

(参考)

職 種	平成29年4月1日 現員数	平成29年度中 の増減	平成30年4月1日 現員数
医師	125	4	129
歯科医師	2		2
薬剤師	23	1	24
助産師	30	2	32
看護師	577		577
(再掲) 准看護師	3		3
歯科衛生士	2		2
栄養士	7	-1	6
臨床検査技師	23	-1	22
診療放射線技師	30		30
理学療法士	9		9
作業療法士	4		4
言語聴覚士	3		3
視能訓練士	2		2
臨床工学技士	8	-1	7
一般事務職	28	1	29
医療事務職	2	2	4
社会福祉職	3		3
心理職			
電気職	2		2
機械職			
小計	880	7	887

※ 准看護師数は、看護師数のうちの再掲の数字

※ 手術指導等医師以下、全て非常勤嘱託員

(2) 退職者及び院外異動者

*印は院外異動者

医 師

土井 賢 治	平成24年4月1日	～	平成29年4月30日
川崎 舍 俊一	平成27年10月1日	～	平成29年5月31日
荒木 耕 生	平成26年4月1日	～	平成29年6月30日
笠原 啓 史	平成28年4月1日	～	平成29年8月31日
美馬 雄 一郎	平成28年4月1日	～	平成29年9月30日
富岡 曜 平	平成27年4月1日	～	平成29年12月3日
大方 詩 子	平成26年10月1日	～	平成29年12月31日
富田 洋 平	平成27年4月1日	～	平成29年12月31日
竹中 信 夫	平成2年5月1日	～	平成30年3月31日
伊藤 真 梨	平成24年4月1日	～	平成30年3月31日
上野 和 典	平成25年4月1日	～	平成30年3月31日
荘 司 清	平成25年4月1日	～	平成30年3月31日
番場 正 博	平成25年4月1日	～	平成30年3月31日
石岡 桂	平成27年3月1日	～	平成30年3月31日
米森 京 子	平成27年4月1日	～	平成30年3月31日
黒岩 信 子	平成27年5月1日	～	平成30年3月31日
井上 正 純	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
菊池 弘 人	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
倉持 智 洋	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
富山 照 子	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
清田 康 弘	平成28年7月1日	～	平成30年3月31日
及川 裕 之	平成28年8月1日	～	平成30年3月31日
島貫 茉莉江	平成29年7月1日	～	平成30年3月31日
千田 佳 史	平成29年9月1日	～	平成30年3月31日
福田 純 子	平成29年9月1日	～	平成30年3月31日
藤田 成 人	平成29年10月1日	～	平成30年3月31日

東 條 嶺	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
堀内 康 平	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
森岡 紘 子	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
内 孝 文	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
李 昊	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
鈴木 昂 名	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
倉持 信	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
釧持 奈緒美	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
疋田 康 祐	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
村田 哲	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
大石 裕美子	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
奥島 久 貴	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
玉岡 哲	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
久保 馨 彦	平成30年1月1日	～	平成30年3月31日
長田 真 二	平成30年1月20日	～	平成30年3月31日

臨床研修医

鈴木 友 博	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
田中 李 樹	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
中川原 賢亮	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
中村 美 紀	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
中村 有 吾	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
西川 賢	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
原 碧	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
細尾 真奈美	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
市原 雄一郎	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
遠藤 洵之介	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
古橋 和 謙	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
間 崎 光	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日

非常勤医師・歯科医師

清水 翔 太	平成29年1月1日	～	平成29年5月31日
清水 杏 里	平成29年4月1日	～	平成29年6月30日
永岡 未 来	平成27年4月1日	～	平成29年8月13日
手塚 朋 子	平成27年4月1日	～	平成29年9月30日
石倉 佳代子	平成27年4月1日	～	平成29年9月30日
横山 貴和子	平成29年7月1日	～	平成29年9月30日
脇坂 悠 介	平成26年4月1日	～	平成29年12月31日
安東 一 樹	平成28年4月1日	～	平成30年1月19日
江原 和 美	平成23年4月1日	～	平成30年3月31日
鎌田 龍 明	平成26年4月1日	～	平成30年3月31日
津 軽 開	平成26年4月1日	～	平成30年3月31日
道振 康 平	平成27年4月1日	～	平成30年3月31日
明神 聡 介	平成27年4月1日	～	平成30年3月31日
矢島 祥 助	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
城谷 翔 太	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
上妻 嵩 英	平成28年4月1日	～	平成30年3月31日
進藤 淳 也	平成28年10月1日	～	平成30年3月31日
玉川 真 澄	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
梅田 浩 太	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日
阿部 彩由美	平成29年4月1日	～	平成30年3月31日

5 主要医療器械・備品

所属別	品名	規格	数量	備考
手術室	弁手術用開胸器システム	St.Jude Medical KS-7002 他	1式	
〃	婦人科用腹腔鏡システム	オリンパス UHI-3 他	1式	
〃	膝関節鏡システム	0988-010-000-S2 他	1式	
〃	脳神経外科内視鏡セット	オリンパス工業 光学視管 (A7500A) 他	1式	
〃	脳外科用手術顕微鏡	OPMI CS-NC+NC2	1	
〃	尿管鏡	原田産業 M3 テレスコープ 他	1式	
〃	頭部固定装置 (バデーハローリトラクター)		1	
〃	電動手術台 (手術台テーブル)	マッケ・ジャパン 1150.15DO	1	
〃	電気手術装置システム	エルベ VIO300D	1	
〃	電気手術装置	アムコ VIO300D	1式	
〃	電気メス装置	エルボトーム ICC350	1	
〃	電気メス	バリーラブ フォース FX 本体 他	3	
〃	超音波診断装置 (外科)	SSA-240A	1	
〃	超音波凝固切開装置	ジョンソン・エンド・ジョンソン ハーモニックスカルペルⅡ	1	
〃	超音波画像診断装置		1	
〃	創外固定器システム		1	
〃	全身麻酔器	オメダ エクセル 210SE	1	
〃	心拍出量測定装置	日本光電 DDG-2001	1	
〃	手術用無菌水手洗装置	MRE-SR-3 型, 2 型	1	
〃	自己血回収システム	セルセーバー 5 CS-2005	1式	
〃	耳鼻科用内視鏡手術装置	ストライカー MV-882TE 他	1	
〃	耳鼻科用ドリルシステム	ジンマー オステオンドリルシステム 5038-001	1式	
〃	耳鼻科内視鏡システム	カールストルツ IMAGE1	1式	
〃	耳鼻咽喉科用手術顕微鏡	ライカ M500-N/MS-1	1	
〃	子宮鏡セット	オリンパスヒステロスコープHYF-XP他	1式	
〃	高周波ラジオ波メス	エルマン・ジャパン サージマックス	1	
〃	結石破碎装置	コントロールユニット840-100 他	1	
〃	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS	1式	
〃	経食道トランスジューサー	オムニプレーン 2 21367A	1	
〃	関節鏡システム	ジンマー IM3300システム	1式	
〃	関節鏡システム	オリンパス	1式	
〃	患者監視装置	日本コーリン BP-508N	2	
〃	患者監視装置		1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
手術室	外科用X線テレビ装置	日立メディコ Sirius Floating/C	1式	
〃	マイダレックスモーターシステム	ムラナカ	1式	
〃	バリーラブフォースGSUユニット	米国バリーラブ社	1	
〃	ハーモニックスカルペル	ジョンソン&ジョンソン GEN04	1	
〃	ナビゲーターGPSシステム	タイコヘルスケア 097010 他	1式	
〃	ナビゲーションシステム	メドトロニック TERON plusシステム	1式	
〃	ドリルシステム	日本メドトロニック マイダスレックス・ハイスピードドリル・レジェンド・システム	1式	
〃	鏡視下脊椎手術セット	メドトロニック ME T R x システム	1式	
〃	イリゲーション付バイポーラセット	J & J CMC-3	1式	
〃	CT定位脳手術装置	駒井式	1	
〃	腹腔鏡用カメラシステム	オリンパス VISERAProシステム	1	
〃	電気手術装置	バリーラブ ForceTriad	4	
〃	超音波血流計	Medi-Stim社 トランジットタイム血流計VQ4122	1	
〃	全身麻酔器	GE横河メディカルシステム エスティバ7900Pro、気化器Sevotec7	2	
〃	耳鼻科用シェーバー/ドリルシステム	メドトロ・ソファモアダネック XPS3000	1	
〃	喉頭観察鏡システム	オリンパス PortaView-LF	1	
〃	急速輸液加温システム	スミスメディカル レベル1システム/レベル1ホットライン	1	
〃	マイクロサージェリー手術台	瑞穂医科 最低位41 c m以下	1	
〃	皮膚灌流圧測定器	カネカメディックス PAD3000	1	
〃	周術期患者情報システム	オムロンコーリン	1式	
〃	外科用手術顕微鏡システム	ライカ他M525-MS3/MKC-507	1式	
〃	電動マイクロドリル	ストライカーコアシステム	1	
〃	気道式ドリルシステム	エースクラップ他 ハイランHSコンプリートスペック他	1式	
〃	ラジオフリークエンシーシステム	スミスアンドネフュー他ValcanEASSystem他	1式	
〃	外科用X線TV装置	東芝メディカルシステムズ	1	
〃	生体情報モニタ	オムロンコーリンソーラー8000i	1式	
〃	ハーモニックスカルペルⅡ	ジョンソン・エンド・ジョンソンGEN04他	1式	
〃	処置用ビデオスコープ	オリンパス ENF-VT2	1	
〃	腎盂/上下尿路観察鏡セット	オリンパス URF-V他	1式	
〃	整形外科用ドリルシステム	ストライカー コードレスドライバー3	1	
〃	関節鏡カメラシステム	スミス・アンド・ネフュー 560シリーズ	1式	
〃	電気メス	東機質 ベサリウスMCM	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
手術室	電気けいれん治療器	光電メディカル サイマトロン	1	
〃	内視鏡手術カメラシステム	カールストルツ IMAGE1他	1	
〃	腹腔・胸腔用TVシステム	オリンパス OTV-S7PRO	1式	
〃	電解質TUR+内尿道切開システム	オリンパス WA22367A 他	1式	
〃	手術顕微鏡システム	ライカ OH4	1式	
〃	脊椎内視鏡 SPINAL ENDOSCOPES セット	カールストルツ spinal endoscopes セット	1式	
〃	腹腔鏡・胸腔鏡 TV システム	オリンパス VISERA ELITE 他	1式	
〃	超音波吸引システム	オリンパス SONOSURG-G2	1式	
〃	デュアルイメージングカラーモジュール	ライカ DIC500FL	1式	
〃	開胸器 (一般)	日本ストライカー システム7 胸骨鋸ハンドピース他	1式	
〃	眼科用冷凍手術システム	キラー・アント・ワイター クライマチック M-4100	1式	
〃	超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン VIVIDi	1	
〃	バッテリーハンドピース	日本ストライカー システム7 シングルトリガーロータリーハンドピース他	1式	
〃	下肢静脈瘤レーザー治療用超音波診断装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQe Expert	1	
〃	内視鏡下手術用 TV システム	オリンパス VISERA ELITE OTV-S190 他	1式	
〃	眼底観察システム	カールツァイス Resight 他	1式	
〃	下肢静脈瘤レーザー治療器	インテグラル ELVeS レーザー	1	
〃	移動型外科用X線撮影装置	GEヘルスケアジャパン OEC9900 Elite Standard-C 12Inch	1	
〃	Force Triad	コウイデイエン エネキーププラットフォーム	1	
〃	手術用治療機器	オリンパス Surgical Tissue Management System	1	
〃	白内障・硝子体手術装置	日本アルコン コンステレーションビジョンシステム LXT	1	
〃	内視鏡システム	日本ストライカー 内視鏡 1488 カメラシステム 他	1	
〃	軟性尿管ビデオスコープ	オリンパス URF-V 他	1	
〃	手術用無影灯 STERIS LED 2灯式	アムコ S27-0724 他	1	
〃	手術用ナビゲーションシステム	ブレインラボ KICKナビゲーションシステム	1	
〃	電動手術台	マツケジャパン	1	
〃	ハイスピードドリル	日本メドトロニック EM200 他	1	
〃	手術用カメラ・I テレスコープ	カールストルツ	1	
〃	超音波画像診断装置	LOGIQ S8	1	
〃	無影灯	STERIS LED 2灯式	2	
〃	無影灯	STERIS LED 2灯式 (カメラ非対応) S27-5953	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
手術室	高周波電源焼灼装置灼装置	USG-400	1	
	無影灯	アムコ STERIS LED 2灯式	2	
	無影灯	アムコ STERIS vLED 2灯式 (カメラ非対応)	1	
	da Vinci Si	インテュイティブサージカル	1	
	エアシールインテリジェントフローシステム	センチュリー AS-iFS1	1	
	耳鼻科手術用ナビゲーションシステム	日本メドトロニック 9733560	1	
	全身麻酔器	GE ヘルスケアジャパン アバンス CS2Pro	1	
	婦人科手術用 HD カメラシステム	カールストルツ	1	
	ヘッドレストシステム	ユフ精器 LUNA スタンダードリトラクターシステムセット	1	
	腹腔・胸腔鏡用 TV システム	オリンパス OTV-S190	1	
	Q-SW ルビーレーザー	エムエムアンドニーク MODEL IB101	1	
	バーサパルスセレクト 30W	ボストンサイエンティフィックジャパン	1	
	無影灯	アムコ STERIS vLED	1	
	モバイルCアームシステム	PHILIPS BV Vectra	1	
	無影灯	アムコ STERIS LED	1	
	手術麻酔記録支援システムハードウェア	フクダコーリン CIS-OR	1	
	腹腔・胸腔鏡用 TV システム関連	オリンパス VISERA ELITE システム	1	
	◎外科ラパロ鉗子セット	オリンパス/GEISTER/カールストルツ 一式	1	
	◎超音波診断装置 (消化器外科)	日立製作所 F37	1	
	◎オシレーター (手術用ドリル)	ジンマーバイオメット パワープロエアー PR-6175-000-00	1	
	◎全身麻酔器	GE ヘルスケア・ジャパン エイス CS2ProEtC	1	
	◎モルセレーターシステムセット	カールストルツ・エンドスコープ・ジャパン 一式	1	
	◎血液ガス分析装置	ノバ・バイオメディカル	1	
	◎超音波手術器	日本ストライカー ソノヘッド UST-2001	1	
	◎電動手術台 MERRA	ゲティンゲ 720001B0	6	
	◎ヒステロビデオスコープ	オリンパス VISERA HYP-V	1	
器材室	滅菌コンテナ		1	
	中央器材室セット5	ムラナカ 113-002-03 他	1式	
	システム乾燥機	サクラ精機 SNK-1152E	1	
	インテリジェントトレイシステム	自治体病院共済会	1式	
	スリッパ洗浄器	オカダ医材	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
器材室	酸化エチレンガス滅菌装置	サクラ精機他 SHE-G15W 型	1式	
	ジェット式超音波洗浄装置	シャープ MU5100	2	
	ジェット式超音波洗浄装置	サクラ精機 WUS-3100	1	
	高圧蒸気滅菌装置	H S 6613 T D R 2 - S R - U L	1	
	超音波洗浄装置	モレーンコーポレーション MDE11132-5S	1	
	過酸化水素ガス滅菌器	キヤノンライフケアソリューションズ ES-700i	1	
	過酸化水素ガス滅菌器	キヤノンライフケアソリューションズ ES-1400S	1	
麻酔科	混合血酸素飽和度監視システム	日本光電 INVOS4000 他	1	
	全身麻酔器	GE 横河メディカル エステイバ 7900	1	
	人工呼吸器解析装置システム	大正医科 VT-PLUS	1式	
	人工呼吸器	日本光電 ザビーナ	1	
	血液ガス分析装置	ノバ・メディカル スタットプロファイル C C X 1	1	
	全身麻酔器	GEヘルスケア アバンスケアステーション P r o	2	
	経皮的循環補助システム	テルモ キャピオックスEBS他	1式	
	全身麻酔器	GEヘルスケアジャパン アバンスケアステーションPro	2	
	超音波診断装置	富士フイルム S-Nerve	1	
	外来手術室	高周波ラジオ波メス	エルマン サージマックス	1
	眼科用手術顕微鏡	カールツァイス OPMI Lumera T	1	
	超音波白内障硝子体手術装置	アルコン インフィニティ・アキュラス4400	1	
	眼科用ヤグレーザー手術装置	エレックス ウルトラQオフサルミックヤグレーザー	1	
	ミニCアームX線診断装置	ホロジック	1	
M E センター	体外循環用血液パラメーターモニターシステム	テルモ CDI500	1式	
	人工呼吸器	日本光電 ザビーナ	1	
	人工呼吸器	日本光電 Savina5380008 他	1	
	人工呼吸器	日本光電 EVT-4000 他	1	
	人工呼吸器	東機貿 ニューポート E100M	1	
	人工呼吸器	東機貿 E-100M	6	
	人工呼吸器	ニューポートベンチレーター	2	
	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル ザビーナ	2	
	自動赤血球沈降速度測定器	TMR-6000	1	
	血液成分分離装置	スペクトラVer6	1	
	医用テレメーター	日本光電 WEP-8530	2	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
M E センター	医用テレメータ	日本光電 WEP-4204		
〃	医用テレメータ	日本光電 WEP-4204	1	
〃	ライフスコープ11	日本光電	1	
〃	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-7105,7106	1	
〃	ニューポートレスピレーター	東機貿 E-100A	5	
〃	心筋保護液供給システム	泉医科 HCP-5000	2	
〃	医用テレメータ	日本光電 WEP-5218	1式	
〃	人工呼吸器	日本光電 HAMILTON-C2	2	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina300	3	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina300	2	
〃	心拍出量測定装置	エドワーズライフサイエンス Vigilance II	2	
〃	非侵襲的人工呼吸器	フィリップス・レスピロニクス V60	1	
〃	輸液ポンプテスター	フルーク・バイオメディカル IDA-4Plus/4ch,データ解析用パソコン 東芝Dynabook T453/33JW	1	
〃	血液浄化装置	旭化成メディカル ACH-Σ,データ解析用パソコン 富士通LIFEBOOK P772/G	1	
〃	ビシランスヘマトイミックス (心拍出量測定装置) 1/2	エドワーズライフサイエンス VIG2	1	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina300	2	
〃	バイタルサインシミュレーター	大正医科 Prosim8SP	1	
〃	人工呼吸器	レスピロニクス Trilogy02Plus	1	
〃	人工呼吸器	コヴィディエン PB980	1	
〃	人工呼吸器	コヴィディエン PB840	1	
〃	バイタル連携対応機器	テルモ	1	
〃	閉鎖・開放両用保育器	アトムメディカル Dual Incu	1	
〃	人工呼吸器	COVIDIEN ベネットベンチレータ980TypeU	1	
〃	電気メス	エルベ VI0300Dベーシックバイクランプモデルプラス	1	
〃	バイタル連携対応機器	テルモ	1	
〃	◎人工呼吸器	コヴィディエン ベンチレータ840	3	
〃	◎通信機能付バイタルサイン測定機器	テルモ 電子体温計C215 ET-C215S	1	
〃	◎多用途血液浄化装置	旭化成メディカル ACHΣ	1	
放射線科	乳房用X線撮影装置	インストルメンタリウムイメージング社 (diamond)	1	
〃	超音波画像診断装置・腹部検査用	東芝メディカルシステムズ	1	
〃	大容量冷却遠心機		1	
〃	体外式衝撃波結石破碎装置	ドルニエメドテックシステムズ Delta II	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
放射線科	パノラマ撮影X線装置	モリタ X500CP-CR	1	
〃	治療計画用CT装置	東芝メディカルシステムズ AquilionLB TSX-201A/1A 16列	1	
〃	腔内小線源治療装置	ニュークレトロン社 マイクロセレクロンHDR	1	
〃	救急外来用一般X線撮影装置	島津製作所 UD150B-40 他	1式	
〃	救急室X線CT装置	東芝メディカルシステムズ Aquilion CX	1式	
〃	移動型X線撮影装置	日立メディコ シリウス130H P	1	
〃	移動型X線撮影装置	島津製作所 モバイルアートルミナ	1	
〃	放射線治療システム	バリアン社 CLINACiX	1式	
〃	放射線監視システム		1式	
〃	ピクチャーテルメドリンク S	ピクチャーテル CP-1746	1	
〃	ハンドフットクロスモニター	アロカ MBR-201	1	
〃	定位放射線治療システム	ユーロメディテック社スカルペル	1式	
〃	多軌道断層撮影装置	島津製作所 HLZ-110	1	
〃	X線骨塩定量装置	QDR-4500A	1	
〃	X線CT装置	東芝メディカルシステムズ Aquilion64	1式	
〃	RI遮蔽用鉛貯蔵庫	TH-J1331	1	
〃	RIフード	TH-F1602	1	
〃	MR造影剤自動注入装置	根本杏林堂 ソニックショット50 他	1	
〃	超電導磁気共鳴画像診断装置	フィリップス Achiva 1.5T NovaDual	2式	
〃	CRシステム	FCR5000, FCR9501-HQ 他	1式	
〃	遠隔式X線透視撮影装置	島津製作所 Cvision Saffire 17	1	
〃	X線CT装置	東芝メディカルシステムズ Aquilion64	1	
〃	ガンマカメラ	シーメンスジャパンSymbia E	1	
〃	医用画像作成装置及び外部データ取込み装置	コドニクス他 画像取込/書き込み一式	1式	
〃	アブレーションシステム	セントジュード CoolPathシステム一式	1式	
〃	心血管用アンギオ装置	フィリップス Allura Xper FD10	1	
〃	汎用アンギオ装置	フィリップス Allura Xper FD20	1	
〃	インバータ式回診用X線撮影装置	島津製作所 MobileArt Evolution	1	
〃	放射線読影レポート用音声入力システム	アドバンスト・メディア	1式	
〃	デジタル画像処理システム	富士フィルムメディカル CALNEO-C 他	1式	
〃	多目的デジタルX線 TV システム	島津製作所 SONIALVISION G4	1	
〃	X線発生装置	東芝メディカルシステムズ RADREX MRAD-A80S/2G	4	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
放射線科	X線発生装置	東芝メディカルシステムズ RADREX MRAD-A80S/BH	2	
〃	回診用X線撮影装置	FUJIFILM DR CALNEO Go	1	
〃	◎放射線治療システム関連機器アップグレード	バリアンメディカルシステムズ	1	
〃	◎一般X線撮影間接変換FPD装置	コニカミノルタ	1	
〃	◎PET-CT装置	シーメンスヘルスケア Biograph Horizon 一式	1	
検査科	誘発電位検査装置	日本光電 MEB-5508	1	
〃	病理検査支援システム	インテック Expath II	1式	
〃	脳波検査システム	日本光電 EEG-1514	1式	
〃	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス光学 EVIS-NET	1式	
〃	電子顕微鏡	日本電子 JEM-1010	1	
〃	超音波診断装置（循環器）	GE横河メディカル Vivid7 Dimension 4D	1	
〃	超音波画像診断装置	Core Vision SSA-350A, 340A	2	
〃	超音波画像診断装置	GEヘルスケアジャパン LOGIQ7	1	
〃	心電計	日本光電 ECG-9422 他	1	
〃	心電計	日本光電 ECG-9372	3	
〃	実験台4（解剖室）		1	
〃	実験台3（標本切出室）		1	
〃	実験台2（病理検査室）		1	
〃	実験台1（細菌検査室）		1	
〃	自動封入装置	サクラ精機 SGC-400-D	1	
〃	自動染色装置	サクラ精機 DRS-2000B	2	
〃	嫌気性インキュベーター	ヒラサワ ANX-3 (a)	1	
〃	蛍光顕微鏡	本体 ニコン E8-RFL-2 他	1	
〃	解剖台	サクラ精機 KBH-LA	1	
〃	密閉式自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン ETP-5-F	1	
〃	ABIフォルム	日本コーリン from PWV/ABI	1	
〃	超音波診断装置	GEヘルスケア LOGIQ7	1	
〃	凍結組織切片作製装置	サクラファインテック ティシューテッククライオ	1	
〃	自動採血管準備システム	テクノメディカ BC・ROBO-787	1式	
〃	血液照射装置	IBL-437C	1	
〃	超音波診断装置	GEヘルスケア LOGIQ7	1	
〃	生理検査システム	日本光電 PrimeVita他	1式	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

（取得価格：160万円以上）

所属別	品名	規格	数量	備考
検査科	呼気ガス分析装置	ミナト医科 AE-310SRC他	1式	
〃	血圧脈派検査装置	オムロン HFA-203RPEⅢ	1	
〃	全自動免疫染色装置	ライカ Bond-max	1式	
〃	超音波診断装置(乳腺精細用)	日立アロカメディカル Preirus	1式	
〃	総合肺機能検査システム	チェスト CHESTAC-8900N	1	
〃	脳波計	日本光電 EEG-1218	1	
〃	血液培養装置	シスメックス・ビオメリュー バクテアラート3D 360型	1	
〃	全自動同定・感受性検査装置 ／感染制御システム	シーメンスヘルスケア マイクロスキャン WalkAway96Plus	1	
〃	脳波計	日本光電 EEG-1214	1	
〃	筋電図・誘発電位検査装置	日本光電 MEB-2312	1	
〃	システム生物顕微鏡	オリンパス BX-53	1	
〃	加算心電図ソフトウェア付心電計	日本光電 ECG-2550	1	
〃	長時間心電図解析装置	日本光電 DSC-5500	1	
〃	超音波診断装置	Philips EPIQ7	1	
〃	全自動輸血検査装置	オーソ VISION	1	
〃	◎運動負荷心電図測定装置	日本光電 ECG-2450	1	
〃	◎凍結切片作成装置	サクラファインテックジャパン ティシュー・テック ポーラ DM POLAR-DM	1	
内視鏡センター	内視鏡画像ファイリングシステム	オリンパス光学 EVIS-NET	1式	
〃	電子内視鏡システム	フジノン東芝 ES システム EL2-TF410	1式	
〃	電子内視鏡システム	オリンパス EVIS ルセラ 260 システム	1式	
〃	電子内視鏡システム	オリンパス CV-260SL 他	1式	
〃	大腸ビデオスコープ	オリンパス EVIS LUSER PCF240 i	1	
〃	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q260A	2	
〃	大腸ビデオスコープ	オリンパス CF-Q240ZI	1	
〃	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q260	2	
〃	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	3	
〃	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1	
〃	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260Z	2	
〃	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	1	
〃	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-Q240	1	
〃	十二指腸用電子スコープ	オリンパス JF-240	1	
〃	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス TJF-240	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
内視鏡センター	下部消化管ビデオスコープ	オリンパス PCF-240L/ i	1	
〃	ベットサイドモニター	日本光電 BSM-83D1	1	
〃	内視鏡管理システム	オリンパス SolemioENDO	1 式	
〃	高周波手術装置	エルベ VIO-300D	1	
〃	気管支ビデオスコープ	オリンパス EVISLUCERA BF-6C260	1	
〃	アルゴンプラズマシステム	アムコ アルゴンプラズマ APC300 他	1 式	
〃	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	2 式	
〃	消化器内視鏡システム	オリンパス EVIS LUCERA SPECTRUM	2 式	
〃	気管支超音波穿刺システム	オリンパス スコープ BF-UC260F-OL8/観測装置 EU-C2000	1	
〃	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1	
〃	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q26AI	1	
〃	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-H260	1	
〃	大腸ビデオスコープ	オリンパス PCF-Q2660AZI	1	
〃	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	1	
〃	超音波内視鏡システム	オリンパス EU-ME1 他	1 式	
〃	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-XP260F	1	
〃	上部消化管ビデオスコープ	オリンパス GIF-XP260NS	1	
〃	気管支ビデオスコープ	オリンパス BF-260	1	
〃	十二指腸ビデオスコープ	オリンパス JF-260V	1	
〃	内視鏡室マネージメントシステム	Solemio ENDO Ver. 4	1	
〃	電子内視鏡システム	LUCERA ELITE CV-290	1	
〃	電子内視鏡システム	オリンパス	1	
〃	◎気管支鏡システム	オリンパス CV-290 他一式	1	
〃	◎電子内視鏡システム	オリンパス CV-290 他一式	1	
内科	携帯型超音波診断装置	ソノサイトジャパン iLook25	1	
〃	血管内超音波診断装置	テルモ TU-C200	1	
〃	超音波診断装置	GEヘルスケア LOGIQP5	1	
〃	個人用多用途透析装置	日機装 DBG-03	1	
〃	医用テレメータ	日本光電 WEP-5208	1	
産婦人科	超音波診断装置	持田シーメンスメディカル ソノビスタ C3000	1	
〃	超音波診断装置	東芝 SSA-340A 他	3	
〃	婦人科内視鏡システム	オリンパス VISERA-PROCCU 他	1 式	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
産婦人科	超音波診断装置	日立アカデミック Prosound α 6	1 式	
〃	超音波画像診断装置 VOLUSON P8 1/3	GEヘルスケア・ジャパン VOLUSON P8	4	
〃	超音波診断装置	持田シーメンス X500	1	
〃	ヒステロ内視鏡システム	オリンパス OTV-S190	1	
〃	超音波画像診断装置	GEヘルスケアジャパン Voluson S8	1	
外科	超音波診断装置		1	
〃	ラジオ波焼灼装置	ボストンサイエンティフィックジャパン RF3000	1	
〃	超音波診断装置	東芝メディカルシステムズ Xario200	1	
呼吸器外科	気管支ビデオスコープ	BF-P290	1	
耳鼻咽喉科	聴力検査装置	リオン AA-75	1	
〃	耳鼻科ユニット	永島医科 SNニューピアレスF (片面)	3	
〃	喉頭電子スコープセット	オリンパス ENF-V 他	1 式	
〃	吸入器	SNネブライザー装置ルミエール	1	
〃	鼻咽内視鏡システム	オリンパス VISERA-PROCCU 他	1 式	
〃	インピーダンスオーディオメーター	リオン RS-22	1	
〃	重心動揺計	アニマ グラビコグ GP-5000	1	
〃	眼振図解析システム	第一医科 ニスチグラフ FNG-1004 他	1 式	
〃	神経刺激モニター	日本メドトロニック NIMレスポンス 3.0	1 式	
〃	耳鼻咽喉ビデオスコープ	オリンパス ENF-VQ	1 式	
〃	オーディオメーター	リオン AA-H1	1	
泌尿器科	泌尿器用内視鏡装置	武井医科 TV-3500	1	
〃	泌尿器科用検診台	モリタ製作所 SPN-1	1	
〃	ウロダイナミクス検査装置	アムコ ウロラブスペクトラム	1	
〃	泌尿器内視鏡システム	オリンパス VISERAPro システム	1	
〃	超音波診断装置	東芝 NEMIO XG	1	
〃	◎フラッシュャーディスプレイ エクター	ゲティンゲグループ・ジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
整形外科	埋込型シャウカステン	森山X線 ISH-02U (36台) 他	1 式	
皮膚科	診断用顕微鏡	ニコン エクリプス 80i MTH5-31	1	
〃	近赤外線治療器	東京医研 スーパーライザー HA-2200LEI-DX 2WAY	1	
形成外科	CO2 レーザー手術装置	日本ルミナス	1	
眼科	網膜電気図記録装置	トーマー PE-3000	1	
〃	非接触式角膜内皮細胞撮影装置	コーナン社 ノンコロソ	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
眼科	投影式精査型視野計	タカギセイコー プロジェクションペリメーターMT-325UD	1	
〃	超音波画像診断装置	トーマー UD-6000A/B 他	1	
〃	自動視野計	カールツァイス HFA II 740	1	
〃	光干渉断層計	フーリエドメイン OCTRT Vue-100	1	
〃	眼科検査訓練機器	クレメントクラーク社 シノプトフォア 2001 他	1	
〃	画像ファイリング機能付スリットランプ	カールツァイス SL130	1	
〃	角膜形状測定装置	トーマー TNS-4	1	
〃	オートレフケラトメーター	キャノン RK-5	1	
〃	オートレフ・ケラトメーター	キャノン RK-F1	1	
〃	眼底カメラ	コーワ VX-10 i	1	
〃	マルチカラーレーザー光凝固装置	ツァイス	1	
〃	ビズラスPDTシステム	スリットランプ SL130 付システム 690 S	1	
〃	眼科診療支援システム	ニデック NAVIS-HP 他	1	
〃	細隙灯顕微鏡	ハーグストレート 900BQ LED	1	
〃	細隙灯顕微鏡	カールツァイス	1	
〃	オートレフケラトトノメーター	キャノン TX-20P 他	1	
〃	眼圧・角膜厚測定装置	キャノンライフケアソリューションズ TX-20P	1	
〃	眼軸長測定機器	カールツァイス iOL マスター (モデル 700)	1	
〃	眼科ファイリングシステム	ニデック NAVIS-AZU	1	
腎センター	多人数透析液供給装置	日機装 DAB-05B	1	
〃	逆浸透性精製水製造装置	東レ・メディカル TW-300HI	1	
〃	◎多人数用透析液供給装置	日機装 DAB-10NX	1	
救急室	搬送用人工呼吸器	ドレーグルメディカル オキシログ 3000	1	
〃	経皮的心肺補助装置	テルモ キャピオックス EBS 他	1 式	
〃	超音波診断装置	富士フイルムメディカル	1	
〃	◎患者シミュレータ (SimManALS)	レールダルメディカルジャパン 235-20001	1	
〃	◎患者シミュレータ (レサシアンシュミレータ PLUS)	レールダルメディカルジャパン 150-21001	1	
救命救急センター	高機能患者シミュレータ	METI (アイエムアイ) ECS 成人モデル	1	
〃	高機能 ICU ベッド	ヒルロム トータルスポーツケア	1	
〃	救急用ストレッチャー	日本ストライカー SM204	1	
〃	ポータブル超音波診断装置	ソノサイトジャパン マイクロマックス	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
救命救急センター	ヘモダイナミックモニター	エドワーズライフサイエンス VIG2	1	
	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
	ベッドサイドモニター	日本光電 BSM-2301	1 式	
	病棟モニタリングシステム	日本光電 CNS-9701	1 式	
	全自動血液ガス分析装置	バイエルメディカル ラピッドポイント 405	1 式	
	心電図受信装置	日本光電 CNS-9701	1 式	
	人工呼吸器	日本光電 EVT-400	2	
	血液透析濾過装置	旭化成メディカル Plasauto i Q21	1	
	救急用受信システム	日本光電 WEC-4100	1 式	
	陽・陰圧体外式人工呼吸器	メディベント社 RTX	1	
	超音波診断装置	ソノサイト L04326 他	1 式	
	救急・搬送用人工呼吸器	ドレーゲル	1	
	超音波診断装置（救急用）	富士フイルムメディカル FAZONE M	1	
歯科口腔外科	歯科用ユニット	FGMD2-163L	2	
	歯科用キャビネット	ウエダ キャビネットABC他	1	
	歯科用インスツルメント	長田電気	1	
	感染対策歯科セット	OFJ-MZLタービンセット 他	1 式	
	デンタルユニット	GM/ML-223LL	1	
	セントラルシステム	フレクシークリーンエアバキューム 他	1 式	
心臓血管外科	遠心ポンプ	テルモ サーンズセントリフューガルシステム	1 式	
	大動脈内バルーンポンプ	ゼメックス IABP	1	
	大動脈内バルーンポンプ	エドワーズライフサイエンス CS-100	1	
	人工心肺装置	スタッカート スタッカート S5	1	
リハビリ	耳鼻咽喉ファイバースコープ	町田製作所 FLT-SIII 他	1	
	磁気刺激装置	ミュキ技研 マグスティムラピッドシステム	1 式	
	バランス・計測訓練機器	アニマ キネトグラビコーダ G-7100 他	1	
	トレッドミル		1	
	耳鼻咽喉ビデオスコープ	オリンパス OTV-S190 他	1	
	チルトテーブル水平位サポート台	酒井医療 SPR-7000D	1	
透析室	透析用監視装置	日機装 DCS-73	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
透析室	HDF 監視装置	日機装 DCG-03	1	
〃	多用途透析監視装置	日機装 DCG-03	1	
〃	個人用透析装置	日機装 DBB-27	1	
8 階北病棟	新生児連れ去り防止システム	マトリックス IC タグセキュリティーシステム	1 式	
〃	産科病棟セキュリティーシステム	シスメックス C-CV20-2 他	1 式	
〃	顕微受精システム	オリンパス ON2-ICSI-II	1 式	
〃	分娩台	アトム LDR-7000	1	
〃	分娩監視装置・単胎用	アトムメディカル FM-20A/E-20 他	1 式	
〃	分娩監視装置・双胎用	アトムメディカル FM-20B/E-20 他	1 式	
〃	超音波画像診断装置 SONOVISTA FX	シーメンス SONOVISTA FX premium edition	1	
〃	分娩台	アトム マミージョイ LDR 14320	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
〃	◎超音波診断装置(産婦人科)	GE ハルスガ・ジャパン Voluson P6	1	
〃	◎胎児集中監視システム	アトムメディカル FSV セントラルモニター式	1	
〃	◎フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲグループ・ジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
8 階南病棟	フラッシュャーディスインフエクター	GETINGE607LCC-2P-50	1	
8 階西病棟	人工呼吸器(ベンチレーター)	東機貿 SLE2000 他	1	
〃	新生児用人工呼吸器	東機貿 SLE2000HFO	1	
〃	インファントウォーマー	アトム V-505HL	1	
9 階北病棟	◎フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲグループ・ジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
9 階南病棟	肺理学療法システム	ヒルロム (パラマウント) トータルケアスポーツ	6	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル Savina	1	
〃	アークティックサン	アイエムアイ モデル 2000 VER. 4	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲ GETINGE607	1	
10 階北病棟	フラッシュャーディスインフエクター	GETINGE607LCC-2P-50	1	
〃	病棟用医用テレメータシステム	HXC-1150	1	
10 階南病棟	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
11 階北病棟	超音波画像診断装置	腹部検査用	2	
〃	新生児用人工呼吸器	東機貿 SLE2000	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
11 階南病棟	血管アクセス用超音波診断装置	メディコン サテライト 5	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	GETINGE607LCC-2P-50	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
1 2 階北病棟	耳鼻科ユニット	永島医科 S I Vニューピアレス	1	
〃	細隙灯顕微鏡	ハーグストレイト 900BQV 他	2	
〃	ネブライザーユニット	永島医科 SN-P型3人用	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
〃	◎超音波診断装置	日立製作所 ARIETTA60	1	
1 2 階南病棟	8人用医用テレメーター	日本光電 WEP-5218	1 式	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
1 3 階北病棟	セントラルモニター	オムロンコーリン HXC-1190 他	1 式	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲ GETINGE607	1	
1 3 階南病棟	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲ GETINGE607	1	
〃	超音波診断装置	コニカミノルタ SONIMAGE HS1-4	1	
〃	◎医用テレメータシステム (13階南病棟用)	日本光電 WEP-5218	1	
〃	◎医用テレメータシステム	日本光電 WEP-5268	1	
1 4 階南病棟	医用テレメーター	オムロンコーリン HXC-1100 他	1 式	
N I C U	新生児用聴覚検査装置	日本光電 MAAS	1	
〃	新生児用人工呼吸器	ドレーゲル Babylog 8000plus	4	
〃	新生児用人工呼吸器	イワキ カリオペα	2	
〃	光凝固装置	エレックス ソリティア	1	
〃	血液ガス分析装置	ラジオメーター ABL835FLEX	1	
〃	CR システム	コダック CR ELITE-19	1	
〃	ポータブルX線撮影装置	シーメンス MOBILETT XP	1	
〃	カウンターユニット・シーリングモジュール	セントラルユニ カウンターユニット+ シーリングモジュール	1	
〃	CRP 測定器	日水製薬 エバネット E V 20	1	
〃	脳機能モニタ	アイエムアイ 16ch 124 01 20	1	
〃	呼吸機能測定装置	アイビジョンアーフェルⅢ	1	
〃	閉鎖式保育器	アトムメディカル	10	
〃	生体情報モニター	フィリップス MP50	5	
〃	体温管理システム	アイ・エム・アイ アークティックサン	1	
〃	搬送用保育器	アトムメディカル V-808 Sp02	1	
〃	開放型保育器	アトムメディカル インファウォーマー I	1	
〃	閉鎖循環式保育器	アトムメディカル インキュI	1	
〃	閉鎖循環式保育器	アトムメディカル インキュI	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
N I C U	◎開放型保育器	アトムメディカル インファウオーマ i 蘇生装置 I	1	
I C U / C C U	人工呼吸器	ドレーゲルメディカル エビタ 4	1	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル エビタ X L	1	
〃	人工呼吸器	ドレーゲル EVT4000	3	
〃	持続緩徐式血液濾過装置	旭メディカル Plasauto iQ	1	
〃	在室患者監視システム	オムロンコーリン ベッドサイドモニタ Solar8000i	1	
〃	ICU 天井懸垂システム	インケアポート MODEL-277	1 式	
〃	血液浄化システム	旭化成クラレ プラソート I Q21	1	
〃	高機能 ICU ベッド	パラマウントベッド KH-151	1	
〃	フラッシュャーディスインフエクター	ゲティンゲジャパン GETINGE607LCC-2P-50	1	
〃	◎人工呼吸器	ドレーゲル・メディカル Evita Infinity V500	2	
感染対策室	採痰ブース	日本医科器械製作所 VCM-1500N2	1	
薬剤部	薬剤保管用縦型回転柵	クラヤ薬品 92C3-315-42	1	
〃	薬剤管理業務支援システム	ユヤマ クスリ箱エース 21 他	1 式	
〃	薬剤トレイ回収システム	セントラルユニ	1 式	
〃	電動式移動柵	クラヤ薬品 RAM-5240 K-TE 他	1	
〃	蒸留水製造装置	清水理化学機器 TKS-30	1	
〃	IVH 機器システム	日科ミクロン	1 式	
〃	調剤支援システム	ユヤマ一式	1 式	
〃	全自動散薬分包機	ユヤマ YS-TWIN-R93III	2	
〃	全自動錠剤分包機	ユヤマ YS-TR-330FDS2	1	
〃	薬液・薬ビン用蒸気滅菌器	サクラ精機 Σ IIIYR-B09SLPC	1	
〃	注射薬自動払出システム	トーショー UNIPUL-4000-V4	1	
〃	バイオハザード対策用キャビネット	日科ミクロン B C G 401	2	
食養科	プレハブ冷凍庫	日本調理機 HCA22A	1	
〃	食器洗浄機	日本調理機 DWF2-6RPE-01	1	
〃	哺乳瓶用乾熱滅菌装置	三田理化学工業 MB-20E	1	
〃	スチームコンベクションオープン	ニチワ SCOS-2020RH-L 他	1 式	
〃	温冷配膳車	エクター MOG48RER-SY	4	
〃	温冷配膳車	エクター MOG40SER-SY	2	
〃	電気スチームコンベクションオープン	ニチワ電機 SCOS-2010RH-R	1	
〃	◎温冷配膳車	エクター MOG40SER-SY	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

所属別	品名	規格	数量	備考
食養科	◎単槽型ウォッシャーディスインフェクター	村中医療器 ミーレジェットウォッシャーPG8536	1	
看護部	◎看護管理支援システム	インフォコム	1	
医事課	総合医療情報システム	富士通	1 式	
〃	ムーブラック	イトーキ	1	
〃	収納 POS レジシステム	富士通	6	
〃	自動精算機	グローリー IHV-PCS	2	
教育指導部	救命処置トレーニングシステム	レイダル社ハートシステムACLSトレーニング	1 式	
〃	救命処置トレーニングシステム	レイダル社ハートシステムACLSトレーニング	1 式	
〃	システムオートラック	マルタン	1	
庶務課・管理	物品器材管理システム	セントラルユニ	1 式	
〃	物品管理システム	セントラルユニ	1 式	
〃	プラスチック破砕器	EC-15-30-B	1	
〃	ピアノセット	ヤマハ C3L	1 式	
〃	防災対策用カメラシステム	ヤマハ C3LTOA C-CV160S-3 他	1 式	
川崎病院	急性期患者情報システム	オムロンコーリン ICUシステム・ERシステム・ORシステム	1 式	
〃	デジタルサイネージ機器	シャープ	1	

◎印は平成29年度新規購入及び買換を示します。

(取得価格：160万円以上)

6 主な委託業務

病院業務の効率的な運営を期して、業務の一部を次のとおり委託しています。

平成10年度から委託業務の一部を整理統合しました。

委託業務名	委託内容	開始年度
清掃	院内（病棟区域・外来区域）、構内清掃	昭和32年度
リネンセンター運営管理業務	診療衣・看護衣・診察用布等の洗濯、折りたたみ 新生児・乳幼児用肌着等の提供と洗濯 入院患者寝具・洗濯・病棟配布 宿直職員及び夜勤看護師用寝具の提供と補修・洗濯 患者病衣の提供 ベッドセンター運営管理・補修室縫製等	昭和35年度 昭和41年度 昭和41年度 昭和48年度 平成6年度 平成10年度
施設管理業務	空調機・自家発電機・医療ガス設備・昇降機点検 機械設備管理・運転監視・空調設備保守等	昭和45年度 平成10年度
消防設備関係	外観・機能点検1回、総合点検1回	昭和45年度
検査業務	一般・血液・生化学・血清・細菌検査	昭和45年度
医事業務	診察データの入力・診療報酬請求書・行為別集計等の作成 臨床クラーク（病棟及び外来の医療業務上の事務補助） 初診受付・再診受付・外来会計受付・電算入力 事務当直業務（時間外患者受付） 医事業務（全面委託）	昭和52年度 平成1年度 平成1年度 平成2年度 平成5年度
給食業務	調理・盛り付け・配膳・下膳・食器洗浄等 給食材料の発注及び検収等	平成7年度 平成23年度
情報システム運用業務	総合医療情報システム管理運用業務	平成10年度
物流管理業務	S P D（物流管理）・滅菌業務	平成10年度
院内保安警備	院内の保安警備、駐車場管理業務 防災センター監視業務ほか	昭和43年度 平成10年度
放射性物質濃度法定測定	作業環境法に基づく測定業務	平成1年度
電話交換業務	電話交換・院内放送業務	平成10年度
感染性産業廃棄物処理	廃棄物処理法による感染性産業廃棄物の処理	平成4年度
医事データ遠隔地保管	医事データのバックアップを外部で保管	平成13年度
その他	歯科技工、害虫駆除、植木剪定、解剖臓器処理、カーテン賃貸借、院内保育室調理業務等、夜間保育（平成25年）	

7 図 書 室

平成 29 年度は、前年度に引き続き、研修医向けの資料を中心に図書室の充実を図りました。UpToDate、電子ジャーナルパッケージ「Clinical Key」の説明会・登録会を開催しました。リモートアクセス登録が増加し、図書室外からの利用が好評です。

日本病院会のコンソーシアムの活用で、平成 30 年 1 月より「JAMA Network Complete Package」を導入し、全 12 誌の購読が可能になり利用が増加しています。

近年の外国雑誌電子化の流れの中で文献複写の謝絶が増加傾向にあり、その補完の意味でドキュメントデリバリサービスへの登録を行いました

「つつじ文庫」は多くの患者、来院者の皆様に好評を得ています。蔵書は市民・職員の皆様の温かい御支援の下、多くの図書が寄贈されています。平成 29 年度末現在約 36,400 冊の蔵書数となっています。

平成29年度図書室資料受入状況

区 分	購 入	寄 贈	計
単行書（和）	193	41	234
単行書（洋）	6	0	6
雑誌（和）	113	60	173
雑誌（洋）	26	1	27
視聴覚資料	13	0	13
年報・報告書	0	95	95
雑誌所蔵目録	0	2	2
検索用データベース	3	0	3
医中誌Web			
メディカルオンライン			
最新看護索引web			
臨床支援ツール	2	0	2
Up To Date			
今日の診療			
電子ジャーナル パッケージ	3	0	3
Clinical Key			
LWW Fixed 10			
JAMA Network Complete Package			

平成29年度和雑誌購読（113誌）

1	あたらしい眼科	39	JOHNS
2	ブレインナーシング	40	助産雑誌
3	病院	41	Journal of Clinical Rehabilitation
4	病院安全教育	42	循環器ジャーナル
5	地域連携入退院支援	43	重症集中ケア
6	中毒研究	44	看護
7	クリニカルエンジニアリング	45	看護技術
8	コミュニティケア	46	看護実践の科学
9	電気と工事	47	看護管理
10	栄養と料理	48	看護研究
11	エキスパートナース	49	看護教育
12	エマージェンシーケア	50	看護展望
13	外来看護	51	肝胆膵
14	がん看護	52	緩和ケア
15	癌と化学療法	53	形成外科
16	画像診断	54	呼吸器ケア
17	外科	55	呼吸器ジャーナル
18	月刊 保険診療	56	厚生 の 指標
19	月刊 ナーシング	57	胸部外科
20	月刊 ナースマネジャー	58	救急医学
21	月刊 新医療	59	救急・集中治療
22	月刊 薬事	60	麻酔
23	ハートナーシング	61	Medical Practice
24	皮膚病診療	62	Medical Technology
25	ホルモンと臨床	63	Medicina
26	Hospitalist（新規）	64	内科
27	ほすびたるらいぶらりあん	65	日本病院会雑誌
28	ICUとCCU	66	日本医事新報
29	ICNR	67	日本臨牀
30	医学のあゆみ	68	脳神経外科
31	医学のあゆみ 別冊	69	脳神経外科速報
32	医学教育	70	ナーシングビジネス
33	医学図書館	71	Nutrition Care
34	Infection Control	72	オペナーシング
35	INTENSIVIST（新規）	73	PEPARS
36	胃と腸	74	ペリネイタルケア
37	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	75	Phase3:最新医療経営
38	腎と透析	76	プロフェッショナルがんナーシング

77	クインテッセンス・デンタル・インプラントロジー	95	整形外科看護
78	レジデント	96	整形・災害外科
79	レジデントノート	97	精神科治療学
80	理学療法ジャーナル	98	精神科看護
81	臨床栄養	99	設備と管理
82	臨床婦人科産科	100	歯界展望
83	臨床外科	101	神経内科
84	臨床泌尿器科	102	消化器外科ナーシング
85	臨床放射線	103	小児科
86	臨床看護記録	104	小児看護
87	臨床整形外科	105	小児科診療
88	臨床精神薬理	106	小児内科
89	臨床透析	107	手術
90	老年精神医学雑誌	108	周産期医学
91	作業療法ジャーナル	109	糖尿病ケア
92	産科と婦人科	110	透析ケア（新規）
93	整形外科	111	ヴィジュアル・ダーマトロジー
94	整形外科 別冊	112	薬局
		113	全国自治体病院協議会雑誌

平成29年度購読洋雑誌（26誌）

- 1 American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine
- 2 American Journal of Sports Medicine
- 3 Annals of Internal Medicine
- 4 Arthritis & Rheumatology
- 5 Arthritis Care & Research
- 6 Bone & Joint Journal（前誌：Journal of Bone & Joint Surgery(Br)）
- 7 Cancer
- 8 Cancer Cytopathology
- 9 Clinical Infectious Diseases
- 10 Diabetes Care
- 11 Hepatology
- 12 JAMA Dermatology（前誌：Archives of Dermatology）
- 13 JAMA Ophthalmology（前誌：Archives of Ophthalmology）
- 14 JAMA Otolaryngology-Head & Neck Surgery
（前誌：Archives of Otolaryngology-Head & Neck Surgery）
- 15 JAMA Surgery（前誌：Archives of Surgery）
- 16 Journal of American Medical Association
- 17 Journal of Clinical Oncology

- 18 Journal of Hand Surgery (Eur)
- 19 Journal of Neurosurgery
- 20 Journal of Orthopaedic Science
- 21 Laryngoscope
- 22 Liver Transplantation
- 23 Neurology
- 24 New England Journal of Medicine
- 25 Radiology
- 26 Sports Health

平成29年度購読電子ジャーナルパッケージ

- 1 Clinical Key
- 2 JAMA Network Complete Package (新規)
- 3 LWW Fixed10

平成29年度寄贈和雑誌 (60誌)

- | | |
|--|----------------------|
| 1 Circulation Journal | 23 日本顎関節学会誌 |
| 2 Clinical Pediatric Endocrinology | 24 日本外科学会雑誌 |
| 3 Dementia Japan | 25 日本医師会雑誌 |
| 4 北海道農村医学会雑誌 | 26 日本女性医学学会雑誌 |
| 5 茨城県救急医学会雑誌 | 27 日本化学療法学会雑誌 |
| 6 International Journal of Hematology | 28 日本口腔科学会雑誌 |
| 7 Japanese Journal of Maxillo Facial
Implants | 29 日本骨粗鬆症学会雑誌 |
| 8 神奈川医学会雑誌 | 30 日本救急医学会雑誌 |
| 9 神奈川産科婦人科学会誌 | 31 日本救急医学会雑誌 関東地方会雑誌 |
| 10 感染症学雑誌 | 32 日本内分泌学会雑誌 |
| 11 関東連合産科婦人科学会誌 | 33 日本内科学会雑誌 |
| 12 川崎市医師会医学会誌 | 34 日本内視鏡外科学会雑誌 |
| 13 Keio Journal of Medicine, The | 35 日本農村医学会雑誌 |
| 14 結核 | 36 日本臨床外科医学会雑誌 |
| 15 こども医療センター医学誌 | 37 日本老年医学会雑誌 |
| 16 共済医報 | 38 日本産科婦人科学会雑誌 |
| 17 Nagoya Medical Journal | 39 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 |
| 18 奈良県総合医療センター医学雑誌 | 40 日本性感染症学会雑誌 |
| 19 NEUROINFECTION | 41 日本整形外科学会雑誌 |
| 20 Neurosonology | 42 日本生殖医学会雑誌 |
| 21 日本病院総合診療医学会雑誌 | 43 日本歯科医師会雑誌 |
| 22 日本エイズ学会誌 | 44 日本小児科学会雑誌 |
| | 45 日本透析医学会雑誌 |

- | | |
|------------------------------|-------------|
| 46 日本東洋医学雑誌 (Kampo Medicine) | 54 臨床神経生理学 |
| 47 日本頭痛学会誌 | 55 臨床薬理の進歩 |
| 48 日赤医学 | 56 社会保険旬報 |
| 49 脳卒中 | 57 島津評論 |
| 50 臨床評価 | 58 帝京医学雑誌 |
| 51 臨床医薬 | 59 東京都医師会雑誌 |
| 52 臨床核医学 | 60 横浜医学 |
| 53 臨床血液 | |

平成29年度寄贈洋雑誌 (1誌)

- 1 Hypertension Research

平成29年度神奈川県・川崎市年報、報告書 (8誌)

- 1 神奈川県立がんセンター年報
- 2 川崎市健康安全研究所年報 (前誌：川崎市衛生研究所年報)
- 3 川崎市立看護短期大学紀要
- 4 川崎市立井田病院年報
- 5 川崎市立川崎病院年報
- 6 川崎市立多摩病院年報
- 7 川崎市立川崎病院看護部看護研究集録
- 8 川崎市立川崎病院看護部事例研究集録

8 看護部の概況

平成 29 年度は、新規採用職員 42 名をむかえ、604 名（正規職員）の看護職員でスタートしました。

4 月に神奈川県がん診療連携指定病院の交付を受けました。「治す」医療と「癒し」「支える」医療を具体化する仕組みづくりを、まずがん患者と家族への相談支援体制の充実の視点から始めました。緩和ケアやリエゾンラウンドは、職員間の周知が広がり、患者の思いにより早く気づき、チームで情報共有することで、看護に患者・家族に活かされています。昨年 8 月に開設した「がん相談支援センター」は患者、家族に限らず、がんに関わる様々な心配事や困りごとの相談を受けています。専門研修を修了した看護職員が、その人らしい生活や治療の選択が出来るよう一緒に考え、これからの生活をサポートしています。また「がん患者サロン」は、がん患者として同じ立場に立つ方々が、お互いの悩みを話したり、聞いたりすることで情報交換や交流を広げるサロンです。今後は、病気から少しはなれて、笑いや健康、美容などテーマを広げて、地域の専門家を招き、生活を楽しむミニレクチャーなどを取り入れていこうと企画を練っています。看護がベッドサイドだけでなく、様々な専門家と共に、多様で複雑なニーズを持つ方々の思いに触れ、力を引き出す場を増すことができた一年だったと思います。

今年度、「スーパージェネラリスト」の認定制度を創設しました。これは、川崎病院と井田病院の両看護部が、ラダーⅣ認定を超えて、領域や専門分野にとらわれることなく、専門職として卓越した域に達した看護職者を承認する認定制度です。今日、臨床看護師のキャリアラダーは多様化していますが、あらためて専門職としての看護職者の姿を顧みるとき、確かな知識と技術に裏づけられた倫理的な判断力、豊かな人間性、看護職として社会に貢献していく強い使命感と組織を成長させるリーダーシップといった共通した姿を見出すことができます。このような卓越した専門職としての看護職者に対し、臨床現場における最高レベルの実践家の証として、敬意と、更なる活躍への期待を込めて「スーパージェネラリスト」の認定を行いたいと考えました。

今後、医療を取り巻く環境は激変し、看護職者に求められる役割も多様化し、専門分化していくと思われれます。そのような中であって、専門職としての看護職の原点を見失うことなく、誇りをもって臨床に立ち続け、社会に貢献し続けていただきたいとの願いを込めて、両病院のすべての看護職員に向けて、この新たな人材育成の制度を送り出します。そして、願わくは、専門職としての看護職者の育成を志向するこの制度を、人材育成の基盤として全看護職員で育み、よりいっそう成熟させることを期待します。

38 年間、優れた看護職とともに仕事が出来ましたことを誇りに思います。

副院長兼看護部長 網嶋 たかえ

(1) 看護職員配置数

(平成 30 年 4 月 1 日現在)

項目 看護単位	許可 病床 数	稼動 病床 数	助産師 看護師	臨 時 職 員	夜勤人員		看 護 助 手	ク ラ ー ク (委託)
					準 夜	深 夜		
	713	646						
看護部配置数			584					
看護部 4月現在現在数			610					
14階北病棟(内科・透析室)	52	42	31	2	4	4	3	1
14階南病棟(内科)	51	46	31		4	4	5	1
13階北病棟(心外・循環器内科)	51	46	33	2	4	4	5	1
13階南病棟(内科)	53	48	31	2	4	4	4	1
12階北病棟(泌・耳・眼・口腔)	51	46	27	1	3	3	2	1
12階南病棟(脳・皮・放・リハ)	53	48	32	1	4	4	6	1
11階北病棟(外科)	53	48	28	2	4	4	4	1
11階南病棟(外科・肺外科)	53	48	29	1	4	4	3	1
10階北病棟(整形外科・形成外科)	53	48	26	3	3	3	5	1
10階南病棟(婦人科・整形外科)	52	59	26	1	3	3	2	1
9階北病棟(精神科)	38	32	14	6	3	2	1	1
9階南病棟 (EICU・救命救急病棟・小児急病センター)	20	20	64	5	12	11	3	1
8階北病棟(産科・新生児)	44	42	28	5	4	4	4	1
8階南病棟・小児科外来	41	41	28	1	4	3	1	1
NICU	6	6	11	2	2	2	1	1
GCU	18	18	15	2	3	3		
5階 ICU・CCU	12	8	26	1	4	4	1	1
5階 手術室			38		2	2		1
外 来	Aブロック		34	26			5	31
	Bブロック							
	Cブロック							
副院長(看護部長)室			1					
看護部管理室			3					
担当課長・看護師長			1(再掲)					
看護師長			18(再掲)					
地域医療部兼務担当係長			1					
医療安全管理室兼務担当係長			1					
産休・育休・病休・休職・派遣研修			44					

(2) 職員の出身校別内訳・年齢分布・平均年齢

ア 出身校別内訳

(平成30年3月31日現在)

種別	学校					
	人数	看護大学	助産師校	看護短期大学	看護専門学校	准看学校
総数	495	75	16	134	268	2
構成比(%)	100%	15%	3%	27%	54%	0.4%
助産師	25	5	16	4	0	0
構成比(%)	5%	1%	3%	1%	0%	0%
看護師	468	70	0	130	268	0
構成比(%)	95%	14%	0%	26%	54%	0%
准看護師	2	0	0	0	0	2
構成比(%)	0.4%	0%	0%	0%	0%	0.4%

イ 年齢分布

年齢	助産師	看護師(准看護師含む)	計
21	0	0	0
22	0	19	19
23	2	11	13
24	1	34	35
25	0	34	34
26	1	26	27
27	1	22	23
28	2	26	28
29	2	26	28
30～34	6	76	82
35～39	3	67	70
40～44	2	73	75
45～49	5	77	82
50～54	3	41	44
55～59	0	36	36
60～	0	3	3
合計	28	571	599

ウ 平均年齢

(平成30年3月31日現在)

助産師	看護師(准看護師含む)	総平均
36.5	36.8	36.8

(3) 勤続年数

助産師: 7.2 年

看護師(准看護師含む): 9.3 年

総平均: 9.2 年

(平成30年3月31日現在)

年数	助産師	看護師 (准看護師含む)
1年未満	4	39
1年	3	38
2年	4	44
3年	1	40
4年～5年	2	37
6年～9年	3	85
10年～14年	2	87
15年～19年	3	66
20年～24年	4	44
25年～29年	3	26
30年以上	0	62

(4) 平成29年度看護職員採用・退職状況

採用者数	45	助産師4 ・ 看護師41
退職者数	47	助産師4 ・ 看護師43

(5) 通勤及び入寮状況

(平成30年3月31日現在)

通 勤	517	91.7%
入 寮	47	8.3%

9 地域医療部

(1) 地域医療連携室

地域医療支援病院として急性期の治療を終えられた患者さんが、地域の診療所・クリニックなどで継続的に医療提供が受けられるように医療機関との連携強化に努めております。また、退院支援・退院調整にも力を入れており、病棟専任退院支援看護職員を各病棟に配置し、病棟看護師やMSWをはじめ、多職種と連携の強化を図っております。その結果、平成29年度は、年間3189件の退院支援・調整を実施することができました。これは、退院患者さんの約22.6%を占めております。今後も患者さんの思いに寄り添いながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、役割発揮を行ってまいります。

ア 紹介率・逆紹介率 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介率%	65.6	61.6	60.8	66.4	64.1	64.8	70.6	68.4	68.1	65.0	66.6	71.7	66.0
逆紹介率%	66.9	65.2	76.0	83.0	82.8	92.7	90.2	80.9	111.9	84.0	99.4	92.7	84.6

イ 地域医療連携業務 (件)

	紹介予約	緊急受診	転院 (転入)	転院 (転出)	かかりつけ 医ご紹介	診療情報 依頼	診療情報 照会
件数	813	1022	185	129	664	723	334

ウ 医療機器共同利用 (件)

	C T	M R I	腹部エコー	心エコー	骨シンチ	上部内視鏡	栄養相談
件数	107	150	31	23	16	66	1

エ 退院調整 (件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
退院支援	244	208	272	273	247	271	266	258	317	247	280	306	3189
割合 (%)	21.6	17.2	21.5	20.9	19.2	22.9	23	24.8	29.8	21.5	25.1	24.8	22.6

オ 地域連携クリニカルパス (件)

神奈川県脳卒中地域連携パス	32件	大腿骨頸部骨折地域連携パス	29件
---------------	-----	---------------	-----

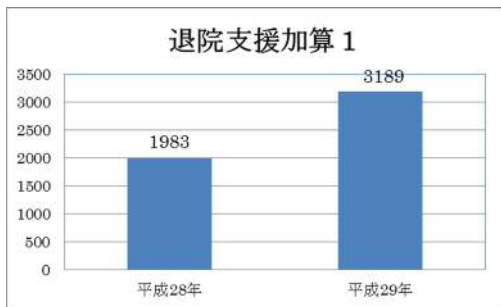
カ 地域連携業務

地域連携便り発行	5月	12月	3月	発行
外来診療担当表	川崎区・幸区 診療所・病院に毎月発送			

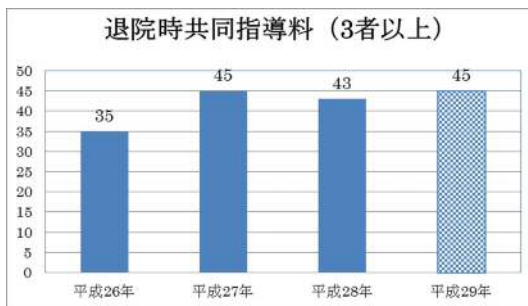
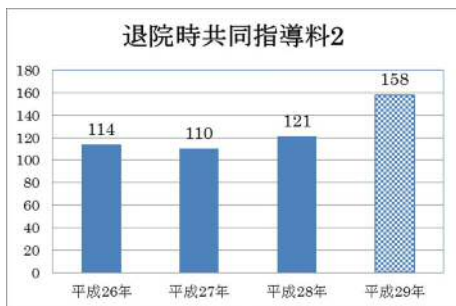
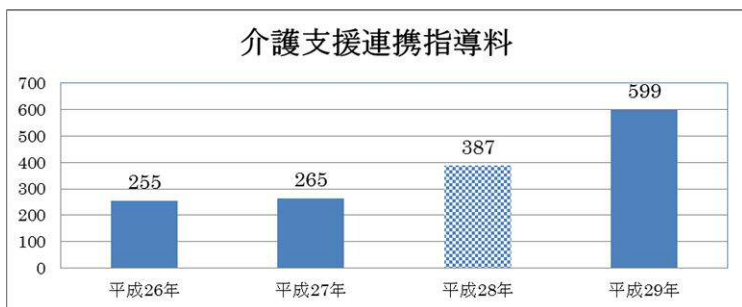
キ 在宅支援業務

内容	ショートステイ	あんしん見守り
件数	32件	1件

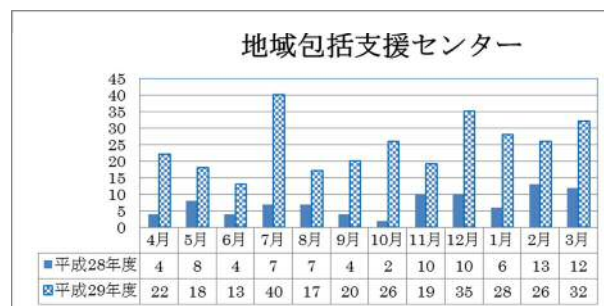
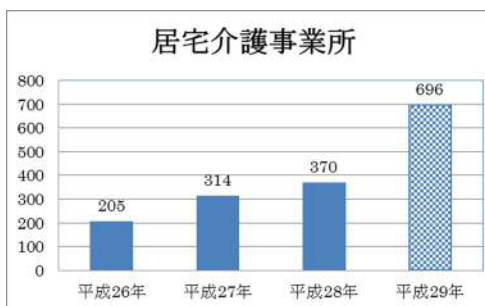
ク 退院支援件数



ケ 退院時共同会議



コ 退院調整件数



サ 平成 29 年度 地域の医療従事者を対象とした研修の実施状況（医師）

	開催月日	主催	名称	内容
1	5 月 19 日 (金)	内科、整形外科、皮膚科	第 24 回川崎リウマチ・膠原病診療懇話会	症例検討会・病診連携報告会 「関節リウマチの発症を予防するために」
2	6 月 23 日 (金)	泌尿器科	第 5 回川崎泌尿器科病診連携の会	泌尿器科症例検討会
3	6 月 26 日 (月)	小児科	第 396 回川崎小児科医会	小児科症例検討会
4	7 月 27 日 (木)	精神科	精神科地域連携講演会	「クリニックの連携状況とてんかん治療の取り組み」 「精神病の発病予防研究から学ぶこと」
5	10 月 2 日 (月)	外科	症例検討会	外科症例検討会
6	10 月 25 日 (水)	川崎病院	リウマチ膠原病痛風センター連携講演会	講演 1 「さまざまな原因による口腔乾燥症状への対応」 講演 2 「シェーグレン症候群及び皮膚疾患について」
7	11 月 13 日 (月)	内科、整形外科、皮膚科	第 25 回川崎リウマチ膠原病診療懇話会	特別講演 「脊椎関節炎最新情報と日常診療でのトファニシチニブの使用時注意点」
8	1 月 19 日 (金)	リウマチ膠原病痛風センター	第 3 回リウマチ膠原病セミナー	「大型血管炎～現在の考え方と治療について」
9	2 月 7 日 (水)	川崎病院 幸区・川崎区 医師会	幸・川崎病診 Net	講演 1 「骨粗しょう症と脊椎疾患一骨粗しょう症治療の地域連携」 講演 2 「PET-CT について」

シ 平成 29 年度 地域の医療従事者を対象とした研修の実施状況（看護師）

	開催月日	主催	名称	内容
1	5 月 10 日 (水)	看護部	認定看護師講演会看護協会 員オープンセミナー	脳卒中リハビリテーション看護「t -PA の看護とは」
2	5 月 10 日 (水)	看護部 地域医療部	知っとくナース川崎病院公 開講座	摂食・嚥下障害看護本当に食べられ ない？あなたはどうか援助します か？
3	7 月 5 日 (水)	看護部	認定看護師講演会看護協会 員オープンセミナー	救急看護 「あれっ」
4	7 月 5 日 (水)	看護部 地域医療部	知っとくナース 川崎病院公開講座	糖尿病看護 「高齢者と糖尿病看護」
5	8 月 25 日 (金)	看護部 地域医療部	認定看護師出張講座	感染看護 「施設での感染症対策」
6	8 月 31 日 (木)	地域連携部会	地域ケア懇談会	「私らしく暮らす」を支える役割と 活動～医療と介護の連携強化～
7	9 月 6 日 (水)	看護部 地域医療部	認定看護師講演会看護協会 員オープンセミナー	精神科看護「新人看護師のための心 が楽になる精神看護」
8	9 月 6 日 (水)	看護部 地域医療部	知っとくナース 川崎病院公開講座	緩和ケア看護 「穏やかな看取りのために」
9	9 月 22 日 (金)	看護部 地域医療部	認定看護師出張講座	感染看護「感染症の拡散防止から終 息まで」
10	11 月 1 日 (水)	看護部 地域医療部	認定看護師講演会看護協会 員オープンセミナー	手術看護「術後管理、退室基準につ いて」
11	11 月 1 日 (水)	看護部 地域医療部	知っとくナース 川崎病院公開講座	感染管理「ノロウイルス感染症につ いて」
12	1 月 10 日 (水)	看護部 地域医療部	認定看護師講演会看護協会 員オープンセミナー	集中ケア「あなたの病棟にもいるか も」
13	1 月 10 日 (水)	看護部 地域医療部	知っとくナース 川崎病院公開講座	皮膚排泄ケア 「高齢者のスキンケア」
14	3 月 7 日 (水)	看護部 地域医療部	認定看護師講演会看護協会 員オープンセミナー	小児救急看護 「子どもの虐待」
15	3 月 7 日 (水)	看護部 地域医療部	知っとくナース 川崎病院公開講座	認知症看護 「基本から学ばせん妄ケア」
16	3 月 13 日 (火)	地域連携部会	第 2 回地域ケア懇談会	「私らしくを伝えるために」～大切 な場面での関わり方を見直す～

(2) がん相談支援センター

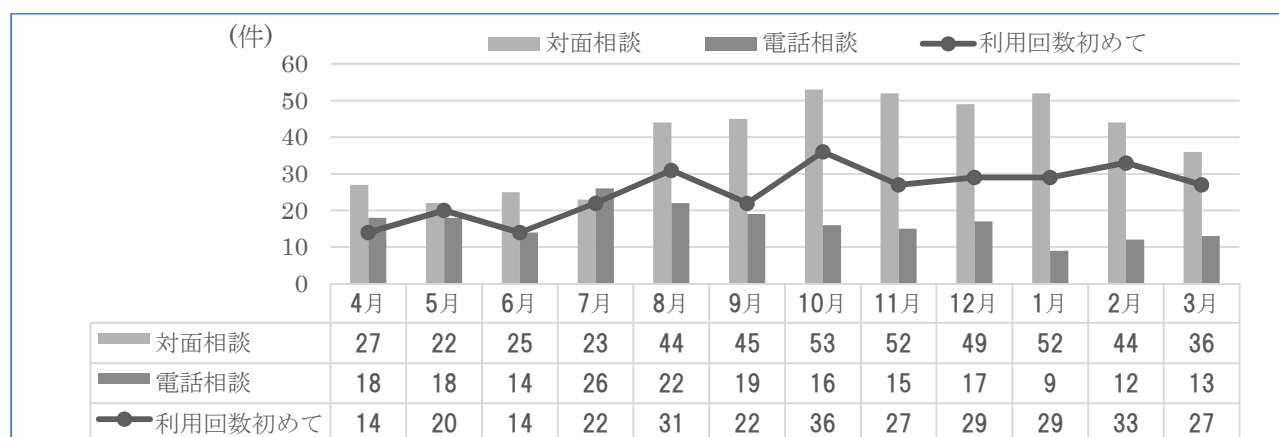
当院は、平成 29 年 4 月 1 日に神奈川県がん診療連携指定病院の承認を受けました。がん患者さんやご家族等に、科学的根拠があり信頼できる情報提供を行うことで、その人らしい生活や治療選択ができるように支援しています。

また、平成 29 年 5 月より、毎月 1 回、第 4 火曜日の 14 時～15 時 30 分にごがん患者サロンを開催しております。がん患者体験を持つ同じ立場の方々が、お互いに病気のことを語り合う場を提供することで、患者さんやご家族の心の重みが少しでも軽くなればと思っております。

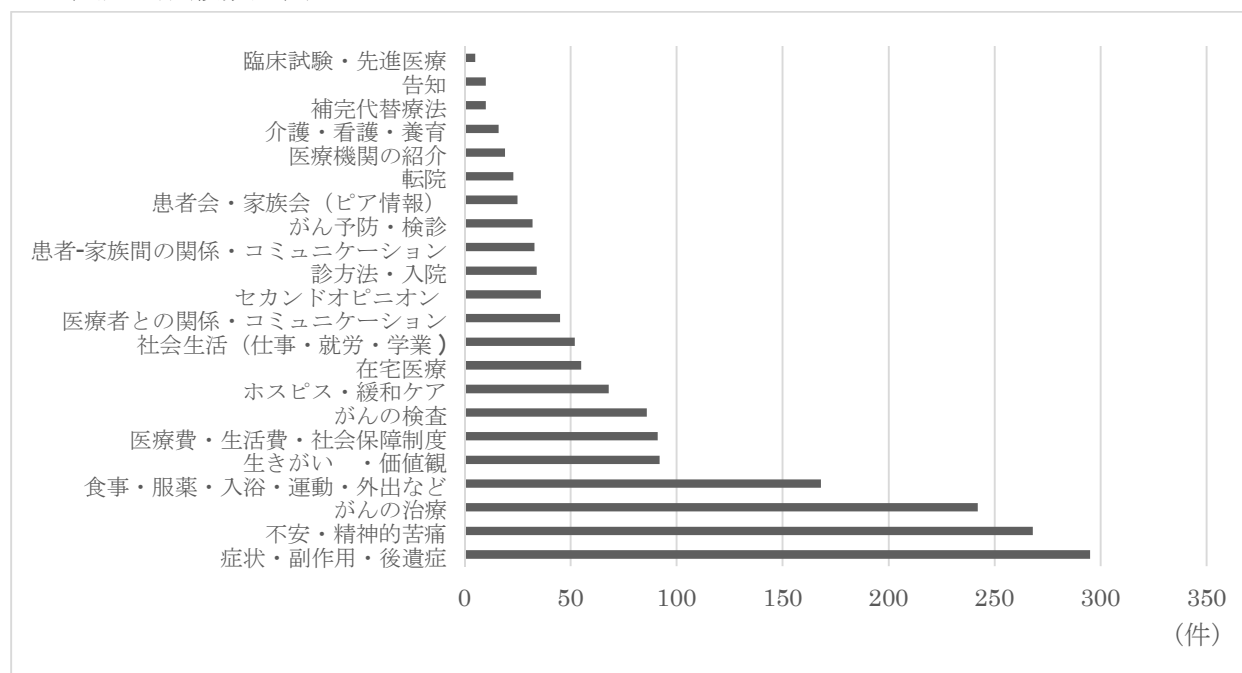
今後もがん患者サロンに参加される皆さんの意見を聞きながら、お一人お一人が安らぎのある時間を過ごして頂けるように支援してまいります。

ア 相談件数

671件/年（対面相談472件 電話相談199件）で、平均56件/月です。昨年度の平均27件/月と比較すると相談件数は、増加しています。



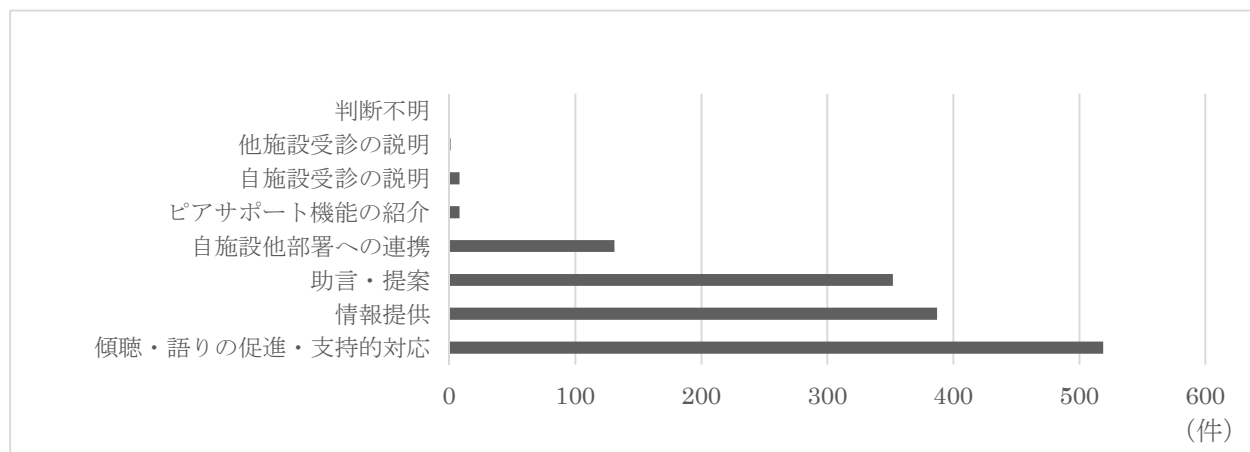
イ 相談内容(複数回答)



がんの治療や症状や副作用と同時に、不安な気持ちや食事・服薬・入浴・運動・外出など日常生活に沿った相談内容が多い傾向になっています。

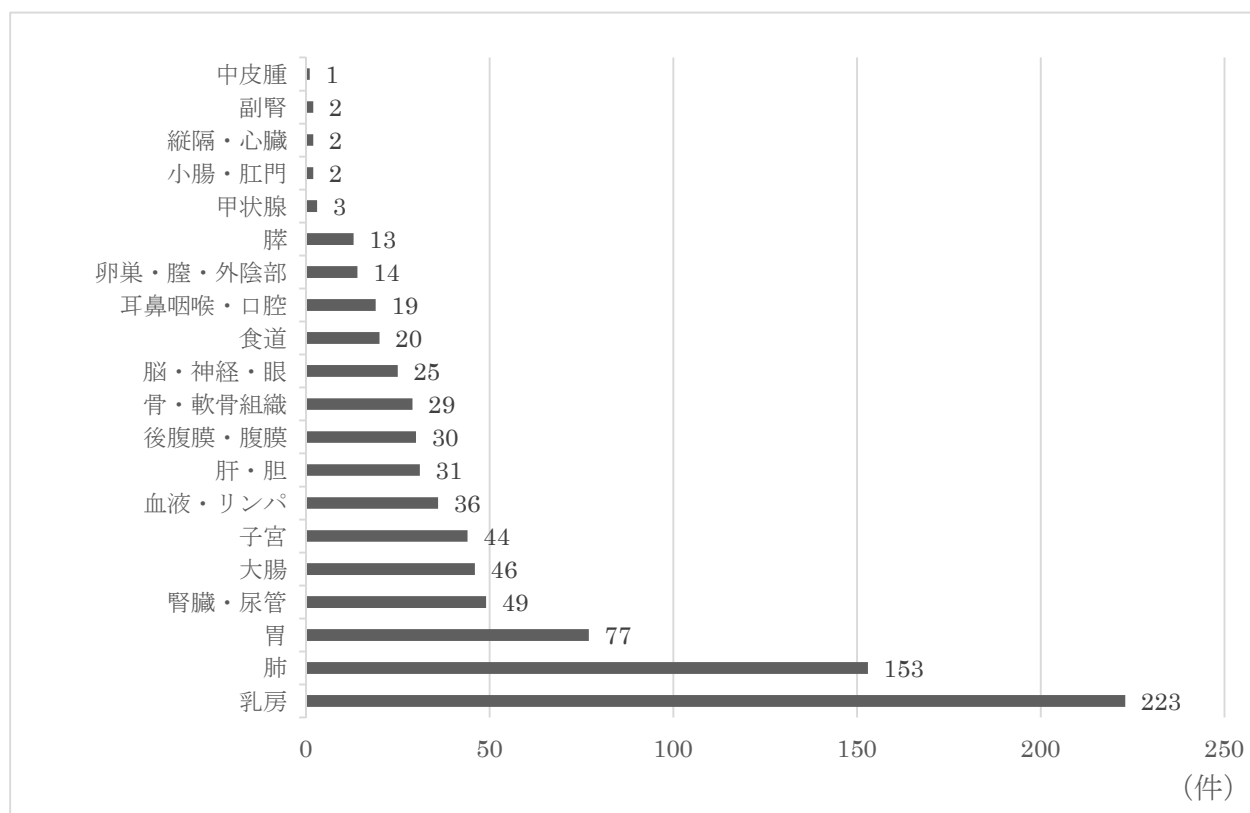
ウ 対応内容(複数回答)

がん相談員は、相談内容を医療者に伝える同意があった相談者に対して、院内の主治医・外来看護師・医療相談室職員・地域連携看護師・栄養科職員等と情報共有して、連携を図っています。今後も更に、院内自施設他部署への連携強化が課題です。



エ がんの部位(複数回答)

がん相談時のがんの種類は、乳がん→肺がん→胃がんの順になっています。



(3) 医療相談室

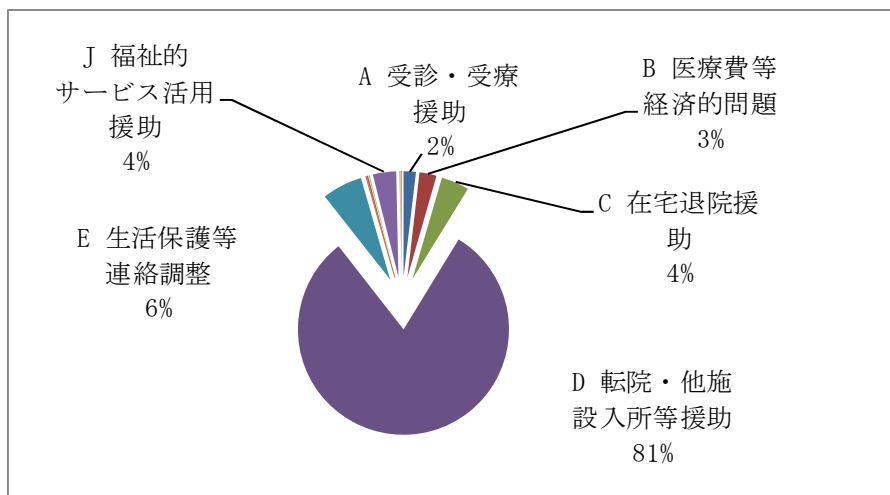
医療相談室は、相談窓口が1階、事務室が3階にあり、1階の相談窓口では社会福祉職、事務職員、がん相談員（看護師）、アドボガシー相談員で来談者に対応しております。

ソーシャルワーカーの援助内容としては「転院・他施設援助」が圧倒的に多く、81%を占めております。「転院・他施設援助」の中には福祉サービス・医療費助成制度の活用や経済的問題の相談等が含まれています。(図①) 転院先はリハビリ病棟が最も多く、医療療養病棟、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟がほぼ同数でした。しかし、相談を進めていく中で病状の悪化から死亡されてしまう方や、病状の改善や気持ちの変化、経済的事情から在宅生活に戻られる方も多くありました。(表①)

その他の業務の取扱い件数については、医療通訳派遣システム事業の取り扱い件数が、近年増加傾向にあり、昨年度と比較し、約160件の大幅増加になっております。(表②)

また、1階相談窓口は、院内の受診の方法や医療費の基本的な情報等、多岐にわたる様々な相談対応を行っております。(図②)

ア 29年度援助内容別集計 (23,605件) (図1)



イ 退院支援実績 (817件) (表①)

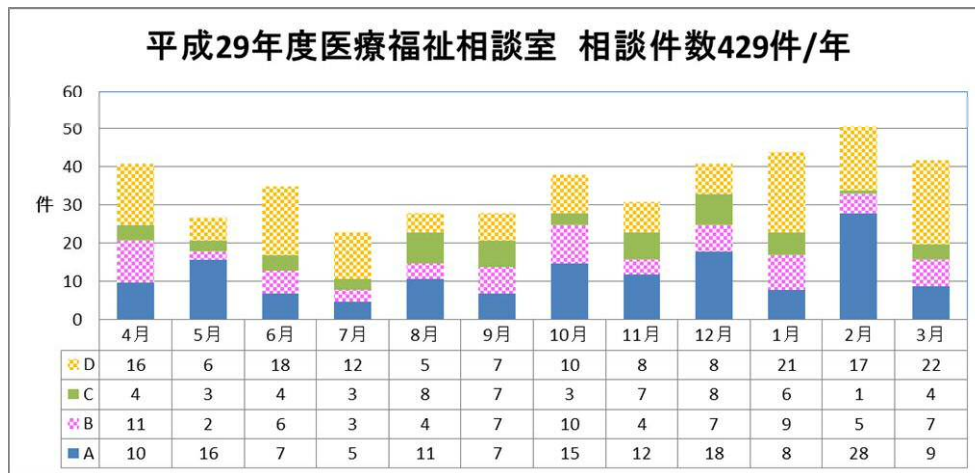
リハビリ病棟	181
医療型療養病棟	85
一般病棟	66
緩和ケア病棟	53
地域包括ケア病棟	48
介護療養型医療施設	24
老人保健施設	27
特養	5
介護付住宅	65
グループホーム	3
在宅1・2	134
その他	126
総計	817

ウ その他主な業務の取扱い件数の推移 (単位：件) (表②)

取扱い業務		28年度	29年度
生活保護入院時申請援助	住所不定	20	20
	生活困窮	34	18
生活保護日用品費		50	89
重症心身障害児者短期入所		33	32
医療通訳派遣システム事業調整		675	832
児童虐待連絡検討会		3	3

エ 1階医療相談窓口 対応相談件数 (429件) (図②)

A 受療援助 B 医療費等に関わること C 医療福祉制度に関わること D その他(場所案内等)



10 医療安全管理室

医療安全管理室は、安全な医療の提供と医療の質の向上を目的に、医療安全管理体制の確立及び医療事故の予防並びにインシデントの再発防止対策を推進しています。

各部署から報告されるインシデントレポート件数は年間 4,000 件前後になりますが、報告されたレポートは集計・分析し医療安全関連の委員会で検討しています。さらに、警鐘事例や共有事例については再発防止策を立案し周知する必要があります。薬剤部や検査科・MEセンター等、他部門・他職種と連携しながら改善策を示しています。医療機器の安全使用については、機器別に毎年勉強会を企画して医療機器の設定や管理について知識・技術の向上を目指しています。院内のシステム改善としては、システム運用検討部会と連携をとりながら改善課題に取り組んでおります。

昨今、社会的な問題である院内暴力・暴言対策としましては、職員衛生委員会と協同し暴力暴言対応マニュアルとして改訂、暴力・暴言対応研修の企画、運営を継続的に行っております。

医療行為を実施するに当たっては、患者・家族の意思を尊重し納得の得られる説明と同意が不可欠です。医療者と患者・家族間では当然情報量に差があり、医療者には理解しやすい表現で丁寧に説明する義務があります。医療安全管理研修等で啓蒙活動を行っております。

医療安全を推進するためには、他職種が連携し、専門性を発揮しながらチーム医療として力を高める必要があります。週 1 回実施している医療安全ラウンドは各種医療チームとの組織横断的な情報共有に役立ち現場での課題などを検討する機会となっております。また、事例検討会や合同カンファレンスの開催等、全職員が医療安全と医療の質の向上に努めています。

(1) 平成29年度インシデントレポート件数

	平成 28 年度	平成 29 年度	増減	平成 29 年度 構成比
薬剤	1520	1692	△172	37.84%
輸血	37	26	▼ 11	0.58%
治療・処置	528	621	△93	13.89%
医療機器等の使用・管理	133	150	△17	3.35%
ドレーン・チューブ類等の使用・管理	428	570	△142	12.75%
検査	416	380	▼ 36	8.50%
療養上の場面	818	1032	△214	23.08%
その他	24	1	▼ 23	0.02%
合計	3904	4472	△568	100.00%

複数の職員からレポートの提出があった場合は、1件として集計しています。

(2) 主な改善項目

	項目	目的 改善内容
治療・処置	医療機器の使用・管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 抗がん剤暴露対策（外来療法センター） ：専用 IV ライン接続キット華専用 O2 チューブ ● 人工鼻専用 O2 チューブの使用 ● 筋弛緩剤シリンジの変更（透明→赤）
	電子カルテ	<ul style="list-style-type: none"> ● 手術・検査前に中止する薬剤オーダー方法の変更（テンプレート作成、運用変更）
療養生活	暴言暴力への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 暴力・暴言対応研修（全職員対象）：DVD 視聴研修 ● 暴力・暴言対応研修（専攻医、看護部中堅職員）：実践型対応研修
	安全への取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 認知症患者離院防止システム導入（一般病床） ● インシュリン注射ダブルチェック方法の変更
	改訂及び新規作成	<ul style="list-style-type: none"> ● 暴力・暴言発生時連絡先フローを作成、各部署に掲示（相談員暴力・暴言専用 PHS6110 対応）
マニュアル		<ul style="list-style-type: none"> ● 気管切開カニューレマニュアル改訂 ● A i C T 撮影手順作成

11 DMAT活動

川崎病院は神奈川 DMAT 指定病院に指定されており、災害医療における専門的な技術や知識を備えた職員が勤務しています。また、国内で起きた災害において、神奈川 DMAT として派遣され、現場で活動した実績も多数あります。

平成 29 年度は例年同様、大規模地震時医療活動訓練や関東ブロック訓練などの大規模訓練に参加するとともに、隊員養成に注力し、医師 2 名、看護師 4 名、ロジ 2 名が新たに川崎 DMAT 隊員として登録されました。

また職員（災害時医療等専門部会員）に対するトリアージ実技訓練や、災害対策本部運営マニュアルの更新と検証を行い、当院における災害時の医療機能の強化にも努めました。

平成 29 年度の主な活動内容は次のとおりです。

活動日	活動内容	活動場所
平成 29 年 7 月 20 日	多数傷病者対応訓練	浮島地区（川崎市内）
平成 29 年 7 月 29 日	大規模地震時医療活動訓練	和歌山県、三重県
平成 29 年 8 月 27 日	川崎市総合防災訓練	麻生区
平成 29 年 9 月 1 日	九都県市訓練（ビッグレスキュー）	小田原
平成 29 年 11 月 9 日	神奈川県国民保護訓練	江ノ島周辺ほか
平成 29 年 11 月 10 日	東扇島訓練	東扇島地区（川崎市内）
平成 29 年 12 月 9 日	災害医療対応訓練	川崎病院
平成 30 年 1 月 21 日	横浜市東部病院訓練	横浜市東部病院
平成 30 年 1 月 24 日	川崎 DMAT 隊員養成研修	川崎市
平成 30 年 2 月 10～11 日	関東ブロック訓練	栃木県
平成 30 年 3 月 4 日	川崎区訓練	川崎区
平成 30 年 3 月 15 日	本部警防訓練	高津区

12 定例院内会議

(1) 三役会議

病院長、事務局長、担当理事①、副院長④、担当部長、庶務課長、医事課長 週1回

(2) 運営会議

病院長、事務局長、担当理事①、副院長④、各科部・課(科)長、担当部・課(科)長
月2回

(3) 各種委員会

(平成30年3月1日現在)

番号	委員会名 活動内容	委員長名	役職名	統括 開催予定
1	倫理委員会 (脳死判定委員会) *医療行為に関し、倫理的・社会的観点から審査等を行う。	宮川 俊一 (竹中 信夫)	副院長 (副院長)	宮川副院長 (竹中副院長) 必要に応じて開催
2	病院(経営)改善委員会 *経営改善及び調査等を行い検討する。	成松 芳明	病院長	病院長 必要に応じて開催
3	病院機能再編推進委員会 *院内内の各部署の再編について調査及び検討する。	大曾根 康夫	副院長	大曾根副院長 月1回
4	医療安全管理委員会 (医療安全管理部会) *医療事故を防止し、安全かつ適切な医療体制を確立する。	宮川 俊一 (萬谷 京子)	副院長 (乳腺外科部長)	宮川副院長 (宮川副院長) 月1回
5	職員衛生委員会 *職員の労働衛生に関する事項を調査審議し、衛生管理の推進を図る。	大曾根 康夫	副院長	大曾根副院長 月1回
6	院内感染対策委員会 (感染対策部会) *院内感染の防止のため、諸問題を調査及び審議する。	坂本 光男 (細田 智弘)	感染症内科部長 (感染症内科副医長)	宮川副院長 (宮川副院長) 月1回
7	医療ガス安全管理委員会 *高圧ガス保守法に基づき、院内医療ガスの安全を検証及び推進する。	佐山 宏一	呼吸器内科部長	病院長 年2回
8	放射線安全委員会 *放射線障害の防止について、必要事項を調査及び審議する。	成松 芳明	病院長	病院長 年1回
9	診療録管理委員会 *診療録の管理と診療情報の提供を行うために、必要事項を検討する。	土橋 隆俊	小児科部長	竹中副院長 月1回
10	給食委員会 *栄養業務及び給食業務の管理運営について検討する。	有馬 功一郎	血液透析室長	宮川副院長 月1回
11	治験審査・臨床研究倫理審査委員会 *治験を行うことの適否、その他治験に関する調査及び審議する。	津村 和 大	糖尿病内科部長	番場担当理事 月1回
12	輸血療法委員会 *輸血関連業務等の必要事項を検討する。	和 多 田 晋	血管外科部長	竹中副院長 隔月
13	臨床検査業務検討委員会 *臨床検査の精度管理を行う。	杉 浦 仁	検査科部長	病院長 必要に応じて開催
14	業務改善委員会 *職場環境を整え、患者サービスの充実と医療の向上を図るために、必要事項を検討する。	宮川 俊一	副院長	宮川副院長 年9回
15	機種選定委員会 *購入する医療用器機の仕様決定又は機種の選定を行う。	竹中 信夫	副院長	竹中副院長 必要に応じて開催
16	クリニカルパス検討委員会 *チーム医療の機能と効率性を高めるために、必要事項を検討する。	津村 和 大	糖尿病内科部長	大曾根副院長 隔月
17	薬事委員会 *薬事全般に関する事項について審議する。	飯島 尚志	薬剤部長	宮川副院長 年9回
18	保険委員会 (DPCコーディング部会) *診療報酬の請求に対する査定等について検討し、経営効率の向上に努める。	成松 芳明 (野崎 博之)	病院長 (内科部長)	病院長 (病院長) 月1回
19	情報システム管理委員会 (システム運用検討部会) *医療情報システムの管理及び運用について検討する。	野崎 博之 (檜林 敦)	内科部長 (小児科医長)	大曾根副院長 (大曾根副院長) 必要に応じて開催
20	手術部委員会 (外来手術室部会) *手術部門の安全かつ円滑な運営をするために、必要事項の検討、調査審議及び提言を行う。	竹中 信夫 (和多田 晋)	副院長 (血管外科部長)	竹中副院長 (竹中副院長) 月1回
21	ICU・CCU運営委員会 *ICU・CCUの安全管理と集中治療室としての機能を発揮できる運営を推進する。	逢坂 佳宗	集中治療部長	竹中副院長 年4回

番号	委員会名 活動内容	委員長名	役職名	統括 開催予定
22	医療材料等委員会 *医療材料等の採用・死蔵化の防止、使用の効率化及び試用に関する事項を検討する。	末吉 浩一郎	循環器内科部長	宮川副院長 月1回
23	地域医療連携推進・強化委員会 (地域連携部会) *病院と地域の連携を図り、情報の共有化及びネットワーク作りを検討及び推進する。	中道 憲明 (中田 さくら)	整形外科担当部長 産科部長・婦人科部長	大曽根副院長 大曽根副院長 隔月
24	がん診療推進委員会 *がん診療の充実と推進のための検討を行う。	夏 錦言	消化器外科部長	病院長 必要に応じて開催
25	褥瘡対策委員会 *褥瘡対策を討議し、その効率的な推進を図る。	宮川 俊一	副院長	宮川副院長 月1回
26	救急医療運営委員会 (災害時医療等専門部会) (DMAT作業部会) (院内救急部会) *救急部門及び災害時医療対策について、必要事項を検討する。	田熊 清継 (竹村 成秀) (竹村 成秀) (齋藤 豊)	救命救急センター所長 (救命救急センター副医長) (救命救急センター副医長) (救命救急センター医長)	田熊所長 田熊所長 田熊所長 田熊所長 月1回
27	化学療法委員会 *外来治療センターの運営に関する必要事項を検討する。	澤藤 誠	呼吸器外科部長	竹中副院長 月1回
28	広報委員会 *広報雑誌とホームページの作成を中心に、病院の広報活動の推進を図る。	蜂谷 貴	心臓血管外科部長	病院長 年1回
29	接遇教育委員会 *職員の接遇教育の充実を図り、患者サービスの充実と医療の質向上を図る。	綱嶋 たかえ	副院長・看護部長	綱嶋副院長 隔月
30	ボランティア推進委員会 *ボランティア活動を円滑化して、患者サービスの充実及び向上を図る。	綱嶋 たかえ	副院長・看護部長	綱嶋副院長 隔月
31	精神科救急医療検討委員会 *精神科救急医療を円滑に実施するために、必要事項を検討する。	齋藤 寿昭	精神科部長	田熊所長 必要に応じて開催
32	病院機能評価検討委員会 *病院機能評価の受審等に関する事項について検討する。	市東 昌也	外科部長	竹中副院長 必要に応じて開催
33	医療機器安全管理委員会 *医療機器の安全使用のための情報収集。医療機器の安全使用のための研修の策定及び実施。医療機器の保守点検の計画の策定。	森田 慶久	麻酔科部長	病院長 隔月
34	糖尿病診療連携委員会 *糖尿病の診療連携について検討する。	津村 和大	糖尿病内科部長	大曽根副院長 月1回
35	チーム医療推進委員会 (SCU部会) (栄養サポートチーム(NST)) *チーム医療について討議し、その効率的な推進を図る。	竹中 信夫 (竹中 信夫) (阿部 玲音)	副院長 (副院長) (リハビリテーション科部長)	竹中副院長 (竹中副院長) (竹中副院長) 必要に応じて開催
36	緩和ケア委員会 *緩和ケアについて検討する。	夏 錦言	消化器外科部長	大曽根副院長 月1回
37	外来診療委員会 *外来診療について検討する。	相浦 浩一	内視鏡センター所長	宮川副院長 隔月
38	虐待対策委員会 *児童虐待に関する諸問題を調査及び審議する。	土橋 隆俊	小児科部長	田熊所長 必要に応じて開催
39	行動制限最小化委員会 *精神科入院患者の隔離・拘束・通信制限などにつきその妥当性を検討する。	齋藤 寿昭	精神科部長	宮川副院長 月1回
40	内視鏡委員会 *医療従事者の診療検査体制及び診療情報共有による質の高い円滑な医療提供を図る。	相浦 浩一	内視鏡センター所長	宮川副院長 隔月
41	教育研究委員会 (研修管理委員会) (研究部会) (図書部会) *研修医の教育支援と管理、臨床研究支援、図書の整備、業績管理を行う。	番場 正博 (小宮 浩一郎) (津村 和大) (玉井 博修)	教育指導部長 整形外科担当部長 糖尿病内科部長 消化器内科部長	番場担当理事 番場担当理事 番場担当理事 番場担当理事 年2回
42	精神科身体合併症管理委員会 *精神科身体合併症患者の診察・治療において院内連携を円滑にするための調整を行う。	齋藤 寿昭	精神科部長	宮川副院長 月1回
43	医師負担軽減処遇改善委員会 *医師の負担軽減及び処遇の改善に資する計画の作成や達成状況の評価等を行う。	番場 正博	担当理事	番場担当理事 年2回

Ⅲ 診 療 業 務 概 要

1 平成 29 年度外来患者状況

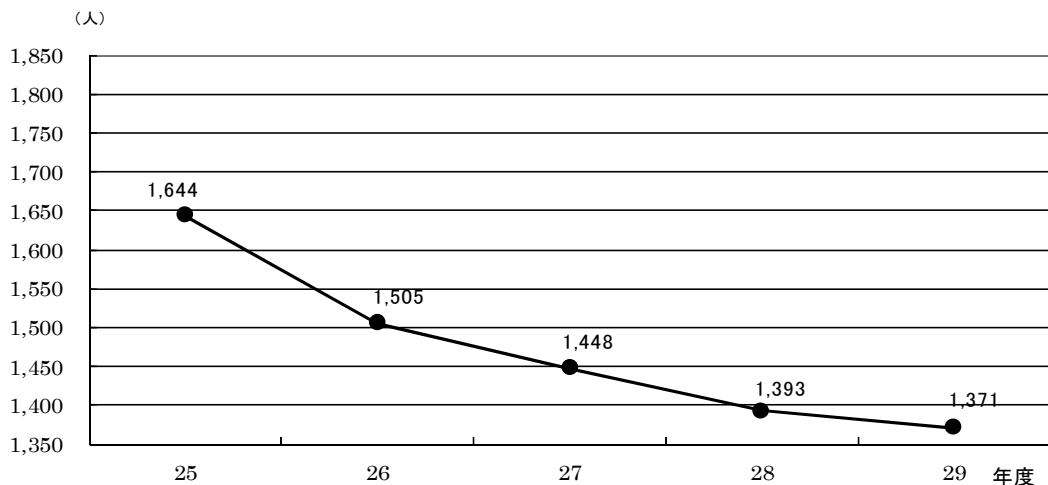
科 別	新 患	一日平均	再 来	一日平均	患者延数	一日平均	比 率 (%)	平均通院日数
内 科	9,400	38.5	98,783	404.8	108,183	443.4	32.3	11.5
精 神・神 経 科	393	1.6	17,567	72.0	17,960	73.6	5.4	45.7
小 児 科	10,677	43.8	18,570	76.1	29,247	119.9	8.7	2.7
外 科	991	4.1	27,070	110.9	28,061	115.0	8.4	28.3
脳 神 経 外 科	504	2.1	4,974	20.4	5,478	22.5	1.6	10.9
整 形 外 科	2,853	11.7	25,705	105.3	28,558	117.0	8.5	10.0
形 成 外 科	449	1.8	2,558	10.5	3,007	12.3	0.9	6.7
心 臓 血 管 外 科	31	0.1	1,862	7.6	1,893	7.8	0.6	61.1
皮 膚 科	1,390	5.7	17,330	71.0	18,720	76.7	5.6	13.5
泌 尿 器 科	736	3.0	16,968	69.5	17,704	72.6	5.3	24.1
産 婦 人 科	2,578	10.6	20,802	85.3	23,380	95.8	7.0	9.1
眼 科	390	1.6	9,410	38.6	9,800	40.2	2.9	25.1
耳 鼻 咽 喉 科	1,545	6.3	11,435	46.9	12,980	53.2	3.9	8.4
リハビリテーション科	7	0.0	3,166	13.0	3,173	13.0	0.9	453.3
放 射 線 科	233	1.0	6,452	26.4	6,685	27.4	2.0	28.7
歯 科 口 腔 外 科	2,733	11.2	12,065	49.4	14,798	60.6	4.4	5.4
救 命 救 急 セ ン タ ー	2,688	11.0	2,290	9.4	4,978	20.4	1.5	1.9
小 計	37,598	154.1	297,007	1,217.1	334,605	1,371.4	100.0	8.9

注：小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

診療日数244日

平均通院日数 = $\frac{\text{患者延数}}{\text{新患者数}}$

外来患者数(1日平均)



2 平成29年度入院患者状況

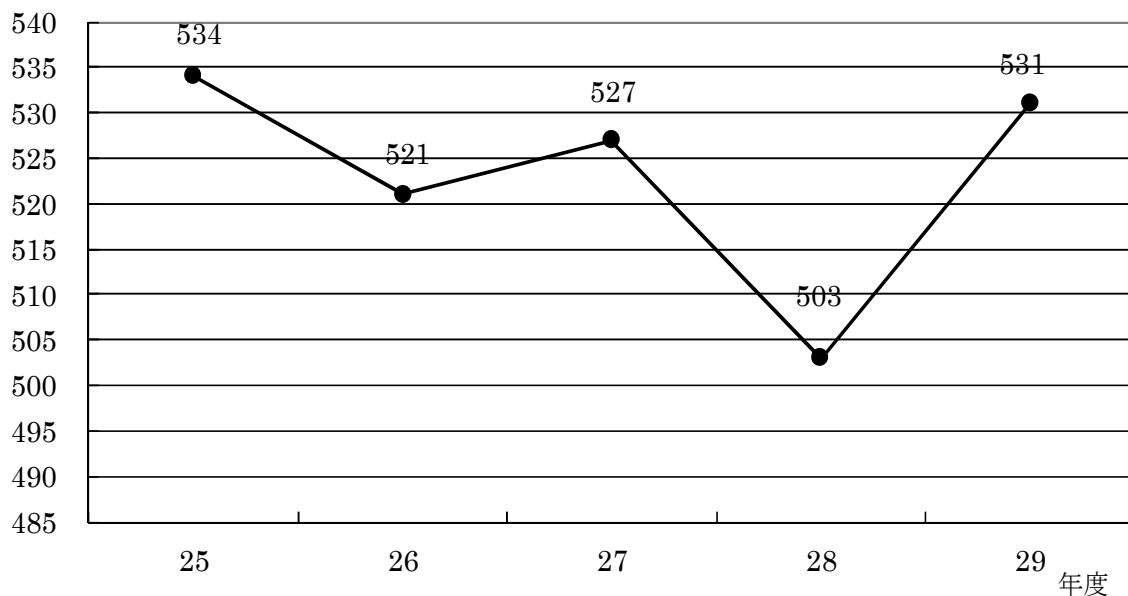
(H29.4～H30.3)

科 別	前年度 繰越	入 院	退 院	死亡 (再掲)	次年度 繰越	患者延数	一日平均	比 率 (%)	平均入院 日 数
内 科	178	5,300	5,151	274	206	83,305	228.2	43.0	15.9
小 児 科	27	1,651	1,656	1	20	13,447	36.8	6.9	8.1
外 科	33	1,638	1,710	62	45	23,989	65.7	12.4	14.3
脳神経外科	6	234	249	8	12	5,547	15.2	2.9	23.0
整形外科	44	1,126	1,192	0	40	18,416	50.5	9.5	15.9
形成外科	1	91	93	0	3	948	2.6	0.5	10.3
心臓血管外科	9	95	97	1	1	1,581	4.3	0.8	16.5
皮 膚 科	6	175	178	2	10	3,164	8.7	1.6	17.9
泌 尿 器 科	14	804	826	4	10	6,556	18.0	3.4	8.0
産 婦 人 科	30	1,972	1,977	3	25	15,141	41.5	7.8	7.7
眼 科	0	188	186	0	0	725	2.0	0.4	3.9
耳鼻咽喉科	12	432	444	4	15	5,547	15.2	2.9	12.7
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
放 射 線 科	0	5	5	0	0	30	0.1	0.0	6.0
歯科口腔外科	5	118	122	0	4	813	2.2	0.4	6.8
救命救急センター	16	958	849	283	17	7,323	20.1	3.8	8.1
小 計	381	14,787	14,735	642	408	186,532	511.0	96.2	12.6
感 染 症		0	0	0		0	0.0	0.0	0.0
感染小児科		0	0	0		0	0.0	0.0	0.0
精 神 科	17	215	240	0	17	7,291	20.0	3.8	32.0
合 計	398	15,002	14,975	642	425	193,823	531.0	100.0	12.9

注:小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

入院患者数(1日平均)

(人)



3 病棟の利用状況

(1) 病棟別患者数

病棟名	病床数		延病床数		入院患者 延数	前月 繰越患者	入院	転入
	公称	稼動	公称	稼動				
14 階 北	52	42	18,980	15,330	14,862	32	698	184
14 階 南	51	46	18,615	16,790	16,192	36	730	222
13 階 北	51	46	18,615	16,790	15,708	29	963	535
13 階 南	53	48	19,345	17,520	16,838	36	775	226
12 階 北	51	46	18,615	16,790	14,605	34	1,611	115
12 階 南	53	48	19,345	17,520	16,482	36	741	291
11 階 北	53	48	19,345	17,520	15,128	23	1,029	194
11 階 南	53	48	19,345	17,520	14,929	28	1,030	268
10 階 北	53	48	19,345	17,520	15,044	33	983	115
10 階 南	52	47	18,980	17,155	14,583	24	1,192	97
精 神	38	33	13,870	12,045	7,289	17	215	31
9 階 南	20	20	7,300	7,300	5,051	9	1,624	128
9 階 西 感 染	12	12	4,380	4,380	1,009	3	116	50
8 階 北	44	42	16,060	15,330	10,154	25	1,323	2
8 階 南	41	41	14,965	14,965	9,714	19	1,571	14
G C U	18	18	6,570	6,570	2,612	4	93	163
N I C U	6	6	2,190	2,190	2,025	6	172	0
I C U・C C U	12	8	4,380	2,920	1,598	4	136	686
合 計	713	647	260,245	236,155	193,823	398	15,002	3,321
新 生 児	0	0	0	0	5,958	11	1,013	0

(稼動日数 365 日)

(2) 年間病床利用状況

病棟名	病床数		延病床数		入院患者 延数	前月 繰越患者	入院	転入
	公称	稼動	公称	稼動				
一 般	663	602	241,995	219,730	186,534	381	14,787	3,290
感 染 症	12	12	4,380	4,380	0	0	0	0
精 神	38	33	13,870	12,045	7,289	17	215	31
合 計	713	647	260,245	236,155	193,823	398	15,002	3,321
新 生 児	0	0	0	0	5,958	11	1,013	0

(稼動日数 365 日)

注:小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

(H29.4. 1~30.3.31)

退 院	転 出	期 末 患者数	一日平均	病床利用率 (%)		平均在院 日 数	死亡	健全化用 平均在院日数
				公 称	稼 働			
833	45	36	40.7	78.3	96.9	19.4	43	18.3
893	54	41	44.4	87.0	96.4	20.0	58	18.9
1,235	258	34	43.0	84.4	93.6	14.3	57	13.2
944	54	39	46.1	87.0	96.1	19.6	46	18.5
1,638	90	32	40.0	78.5	87.0	9.0	12	8.0
909	117	42	45.2	85.2	94.1	20.0	25	18.9
1,089	123	34	41.4	78.2	86.3	14.3	43	13.3
1,084	207	35	40.9	77.2	85.2	14.1	41	13.1
1,017	79	35	41.2	77.8	85.9	15.0	1	14.0
1,222	61	30	40.0	76.8	85.0	12.1	10	11.1
240	6	17	20.0	52.6	60.5	32.0	0	31.0
593	1,158	10	13.8	69.2	69.2	4.6	282	4.0
82	87	0	2.8	23.0	23.0	10.2	3	9.4
1,329	5	16	27.8	63.2	66.2	7.7	0	6.7
1,576	12	16	26.6	64.9	64.9	6.2	0	5.2
252	5	3	7.2	39.8	39.8	15.1	0	13.7
16	159	3	5.5	92.5	92.5	21.5	1	21.4
23	801	2	4.4	36.5	54.7	20.1	20	19.8
14,975	3,321	425	531.0	74.5	82.1	12.9	642	11.9
1,015	0	9	16.3			5.9		4.9

(H29.4. 1~30.3.31)

退 院	転 出	期 末 患者数	一日平均	病床利用率 (%)		平均在院 日 数	死亡	健全化用 平均在院日数
				公 称	稼 働			
14,735	3,315	408	511.1	77.1	84.9	12.6	642	11.6
0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
240	6	17	20.0	52.6	60.5	32.0	0	31.0
14,975	3,321	425	531.0	74.5	82.1	12.9	642	11.9
1,015	0	9	16.3			5.9	0	4.9

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{患者延数}}{\text{入院+退院}}$$

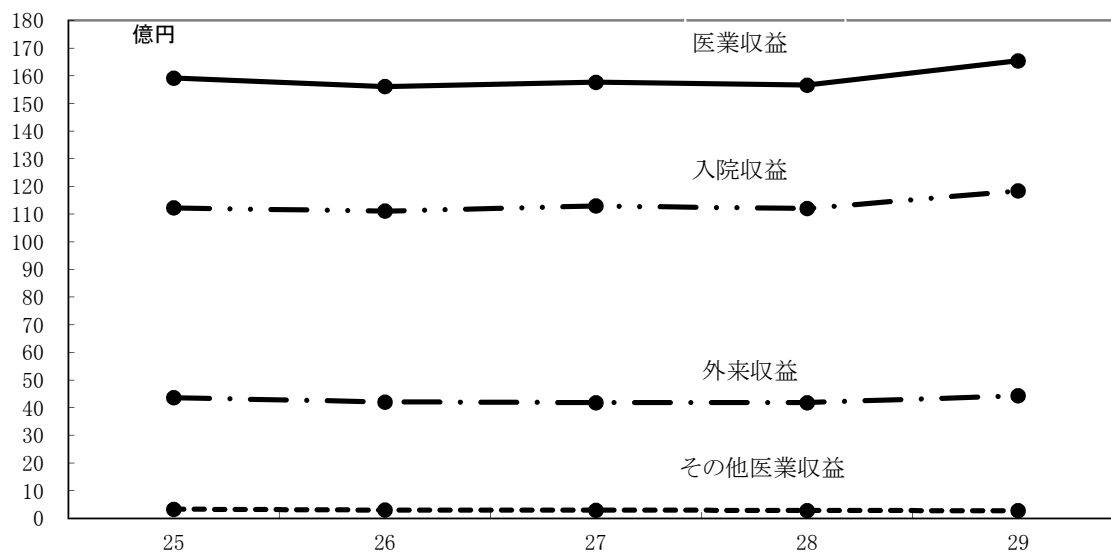
4 科別収益状況

科別の収益状況は、平成28年度の医業収益に対し平成29年度の医業収益は、外来収益が5.9%の増収、入院収益は5.7%の増収で、その他医業収益は3.1%の減収となりました。医業収益全体では、率で5.6%、額で約8億8千万円の減収となりました。

(H29.4～H30.3) (単位：千円)

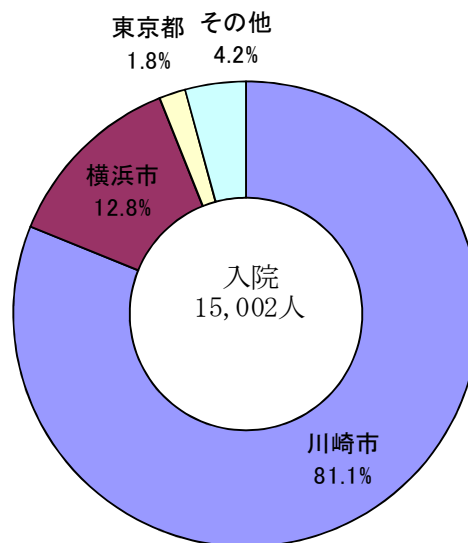
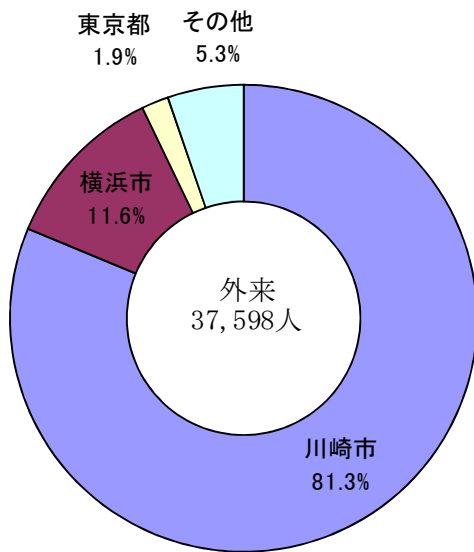
科別	外 来		入 院		そ の 他 医業収益額	合 計	
	収益額	構成比率 (%)	収益額	構成比 率 (%)		収益額	構成比率 (%)
内 科	1,943,972	44.1	4,298,089	36.0	—	6,242,061	37.7
精 神 科	115,133	2.6	201,288	1.7	—	316,421	1.9
小 児 科	380,824	8.5	864,354	7.1	—	1,245,178	7.5
外 科	487,100	10.9	1,740,548	14.7	—	2,227,648	13.5
脳 神 経 外 科	79,707	1.8	497,299	4.4	—	577,006	3.5
整 形 外 科	194,840	4.5	1,373,494	11.6	—	1,568,334	9.5
形 成 外 科	22,141	0.5	47,362	0.5	—	69,503	0.4
心 臓 血 管 外 科	13,284	0.3	272,331	2.8	—	285,615	1.7
皮 膚 科	61,995	1.4	118,405	1.0	—	180,400	1.1
泌 尿 器 科	318,829	7.1	473,619	3.9	—	792,448	4.8
産 婦 人 科	296,688	6.7	947,237	7.9	—	1,243,925	7.5
眼 科	97,420	2.2	71,043	0.6	—	168,463	1.0
耳 鼻 咽 喉 科	106,276	2.4	307,852	2.7	—	414,128	2.5
リハビリテーション科	17,713	0.4	0	0.0	—	17,713	0.1
放 射 線 科	128,417	2.9	0	0.0	—	128,417	0.8
歯 科 ・ 口 腔 外 科	88,564	2.0	47,362	0.4	—	135,926	0.8
救命救急センター	75,279	1.7	580,183	4.7	—	655,462	4.0
感 染 症	—	—	—	0.0	—	0	0.0
その他医業収益	—	—	—	—	274,692	274,692	1.7
合 計	4,428,182	100.0	11,840,466	100.0	274,692	16,543,340	100.0

年度別収益グラフ



5 地区別新患外来・入院患者数

地区	区名	患者総数（人）		構成比率（％）		患者数及び比率	
		外 来	入 院	外 来	入 院	外 来	入 院
川 崎 市	川崎区	21,340	8,477	56.8%	56.5%	30,553	12,172
	幸区	6,837	2,847	18.2%	19.0%		
	中原区	1,491	458	4.0%	3.1%		
	高津区	463	200	1.2%	1.3%		
	宮前区	216	92	0.6%	0.6%		
	多摩区	149	74	0.4%	0.5%		
	麻生区	57	24	0.2%	0.2%		
市 外	横浜市	4,365	1,921	11.6%	12.8%	7,045	2,830
	東京都	705	276	1.9%	1.8%		
	その他	1,975	633	5.3%	4.2%		
合計		37,598	15,002	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



6 救急患者取扱状況

(1) 月別取扱状況

(H29.4~30.3) (単位：人又は台)

区分	交通事故	一般負傷	自損行為	急病	分娩	その他	合計	来院方法別患者数			
								救急車	パトカー	その他	合計
4月	21	126	1	1,699	40	101	1,988	374	0	1,614	1,988
5月	15	135	3	2,128	40	97	2,418	422	3	1,993	2,418
6月	13	145	3	1,917	34	69	2,181	427	0	1,754	2,181
7月	20	108	1	2,218	40	76	2,463	414	2	2,047	2,463
8月	17	116	3	1,914	36	64	2,150	376	3	1,771	2,150
9月	19	134	3	1,792	42	71	2,061	380	3	1,678	2,061
10月	13	141	2	1,600	35	72	1,863	384	2	1,477	1,863
11月	17	124	2	1,448	48	93	1,732	354	3	1,375	1,732
12月	9	149	3	2,269	51	54	2,535	446	3	2,086	2,535
1月	23	125	1	2,693	48	78	2,968	472	3	2,493	2,968
2月	11	112	1	1,691	35	74	1,924	299	1	1,624	1,924
3月	22	127	0	1,428	38	105	1,720	353	2	1,365	1,720
計	200	1,542	23	22,797	487	954	26,003	4,701	25	21,277	26,003
構成比率 (%)	0.8	5.9	0.1	87.7	1.9	3.7	100.0	18.1	0.1	81.8	100.0

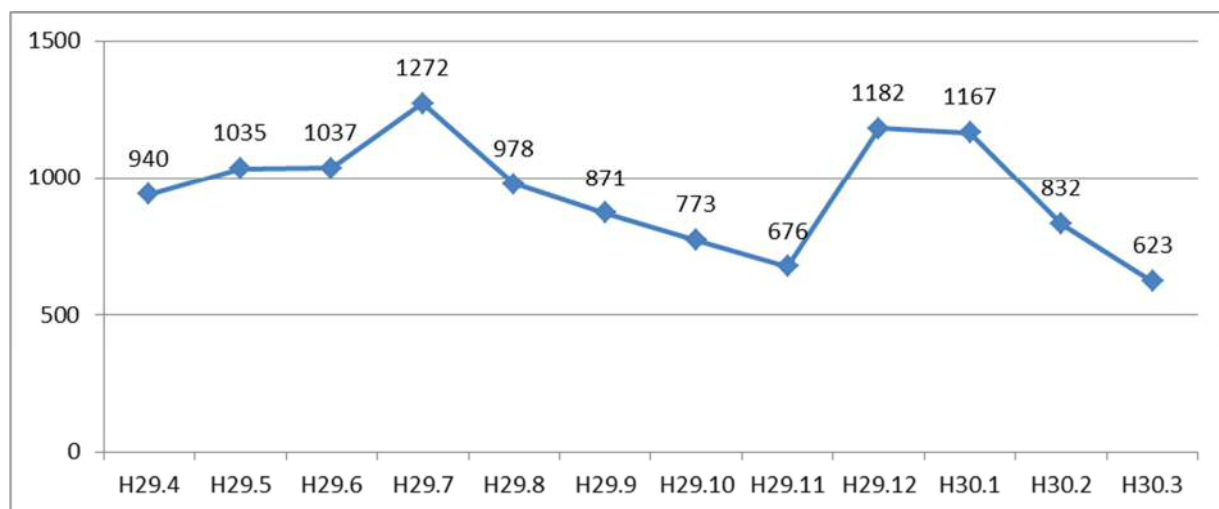
(2) 科別取扱状況

(H29.4~30.3) (単位：人)

区分	科別	内科	神経	小児	外科	脳外	整形	形成	心外	皮膚	泌尿	産婦人科	眼科	耳鼻	リハビリ	放射	口外	救命救急	計
		外来	患者数	5,874	19	10,749	92	926	165	0	112	188	124	87	92	670	0	56	
	構成比率 (%)	26.3	0.1	48.1	0.4	4.1	0.7	0.0	0.5	0.8	0.6	0.4	0.4	3.0	0.0	0.3	2.3	11.9	100
入院	患者数	1,342	20	442	142	48	0	1	17	2	10	604	4	34	0	0	2	997	3,665
	構成比率 (%)	36.6	0.5	12.1	3.9	1.3	0.0	0.0	0.5	0.1	0.3	16.5	0.1	0.9	0.0	0.0	0.1	27.2	100
計	患者数	7,216	39	11,191	234	974	165	1	129	190	134	691	96	704	0	56	517	3,666	26,003
	構成比率 (%)	27.8	0.1	43.0	0.9	3.7	0.6	0.0	0.5	0.7	0.5	2.7	0.4	2.7	0.0	0.2	2.0	14.1	100.0

注：小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合があります。

(3) 平成29年度小児急病センター患者受入状況



7 救命救急センターの業務状況

(1) 体制・施設規模 (平成30年4月1日現在)

ア 体制 医師 (常勤13人、非常勤6人) / 看護師 (常勤66人、臨時職員5人)

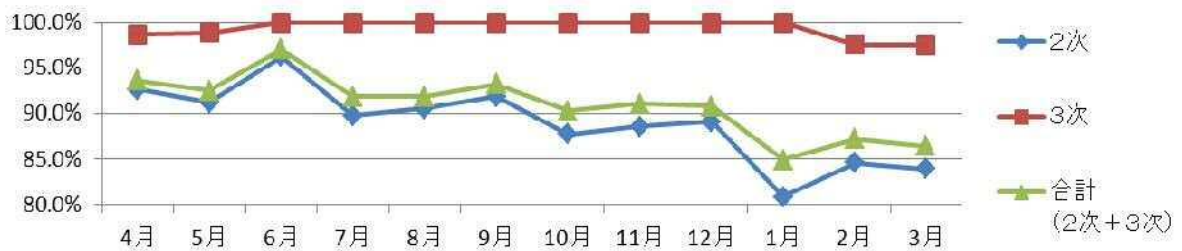
イ 施設規模 20床 (ICU 4床、救急病床 16床)

(2) 受入状況

ア 当院で救急車を受入れた救急車総数 (6,451台) のうち、ホットライン経由で救急車を受入れた件数は、5,156台で、応需率は2次88.9%、3次99.4%、2次・3次合わせて90.8%になります。

(平成29年度)

平成29年度月別救急車応需率



イ 平成29年度救命救急センター受入状況

	総数	救急隊										傷病分類				トリアージ区分				転帰										
		時間		救急隊								内因性		外傷		トリアージ区分				入院										
		深夜	日勤	準備	川崎南	川崎中	川崎北	横浜	東京	その他	うち入院	うち入院	CPA	1次	2次	3次	帰宅	入院												
計	救命救急	内科	外科	整形	脳外	小児	その他	転送	死亡																					
合計	5,156	1,433	1,962	1,770	4,650	189	14	222	57	24	3,379	1,545	1,770	642	7	2,460	1,350	1,325	21	2,556	2,198	702	1,219	111	84	36	0	46	77	325
1月平均	429.7	119.4	163.5	147.5	387.5	15.8	1.2	18.5	4.8	2.0	281.6	128.8	147.5	53.5	0.6	205.0	112.5	110.4	1.8	213.0	183.2	58.5	101.6	9.3	7.0	3.0	0.0	3.8	6.4	27.1
1日平均	14.1	3.9	5.4	4.8	12.7	0.5	0.0	0.6	0.2	0.1	9.3	4.2	4.8	1.8	0.0	6.7	3.7	3.6	0.1	7.0	6.0	1.9	3.3	0.3	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.9

ウ 平成29年度三次救急の内訳

(単位：人)

	計	重症 脳血管 障害	急性冠 症候群・ 心不全	肝不全 腎不全	多発 外傷	急性 中毒	意識 障害	その他	CPA ※心肺 停止	CPAの うち蘇 生成功 数
年間	1,346	123	128	16	140	63	20	500	356	48
1日平均	3.8	0.4	0.3	0.1	0.4	0.2	0.1	1.4	1.0	—
傷病別割合	100.0%	9.4%	8.0%	1.7%	11.0%	5.0%	2.7%	36.7%	25.4%	—

※受入全体中の死亡者数325人 (救命救急センター受入全体の6.3%)

エ 平成29年度救命救急センター患者受入状況 (件数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (人)
425	445	461	441	412	421	412	414	475	521	352	377	5,156

8 専門外来及び診療相談

各科専門外来

科 別	内 容
内 科	リウマチ膠原病・痛風センター、循環器、呼吸器、糖尿病、消化器、腎臓、神経内科、内分泌、感染症
精神・神経科	心理面接
小 児 科	心臓、循環器、神経、内分泌、代謝、予防接種、腎臓、呼吸器、精神衛生、フォローアップ、アレルギー、血液
新生児内科	フォローアップ、1か月健診
外 科	食道、胃、大腸、肛門、肝臓、胆嚢、膵臓、乳腺、血管、肺、小児外科
心臓血管外科	不整脈・心房細動、ペースメーカー
整形外科	外傷、リウマチ、骨粗しょう症、脊椎、（肩、肘、手、股、膝）関節外科、骨軟部腫瘍
産科・婦人科	手術診、子宮鏡、ハイリスク妊娠、婦人科腫瘍フォローアップ
眼 科	網膜硝子体、白内障、光凝固、蛍光眼底、未熟児、視野
耳鼻咽喉科	頭頸部腫瘍、神経耳科、めまい、甲状腺
皮膚科	光線
泌尿器科	自己導尿指導、フォローアップ、超音波検査、ストマ及び特殊検査、膀胱鏡
歯科口腔外科	顎関節症、歯科矯正相談、うけ口、埋伏歯抜歯、歯科インプラント
リハビリテーション科	義肢装具、嚥下障害、ボトックス（痙縮治療）、高次脳機能障害

- 1 神奈川リウマチ友の会：関節リウマチや膠原病の患者を中心に組織し、リウマチ膠原病に関する知識の向上・会員相互の親睦を図ることを目的としています。昭和38年7月発足（当時40名）、昭和45年10月から「神奈川県リウマチ友の会」と改組し、事業として会誌の発行や講演会を開催し、日本リウマチキャンペーンの一翼となっています。
- 2 かわびょう糖友会（糖尿病友の会）：糖尿病の治療及び予防に関する知識の普及並びに会員の福祉の増進を目的として昭和38年に発足しました。糖尿病患者、医療スタッフ会員で組織されています。糖尿病啓発事業やスタッフ勉強会を開催するとともに、神奈川県糖尿病協会の運営の中核を担いながら、同協会主催の講演・講習会、研修旅行、ウォークラリーなどの各種事業に参加しています。
- 3 母親学級：当院で出産予定の妊婦を対象として、妊娠、分娩、産褥及び育児についての保健指導をしています。前期・後期の2回コースで、妊娠の生理、妊産婦の栄養、バースプラン、分娩の進行と呼吸法・補助動作、母乳育児、赤ちゃんについてなど、ビデオや実習を交えて行っています。それぞれに、医師、助産師、栄養士、看護師が担当しています。
- 4 分娩入院説明：当院での分娩予定者で、妊娠28週以降の方全員を対象に、オリエンテーションを行っています。内容は、入院の時期、入院時の持ち物、入院中の生活についてです。その目的は、陣発時や入院時の不安を軽減し、入院がスムーズにできることです。第1、第2水曜日に助産師・看護師が説明を行っています。

9 手術件数

(1) 手術室における手術件数

	外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	精神科	麻酔科	救命科	合計
中央手術室	1,085	181	1,142	88	52	11	562	953	0	313	96	252	5	5	4,745
外来手術室	88	0	153	166	0	137	0	975	446	2	44	0	0	0	2,011
手術室合計	1,173	181	1,295	254	52	148	562	1,928	446	315	140	252	5	5	6,756

※ 産科・婦人科については外来手術室に分娩室を含む。

(2) 心血管・検査、血管内治療・検査（手術室No. 2・No. 3室使用状況）

	放射線科	内科	心臓外科	脳神経外科	外科	他科	合計
血管内治療・検査	154		15	90	194		453
心血管治療・検査		645					645
ペースメーカー埋め込み			39				39
体外ペースメーカー		5					5
血管外治療・検査	36						36
その他	3	1	1	16	8		29
合計	193	651	55	106	202	0	1,207

(3) 主な手術の内容

ア 外科

術式	件数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
食道癌手術		14	4
食道裂孔ヘルニア手術		1	0
特発性食道破裂手術		0	1
胃全摘術		10	15
幽門側胃切除術		29	29
局所切除術		6	1
バイパス術		3	2
広範囲胃切除術		1	1
グラハム術		8	10
胃単純縫合術		1	0
合計		73	63
右側結腸手術		42	32
左側結腸手術		29	31
直腸手術		16	20
ハルトマン術		21	15
人工肛門造設術		26	30
人工肛門閉鎖術		16	6
肛門手術（痔核その他）		7	6
合計		157	140
肝切除術		34	28
胆嚢摘出術		75	80
膵頭十二指腸切除術		11	13
尾側膵切除術		5	10
その他		4	9
合計		129	140
乳癌手術		108	83
Bt		44	38
Bp		64	45
乳房温存率		59%	54%
SN生検施行率		66%	75%
良性疾患		7	6
合計		115	89
動脈瘤		36	30
末梢性動脈疾患		87	91
急性動脈閉塞症		27	36
下肢静脈瘤		51	51
内シャント関連		61	138
その他		41	16
合計		303	366

平成28年度より、術式の項目を変更。

イ 呼吸器外科

分 類	病 名 及 び 術 式	件 数		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
肺 癌	肺全摘出	4	0	0
	肺葉切除	14	23	33
	肺区域・部分切除	2	3	3
	胸腔鏡下肺葉切除	21	31	39
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	4	6	5
	気管支形成術を伴う肺葉切除	3	2	2
	試験開胸術	0	0	0
転 移 性 肺 腫 瘍	肺全摘出	1	0	0
	肺葉切除	0	0	0
	肺区域・部分切除	4	2	4
	胸腔鏡下肺葉切除	0	0	0
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	4	5	10
肺（その他悪性）	胸腔鏡下肺区域・部分切除	1	2	1
肺（良 性）	肺全摘出	0	0	0
	肺葉切除	0	2	3
	肺区域・部分切除	0	1	2
	胸腔鏡下肺葉切除	0	1	0
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	3	4	3
	気胸・嚢胞性肺疾患	肺部分切除・肺縫縮術等	2	6
縦 隔 腫 瘍	胸腔鏡下肺部分切除	24	19	33
	胸腺摘出術	4	1	4
重 症 筋 無 力 症	腫瘍摘出術	4	5	7
	拡大胸腺摘出術	0	0	0
縦 隔（その他）	腫瘍・リンパ節生検	2	0	5
	リンパ節摘出	0	0	0
	交感神経節切除	0	0	0
胸 膜（悪 性）	胸膜肺全摘	1	0	0
	生検	3	1	4
胸 膜（良 性）	腫瘍摘出術	0	0	0
	生検	11	3	7
	開窓術	0	1	0
	筋弁充填・剥皮術	0	1	0
胸 壁	腫瘍摘出術	1	1	0
	肺葉切除等	0	3	0
そ の 他		2	4	5
計		121	127	172

ウ 脳神経外科

分類	病名及び術式	件数		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
腫瘍	メニンジオーマ	12	9	9
	グリオーマ	3	8	10
	転移性脳腫瘍	9	14	24
	頭蓋咽頭腫	0	0	0
	下垂体腫瘍	3	4	5
	その他の腫瘍	5	2	5
血管疾患	脳動脈瘤（直達手術のみ）	12	6	8
	高血圧性脳出血	8	4	6
	脳動静脈奇形（直達手術のみ）	1	1	1
	血管内手術・出血性疾患（脳動脈瘤・動静脈奇形）	13	12	9
	血管内手術・閉塞性疾患（ステント・血栓除去など）	0	4	10
	その他（水頭症など）	11	13	10
外傷	慢性硬膜下血腫（水腫）	33	25	19
	急性硬膜下血腫	9	1	7
	急性硬膜外血腫	4	0	2
	陥没骨折	0	0	1
	骨弁形成術・減圧開頭術	0	1	5
	その他（水頭症など）	2	1	5
水頭症	癌性髄膜炎・正常圧水頭症など	33	9	39
	髄膜瘤など	0	1	0
奇形	その他	26	56	44
その他				
		184	171	219

エ 整形外科

術 式	件 数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
脊柱、脊髓、頸椎、前方	15	6	8
〃、後方	29	55	42
胸椎、前方	1	1	0
〃、後方	9	7	2
腰椎、前方	6	3	7
〃、後方	123	131	134
腱、神経	46	109	85
骨 折	332	315	384
骨折以外の外傷	36	45	37
抜 釘	117	76	102
手の手術	193	201	94
先天性奇形	4	2	5
骨軟部腫瘍	47	39	35
関節鏡 手	8	10	10
肘	6	2	8
肩	69	62	60
膝	59	42	50
股	1	0	4
人工股関節	51	52	59
人工膝関節	49	58	84
人工肩関節	9	7	6
その他の人工関節(肘、指、足)	8	9	7
上肢切断術(指含む)	5	1	2
下肢切断術(踵含む)	14	13	12
その他	38	2	47
計	1,275	1,248	1284

オ 形成外科

分 類	件 数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
I. 外傷	200	198	243
II. 先天異常	14	7	21
III. 腫瘍	221	252	208
IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	24	22	43
V. 難治性潰瘍	12	6	26
VI. 炎症・変性疾患	23	22	18
VII. 美容（手術）	57	50	60
VIII. その他	0	0	8
計	551	557	627

カ 心臓血管外科

分 類	病 名	術 式	件 数		
			平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
心大血管	大動脈				
	●胸部、胸腹部	人工血管置換術 他	8	27	30
	先天性心疾患	開心術	0	0	1
	後天性心疾患				
	●弁 膜 症	人工弁置換術、弁形成術	12	18	23
	●冠動脈疾患	冠動脈バイパス術 他	7	11	9
	●心房細動	メイズ手術（単独）	0	0	0
	●そ の 他		2	0	0
	心外傷				
	その他	ペースメーカー移植 心カテアングリオ検査 その他	} 36	} 37	} 60
計		65	93	123	

キ 皮膚科

術 式	件 数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
皮膚生検	232	196	178
皮膚良性腫瘍摘出	240	283	295
皮膚悪性腫瘍摘出	15	11	13
計	487	490	486

ク 泌尿器科

術 式	件 数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
後腹膜腫瘍摘出	1	0	1
腹腔鏡下副腎摘除術	4	3	2
副腎全摘除術	0	0	0
腎摘除術（良性）	1	0	0
根治的腎摘除術（悪性）	1	2	0
腎部分切除術	6	5	3
腹腔鏡下腎摘除術	13	15	14
腹腔鏡下腎部分切除術	8	9	10
腎尿管全摘除術	0	1	0
腹腔鏡下腎尿管全摘除術	12	5	14
腎盂形成術	1	2	0
腹腔鏡下腎盂形成術	0	1	1
腎瘻造設術	6	11	12
P N L	5	4	3
腎盂切石	1	0	1
膀胱切石術	0	0	1
膀胱全摘除術	1	0	1
腹腔鏡下膀胱全摘除術	15	4	11
回腸導管造設術（膀胱全摘を伴うもの）	14	4	10
回腸導管造設術（膀胱全摘を伴わないもの）	2	2	1
代用膀胱造設術	2	0	1
後腹膜リンパ節郭清	0	0	0
経尿道的手術			
a) 膀胱結石、異物	17	15	9
b) TURBT	100	117	110
c) TURP	42	41	53
d) TUL	39	59	81
e) 経尿道の尿管狭窄拡張術	6	6	2
f) 内尿道切開切開術	2	2	2
g) 尿道狭窄拡張術	6	4	6
膀胱尿管新吻合	0	2	2
尿管尿管吻合	0	1	0
膀胱修復術	1	1	2
包茎手術			0
a) 背面切開	0	0	0
b) 環状切開	2	3	4
精巣摘出術	6	3	4
高位精巣摘除術	8	3	2

術式	件数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
精巣固定術（停留精巣）	0	0	0
精巣（睾丸）捻転手術	2	1	1
陰嚢水腫根治手術	4	6	5
精索静脈瘤切除術	1	1	0
尿膜管嚢胞切除術	0	0	0
前立腺摘除術	1	0	0
腹腔鏡鏡下前立腺摘除術	21	9	0
ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	0	31	42
前立腺針生検術	94	151	150
陰茎全摘除術	0	0	0
陰茎部分切除術	0	1	0
陰茎癌鼠径リンパ節廓清術	0	0	0
陰茎折症	0	0	0
ESWL	72	39	33
腎生検	4	5	9
尿管ステント留置	74	75	89
経皮的腎嚢胞縮小術	0	0	1
CVポート	8	5	8
膀胱瘻造設術	2	3	3
その他（RPなど）	24	25	22
腹腔鏡下膀胱部分切除術	0	1	0
腹腔鏡下尿膜管切除術	0	0	3
腹腔鏡下腎嚢胞開窓術	1	0	0
陰嚢内腫瘍摘除術	0	0	0
経尿道的電気凝固止血術	0	4	2
計	630	682	741

ケ 産科・婦人科

術 式	件 数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
内視鏡手術 合計	464	465	405
腹腔鏡手術 合計	214	194	202
腔式子宮全摘術	49	64	67
子宮筋腫核出術	68	40	45
付属器切除術	31	29	32
卵巣腫瘍摘出術	41	44	40
卵管開口術			
子宮外妊娠手術	21	11	12
その他	4	6	6
子宮鏡手術 合計	250	271	203
粘膜下筋腫摘出術	225	247	183
その他	25	24	20
婦人科開腹手術 合計	177	151	155
良性腫瘍手術 合計	124	105	106
腹式単純子宮全摘術	58	57	67
膣上部切断術	1	0	0
子宮筋腫核出術	50	33	23
付属器切除術	9	8	7
卵巣腫瘍摘出術	5	3	5
子宮外妊娠手術（開腹）			
その他良性腫瘍手術	1	4	3
悪性腫瘍手術 合計	21	46	49
拡大子宮全摘術	15	24	22
広汎子宮全摘術		3	3
卵巣癌根治術	3	13	12
試験開腹		2	3
その他悪性腫瘍手術	3	4	9
産科手術 合計	294	301	268
帝王切開術	284	285	250
妊娠子宮摘出術			
頸管縫縮術	3	2	4
卵管結紮術	10	14	14
その他産科手術	1		
腔式手術 合計	60	78	93
子宮全摘＋膣壁形成術	1	6	3
膣壁形成術			5
膣閉鎖術	2	1	2
子宮膣部円錐切除術	44	50	68
バルトリン腺手術	1	2	0
その他腔式手術	4	14	15
子宮内容除去手術 合計	88	52	72
流産手術	53	35	
胎状奇胎除去術		1	
人工妊娠中絶術			
内膜ポリープ切除術			
全面搔爬術	71	16	
計	1,133	1,047	993

コ 眼科

術 式	件 数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
白内障	288	334	209
硝子体手術	58	69	56
緑内障	2	4	3
網膜剥離（強膜バックリング）	1	1	1
斜 視	0	0	0
眼瞼腫瘍	0	0	0
眼瞼内反、眼瞼外反	0	0	0
眼球破裂	1	2	1
眼内異物	0	1	0
翼状片	0	1	2
霞粒腫	0	2	0
黄斑下血腫移動術	2	1	0
眼内レンズ整復	1	2	2
結膜弛緩症	1	0	0
眼内レンズ縫着術・強膜内固定術	9	9	7
眼窩脂肪ヘルニア	0	0	0
眼瞼下垂	0	2	0
その他	1		2
硝子体注射	105	134	153
光凝固術			
網 膜	256	39	28
緑内障	8	9	8
後発白内障	5	40	28
光線力学療法	0	0	0
計	738	650	500

サ 耳鼻咽喉科

分類	病名	術式	件数			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	
耳	慢性中耳炎	鼓室形成	13側	7側	2側	
		乳突削開術	11側	3側	2側	
		鼓膜形成	8側	3側	2側	
	滲出性中耳炎	鼓室内チューブ留置	46側	30側	38側	
	先天性耳瘻孔	瘻孔摘出	3側	3側	4側	
鼻	外耳道その他		5	1	1	
		良性腫瘍	腫瘍摘出	0	3	5
	慢性副鼻腔炎	内視鏡下副鼻腔手術	52側	41側	45側	
	頬部嚢腫	上顎洞根本術	0	0	0	
	鼻中隔彎曲症	鼻中隔矯正術	33	17	17	
	肥厚性鼻炎	下甲介切除術	18側	19側	4側	
	上顎骨鼻骨骨折	整復	2	8	6	
	鼻茸その他		5	3	3	
	鼻副鼻腔悪性腫瘍		1	1	1	
	咽頭	アデノイド増殖	アデ切除	10	15	31
		慢性扁桃炎	扁桃摘出	112側	70側	89側
咽頭良性腫瘍		摘出・切除	9	5	8	
喉頭	声帯ポリープ、他	ラリngoマイクロ	29側	20側	23側	
	悪性腫瘍	ラリngoマイクロ	0	3	7	
舌・口腔	良性腫瘍・チステ	摘出・切除	2	7	2	
顎頸部	唾液腺手術	良性手術摘出	23	15	23	
			(顎下腺 8、 耳下腺 15)	(顎下腺 2、 耳下腺 13)	(顎下腺 8、 耳下腺 15)	
		悪性手術摘出	2	3	6	
	甲状腺手術	良性手術摘出	21	7	12	
		悪性手術摘出	10	16	13	
		頸部のう胞他	良性	3	6	4
	リンパ節	摘出	22	14	15	
	気管切開		37	39	41	
	頭頸部 悪性	舌・口腔	悪性手術摘出	4	3	8
		咽頭	悪性手術摘出	5	5	12
喉頭		悪性手術摘出	4	4	5	
その他		頸部郭清	22	28	26	
		皮弁形成	5	6	5	
			31	42	48	
計			548	447	508	

シ 歯科口腔外科

術式	件数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
〈入院手術症例〉			
上下顎骨形成術	3	6	3
顎顔面多発骨折観血的整復固定術	2	2	2
下顎骨骨折観血的整復固定術	3	4	9
頬骨骨折観血的整復固定術			
固定金属板除去術	4	5	9
唇顎口蓋裂手術			
顎骨嚢胞摘出術	29	32	33
顎骨骨髓炎手術	2	3	5
上顎洞根本術			
上顎洞口腔瘻閉鎖術		1	
唾石摘出術		1	
腫瘍摘出術	3	9	23
顎骨腫瘍摘出術	3	1	4
口腔・顎・悪性腫瘍切除術	4	3	4
顎骨・顔面再建術			
下顎・口蓋隆起形成術	2	13	7
埋伏歯抜歯術	7	24	20
顎関節脱臼観血手術			
顎関節授動術（開放）			
歯根端切除術	19		15
インプラント関連手術	4		3
心身障害児歯科治療	3		5
その他	11		12
〈外来手術症例〉			
埋伏歯抜歯術	1,004	980	1,092
抜歯術	1,573	1,206	1,139
嚢胞摘出術	76	49	73
歯根端切除術	48	42	41
縫合術	21	20	27
腫瘍摘出術	47	35	41
矯正用インプラント埋入術	19	8	13
インプラント埋入術	6	11	17
インプラント骨移植術	3	5	3
その他	311	263	334
計	3,207	2,738	2,917

10 分娩件数

術 式	件 数		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
単胎分娩	1,010	1,032	950
双胎分娩	20	18	11
経膈分娩	746	764	711
帝王切開分娩	284	285	250
帝王切開率	27.6%	27.2%	26.0%
早産分娩	96	103	105
正期産分娩	934	940	867
過期産分娩		0	0
早産率	9.3%	9.6%	10.8%
吸引分娩	43	46	33
鉗子分娩		0	0
骨盤位分娩		0	0
V B A C		0	1
予定帝王切開	170	168	150
緊急帝王切開	114	117	100
緊急帝王切開率	11.1%	11.1%	10.4%
母体搬送依頼（出）	4	2	3
母体搬送応需（入）	30	25	40
院外分娩	1	3	5
分娩時平均年齢	30.9歳	30.8歳	31.1歳
初産	541	526	468
経産	493	537	504
男児	577	552	485
女児	471	515	487
川崎区	536	569	525
幸区	204	191	206
中原区	21	34	31
川崎市	804	831	787
鶴見区	74	77	58
横浜市	108	110	85
大田区	49	42	29
東京都	76	69	52
川崎市民の割合	78.0%	79.1%	81.9%
分 娩 件 数	1,030	1,050	961
分 娩 総 数	1,050	1,068	972

11 麻酔科及びMEセンター状況

(1) 麻酔科

分類・年度	診療科	一般外科	心臓外科	形成外科	放射線科	精神科	脳外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科	眼科	耳鼻科	歯科口腔外科	循環器科	麻酔科	救急科	計
	麻酔科	26	788	34	86	96	144	93	1,067	17	449	1,032	2	293	65	5	18	2
管理	27	872	35	54	22	168	105	1,002	6	412	970	0	260	63	5	0	3	3,977
	28	807	76	78	10	340	84	1,049	7	440	1,000	2	212	54	1	0	1	4,161
	29	903	49	78	3	251	112	1,070	4	504	949	0	259	73	0	1	0	4,256

(2) MEセンター

医療機器が多用される最近の医療現場では、医師や看護師のみでは効率的かつ安全な医療の遂行が難しくなり、医学的な知識のみならず工学的な知識と技術を持つ専門家として、昭和63年に誕生したのが臨床工学技士です。臨床工学技士は医療技術者の一つで、厚生労働大臣の免許を受けて「医師の指示の下に呼吸、循環、代謝に関わる生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする」（臨床工学技士法第2条）とされています。

業務体制としては、手術室部門・人工呼吸器部門・血液浄化部門・心臓カテーテル部門・ペースメーカー部門・ME機器部門など多岐に分かれます。

ア 臨床業務実績

業務内容	項目	平成28年度	平成29年度
血液浄化	CHDF	239	105
	PMX-DHP	1	15
	PE	7	10
	ビリルビン吸着	0	0
	出張HD	27	61
	LCAP	9	0
透析室	透析室	503	776
人工呼吸器	人工呼吸器ラウンド	2264	2654
	RST 総合ラウンド	421	400
	回路交換	111	20
カテーテル業務	CAG	349	356
	PCI	146	194
	緊急カテ	103	95
	IVUS	199	250
	FFR	9	22
	Rotabrator	0	15
	テンポラリーPM 挿入	8	3
	IABP	6	7

ペースメーカー業務	新規植込	19	20
	電池交換	10	17
	植込 1 週間後チェック	23	22
	緊急チェック	10	9
	術中管理	22	11
	外来	340	373
体外循環	人工心肺	43	27
	PCPS(管理日数)	9(18)	17(30)
	V-V ECMO	0	0
オペ室業務	セルセーバー	81	106
	オペ室対応	453	463
	da vinci 業務	31	43
	脳神経外科ナビゲーション	18	49
	術中神経モニタリング	23	9
	術中カメラ操作	13	0
病棟	病棟対応	89	276

イ 機器管理業務実績

	項目	平成 28 年度	平成 29 年度
点検	輸液ポンプ	1380	1130
	シリンジポンプ	841	762
	除細動器	206	199
	自動体外式除細動器	85	108
	閉鎖式保育器	256	217
	PCA ポンプ	143	106
	人工呼吸器	838	903
	人工心肺	43	27
	PCPS	9	11
	テンポラリーPM	233	303
	麻酔器	2289	2492
	血液ガス装置	506	492
	電気メス	1890	2920
	ハーモニック	129	174
	サンダービート	32	19
	高周波メス	89	54
	内視鏡	977	1339
	ソノサージ	14	5
医療用レーザー	40	89	

	手術支援システム	31	22
	離床センサー	15	19
	経腸栄養ポンプ	18	2
	反復圧迫治療器	126	240
	パルスオキシメーター	243	245
	超音波ネブライザ	37	26
	ベッドサイドモニタ	399	451
	送信機	66	25
	血圧計	171	89
修理	輸液ポンプ	18	8
	シリンジポンプ	30	21
	血圧計	139	67
	反復圧迫治療器	33	90
	送信機	9	5
	ベッドサイドモニタ	3	7
	低圧持続吸引器	5	5

12 内視鏡センター利用状況

分 類	件 数		平成29年度
	平成27年度	平成28年度	
上部消化管内視鏡	5,540	5,402	5,588
超音波内視鏡	14	2	6
食道・胃粘膜切除術 (食道粘膜切除術)	51	38	34
(胃粘膜切除術)	12(ESD11)	7(ESD7)	7(ESD5)
中・下咽頭粘膜切除術	39(ESD39)	31(ESD31)	27(ESD2)
上部消化管静脈瘤治療 (EVL)	0	0	0
(EIS)	50 (48)	26 (24)	28 (27)
胃静脈瘤硬化療法(SOS)	(2)	(2)	(1)
狭窄拡張術	0	0	0
止血術	48	40	34
人工食道挿入	154	165	121
胃ろう造設(PTEG)	0	2	0
イレウス管挿入	76	55	54
異物除去	2	2	9
	14	15	22
下部消化管内視鏡	2,119	1,990	2,028
大腸粘膜切除術	199(ESD8)	278(ESD1)	263(ESD1)
大腸ポリペクトミー	94	118	133
吻合部拡張術	3	1	0
止血術	12	8	17
カプセル内視鏡	24	9	13
気管支鏡	275	322	320
経気管支肺生検	94		
膵・胆道内視鏡	266	276	327
逆行性膵・胆管造影	199	212	225
超音波内視鏡	67	64	102
EUS-FNA	7	(3)	(5)
乳頭括約筋切開術	66	89	80
乳頭バルーン拡張術	14	19	22
胆管結石採石・碎石術	61	79	80
経鼻胆道ドレナージ術	60	60	86
胆管ステント挿入術	47	29	42
膵管ステント挿入術	7	13	17
乳頭切除術	0	1	3
細胞診	1	14	1
組織診	0	15	0
計	8,224	8,000	8,278

(小腸鏡 29年度 2件 → これを入れることにより 計 8,278 件 となります)

13 クリニカルパス使用件数

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
14N	6	11	8	7	9	6	4	10	10	10	9	9	99
14S	10	7	13	15	14	10	8	10	6	8	6	9	116
13N	40	48	42	32	46	44	44	37	40	40	42	47	502
13S	9	8	8	11	10	12	10	12	10	9	21	19	139
12N	87	100	95	95	123	92	116	102	106	96	87	105	1,204
12S	11	11	19	18	21	19	19	15	15	16	20	25	209
11N	21	24	32	45	46	44	45	33	34	38	38	45	445
11S	25	32	32	40	43	34	28	25	29	38	51	43	420
10N	63	68	87	83	79	74	85	77	81	83	88	82	950
10S	61	60	83	71	93	83	94	80	67	78	79	77	926
9N	5	9	10	6	3	4	3	3	4	7	8	7	69
9S	1	3	9	14	18	14	11	8	15	10	8	15	126
9W	5	1	1	2	0	3	0	1	0	1	1	1	16
8N	119	131	126	126	134	116	129	121	140	126	85	99	1,452
8S	23	16	15	22	22	22	21	16	26	26	18	21	248
8W	3	3	0	3	1	3	5	5	3	2	1	2	31
ICU	1	1	2	1	1	3	3	1	1	1	1	2	18
OPE	522	593	612	569	626	532	605	557	534	574	551	578	6,853
合計	1,012	1,126	1,194	1,160	1,289	1,115	1,230	1,113	1,121	1,163	1,114	1,186	13,823

14 外来治療センター利用状況

平成 29 年度治療患者数

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大腸	37	25	33	33	39	29	31	39	28	39	35	36	404
胃	10	9	11	16	17	19	10	8	4	8	6	3	121
肝胆膵	13	14	29	32	35	26	26	23	31	37	39	45	303
乳腺	32	42	41	39	47	33	45	44	31	37	52	52	475
呼吸器	39	54	52	63	53	50	50	53	55	49	52	52	622
造血器	17	27	42	22	30	18	17	20	13	10	14	20	250
婦人科	9	11	7	11	10	14	12	9	8	11	15	18	135
脳神経	19	17	9	14	12	12	18	11	15	14	6	7	154
泌尿器	8	9	13	12	14	8	6	7	9	10	12	15	123
頭頸部	5	0	2	2	0	0	0	2	6	6	4	8	35
その他	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8
生物学的製剤	42	40	39	40	42	38	31	39	36	40	36	40	463
合計	232	251	280	285	299	248	246	256	230	247	244	276	3,093
診療日数	20	20	22	21	22	20	21	20	20	19	19	22	246
1日当たり	11.6	12.6	12.7	13.4	13.7	12.4	11.7	12.1	11.5	13.0	12.8	12.5	12.6

15 薬剤部業務状況

薬剤部の業務は、調剤・注射薬調製、薬剤管理指導、薬品管理、医薬品情報管理、製剤の5部門に大別され、その内容は次に示すとおりです。病院の機能分化が進む中、入院及び外来における患者動向の変化に伴い、平成29年度の院外処方箋枚数は前年度より1日平均10枚減少しましたが、入院処方箋枚数は1日平均約50枚増加しました。持参薬の確認・鑑別業務は前年度より約450件減少しましたが、これは入院契機となる薬剤の使用を制限したことが要因と考えられます。薬剤管理指導業務は昨年度より約900件減少しました。これは薬剤師の産休・育休取得者の増加と職員の相次ぐ退職による人員減の影響が大きいと考えられます。薬品管理部門では、前年度に引き続き後発医薬品への切替えを積極的に行い、後発品使用率（数量シェア）は約83%となりましたが、薬品購入金額は前年度より約1億円の増加となりました。

(1) 調剤・注射薬調製業務

アに科別、病棟別の外来・入院処方箋枚数を示しました。外来患者数が減少したことにより、外来院外処方箋枚数は昨年度より約2,500枚減少し、外来院内処方箋枚数は昨年度より約300枚減少しました。入院処方箋枚数は昨年度より約18,000枚増加しました。イに月別の外来処方箋枚数と院外処方箋発行率を示しましたが、院外処方箋発行率は昨年度とほぼ同じでした。ウに持参薬確認件数を示しましたが、昨年度より約450件減少しました。エに月別、病棟別TPN調製件数を示しました。TPNの調製については、昨年度より一般病棟における調製件数は約30件減少し、NICUの調製件数は約120件増加しました。オに化学療法調製件数を示しました。外来は昨年度より約760件増加し、入院は約420件増加しました。カに月別注射箋枚数を示しました。注射箋枚数は発行対象病棟を増やしたことから、約15,000枚増加しました。

ア 診療科別外来（院外・院内）処方・病棟別入院処方年間総処方箋枚数及び1日平均処方箋枚数

診療科	外来院外処方箋枚数		外来院内処方箋枚数		病棟	入院処方箋枚数	
	年間	1日平均	年間	1日平均		年間	1日平均
内科	54,867	223.9	6,603	18.1	8N	3,725	10.2
精神・神経科	17,267	70.5	507	1.4	8S	4,376	12.0
小児科	13,988	57.1	3,937	10.8	8W	947	2.6
外科	8,157	33.3	827	2.3	9N	5,731	15.7
心臓血管外科	857	3.5	2	0.0	9S	7,963	21.8
脳神経外科	2,153	8.8	112	0.3	9W	1,190	3.3
整形外科	11,288	46.1	818	2.2	10N	10,813	29.6
形成外科	758	3.1	172	0.5	10S	11,764	32.2
皮膚科	12,636	51.6	144	0.4	11N	13,825	37.9
泌尿器科	8,534	34.8	184	0.5	11S	13,539	37.1
産婦人科	5,437	22.2	59	0.2	12N	10,743	29.4
眼科	4,725	19.3	80	0.2	12S	16,881	46.2
耳鼻咽喉科	5,623	23.0	163	0.4	13N	17,871	49.0
放射線科	429	1.8	11	0.0	13S	17,720	48.5
リハビリテーション科	51	0.2	5	0.0	14N	16,724	45.8
口腔外科	4,396	17.9	33	0.1	14S	16,873	46.2
救命救急センター	751	3.1	637	1.7	ICU	2,642	7.2
					NICU	0	0.0
計	151,918	620	14,294	39	計	173,327	475

稼働日数 外来院外 244日 外来院内 365日 入院 365日

イ 平成28年度月間外来（院外・院内）処方箋枚数及び院外処方箋発行率

月別	外来処方箋枚数						院外処方箋発行率（注2）			
	院外処方箋枚数	院内処方箋枚数（注1）				計	計	（Ⅰ）	（Ⅱ）	（Ⅲ）
		（A）	（B）	（C）	計					
平成29年 4月	12,249	205	590	396	1,191	13,440	91.1%	93.9%	98.4%	
5月	12,871	231	614	369	1,214	14,084	91.4%	93.8%	98.2%	
6月	13,342	234	587	356	1,177	14,519	91.9%	94.2%	98.3%	
7月	12,690	219	650	370	1,239	13,929	91.1%	93.6%	98.3%	
8月	13,182	242	642	440	1,324	14,506	90.9%	93.7%	98.2%	
9月	12,651	217	523	435	1,175	13,826	91.5%	94.5%	98.3%	
10月	12,551	223	489	359	1,071	13,622	92.1%	94.6%	98.3%	
11月	12,219	252	432	398	1,082	13,301	91.9%	94.7%	98.0%	
12月	13,196	228	663	390	1,281	14,477	91.2%	93.7%	98.3%	
平成30年 1月	12,775	213	786	362	1,361	14,136	90.4%	92.7%	98.4%	
2月	11,544	213	513	363	1,089	12,633	91.4%	94.1%	98.2%	
3月	12,648	233	424	422	1,079	13,727	92.1%	95.1%	98.2%	
計	151,918	2,710	6,913	4,660	14,283	166,201	91.4%	94.0%	98.2%	

（注1）（A）：労災、自賠責扱い患者の処方、院内製剤、麻薬、治験を含む処方、特に必要と認められた患者の処方等

（B）：救急外来処方（主に夜間）

（C）：検査薬、糖尿病血糖測定紙、穿刺針、消毒綿、インスリン注入器等の処方

（注2）（Ⅰ）：院内処方せん枚数に（A）、（B）、（C）を含む

（Ⅱ）：院内処方せん枚数に（A）、（B）を含む

（Ⅲ）：院内処方せん枚数に（A）を含む

ウ 持参薬確認件数

月別 病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14N	5	4	10	7	7	4	7	7	6	9	4	3	73
14S	14	18	14	20	9	12	6	11	8	8	11	4	135
13N	32	39	36	32	36	27	27	27	32	25	23	30	366
13S	22	23	20	19	11	18	22	16	11	18	21	24	225
12N	85	89	91	86	108	80	99	79	87	84	84	72	1,044
12S	31	29	32	27	31	30	36	22	28	33	22	26	347
11N	53	63	53	61	60	53	51	51	40	51	40	48	624
11S	66	65	53	59	60	43	50	50	48	48	54	47	643
10N	45	42	54	38	54	44	62	42	44	53	44	47	569
10S	42	58	62	48	47	47	60	51	39	58	47	52	611
9N	4	3	5	7	7	4	8	4	10	6	3	13	74
9S	8	3	2	4	2	5	3	4	4	3	3	2	43
8N	7	7	5	11	7	10	10	2	9	7	5	6	86
8S	2	0	2	2	2	0	1	0	0	2	1	1	13
ICU	1	0	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	7
合計	417	443	439	423	442	377	443	367	366	406	362	375	4,860

エ 平成29年度月別、病棟別TPN調製件数

月別 病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8S													
9N													
10N													
10S						5				4	1		10
11N	47	26	20	56	16	26	20	42	52	49	5	5	364
11S	23	5	12	4	7	31	51	50	25	20		1	229
12N			4		4	8	17					14	47
12S				32	54	23		8	10				127
13N	6		2		11				9			1	29
13S		3			5		12	27	21	23		2	93
14N				5	6	17	16	21	12			12	89
14S	12	3	6	6	16	10	31	36	48	21	43	45	277
ICU					27	11	7	4	11	16		5	81
TPN計	88	37	44	103	146	131	154	188	188	133	49	85	1,346
NICU	64	37	47	26	33	58	56	34	62	37	15	26	495
合計	152	74	91	129	179	189	210	222	250	170	64	111	1,841

オ 平成29年度月別、外来（診療科）・入院（診療科・臓器別）化学療法調製件数

月別 診療科 ・入院（臓器別）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	99	126	145	124	124	116	102	121	107	110	115	128	1,414
外科	95	93	105	114	139	99	107	106	82	97	95	101	1,233
脳神経外科	10	13	6	9	8	11	11	6	8	11	3	6	102
産婦人科	9	11	6	11	10	13	12	9	8	10	15	18	132
泌尿器科	8	9	14	14	14	12	7	7	11	13	11	16	136
耳鼻咽喉科	4	1	2	2	0	0	0	2	6	6	4	7	34
泌尿器科膀胱注	1	0	1	2	0	0	1	2	2	2	0	0	11
エンドキサンノリス	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3
外来合計	225	253	278	274	297	251	239	251	227	244	239	276	3,054
造血器	21	29	24	31	19	19	9	30	7	5	9	22	225
肺	68	89	71	67	74	73	84	92	91	106	79	81	975
食道	26	25	23	12	16	10	4	8	10	14	25	26	199
胃	1	4	5	3	2	2	5	4	4	5	3	9	47
膵	27	11	7	7	1	7	8	1	6	7	3	5	90
胆肝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳腺	0	5	1	1	0	6	1	0	4	0	1	0	19
大腸	2	3	2	4	4	2	5	2	0	1	3	2	30
脳外	4	4	3	6	10	8	0	2	5	5	9	7	63
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	9	9	8	8	14	17	10	8	7	12	10	14	126
泌尿器科	24	29	28	33	23	19	29	13	14	15	21	21	269
耳鼻科	9	11	6	11	20	14	8	21	6	11	7	23	147

歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エンドキサンノールス	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	1	0	7
その他	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
入院合計	192	220	178	184	184	179	163	181	154	183	141	210	2,199
総合計	417	743	456	458	481	431	403	432	381	427	410	486	5,255

カ 平成29年度月別注射箋枚数（入院）

月別	注射箋枚数
4月	12,555
5月	13,956
6月	13,844
7月	14,269
8月	15,896
9月	14,262
10月	13,935
11月	14,052
12月	14,240
1月	14,787
2月	14,269
3月	15,391
合計	171,456

(2) 薬剤管理指導業務

平成29年度は、指導患者数3634人（前年比7.1%減）、算定件数4826件（前年比15.8%減）となりました。算定件数減少の要因は薬剤師の産休・育休取得者の増加と繁忙職員の相次ぐ退職による人員減の影響が大きいと考えられます。ほとんどの診療科で減少しており、特に泌尿器科は前年比38.1%、皮膚科は43.4%、眼科は69.1%と大幅な減少となりました。

診療科別・病棟別年間指導対象患者数及び薬剤管理指導件数

診療科	患者数	薬剤管理指導件数	病棟	患者数	薬剤管理指導件数
内科	1,701	2,379	8N	4	5
精神・神経科	3	3	8S	5	3
小児科	5	3	9N	3	3
外科	526	800	9S	1	1
心臓血管外科	50	64	9W	2	2
脳神経外科	20	26	10N	370	468
整形外科	450	586	10S	407	550
形成外科	24	27	11N	292	422
皮膚科	46	56	11S	344	522
泌尿器科	170	219	12N	588	596
産婦人科	219	288	12S	191	271
眼科	172	59	13N	468	559
耳鼻咽喉科	174	232	13S	357	512
歯科口腔外科	51	57	14N	252	359
救急科	23	27	14S	375	549
			ICU	2	4
計	3,634	4,826	計	3,661	4,826

(3) 薬品管理業務

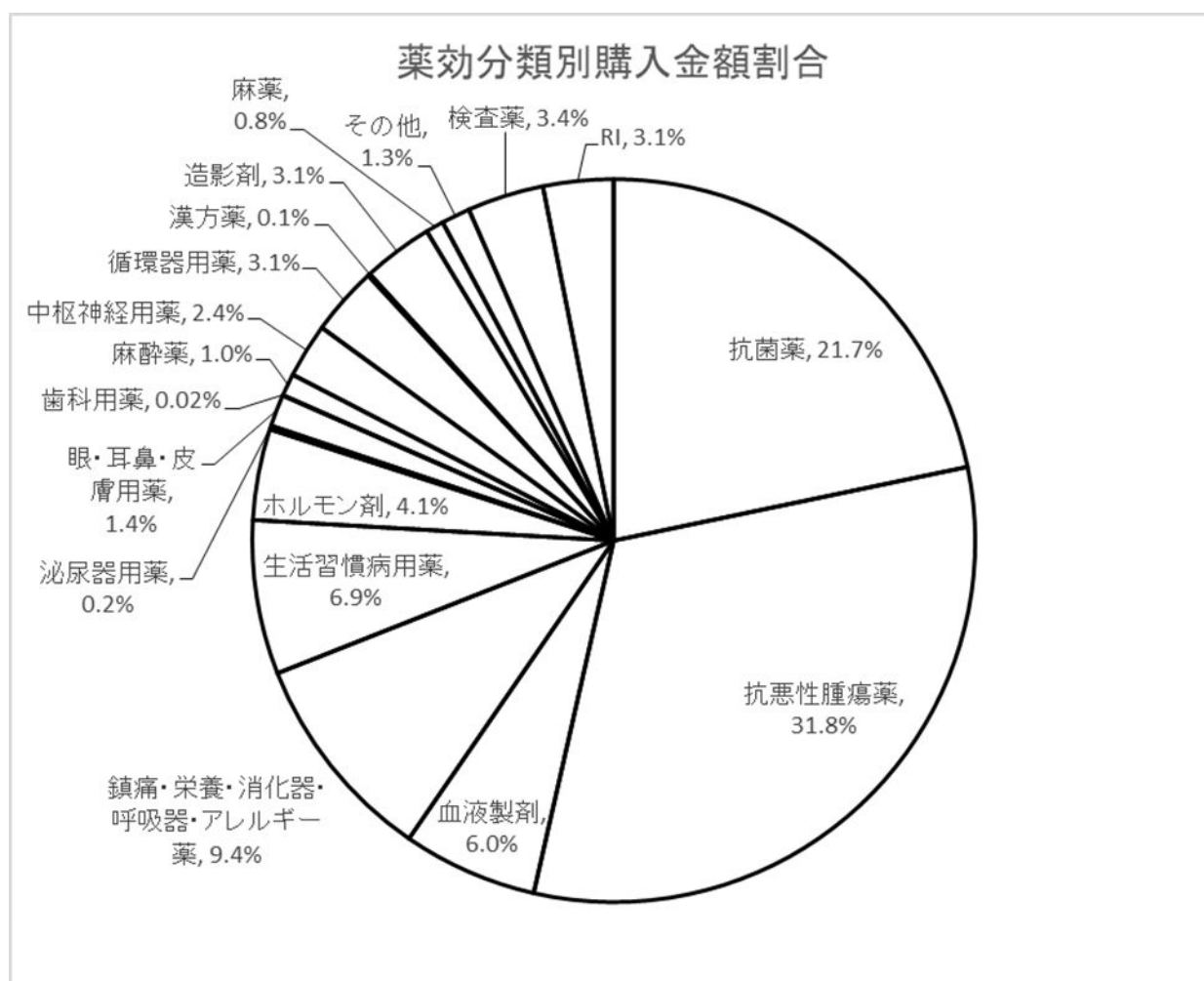
薬品購入金額は昨年度に比べ約5.8%、金額にして約1億円の増加となりました。先発医薬品から後発医薬品への変更による減額効果以上に、新規抗がん剤、放射性薬品、抗体製剤などの高額医薬品の購入費が増加しており、ここ数年増加の一途をたどっています。

[薬品使用状況]

ア 区分別使用割合

区 分	比 率 (%)	区 分	比 率 (%)
内 服 用 薬 品	15.87	そ の 他 薬 品	0.75
注 射 用 薬 品	70.73	麻 薬	0.81
外 用 薬 品	2.25	血 液	3.04
検 査 薬 品	3.42	放 射 性 薬 品	3.14

イ 薬効分類別購入金額割合



ウ 採用医薬品における後発医薬品の割合

平成29年度の、後発医薬品採用率及び使用率は、次のとおりでした。

採用薬品数	先発医薬品	後発医薬品	合計	後発医薬品 採用率 (品目シェア)
	1,029	416	1,445	28.79%
入院使用数量	先発医薬品 (後発の発売が あるもの)	後発医薬品	合計	後発医薬品 使用率 (数量シェア)
	508,079	2,393,041	2,901,120	82.49%
外来使用数量	先発医薬品 (後発の発売が あるもの)	後発医薬品	合計	後発医薬品 使用率 (数量シェア)
	35,892	174,662	210,554	82.95%

(4) 医薬品情報管理業務

日本病院薬剤師会への薬剤師介入事例報告（プレアボイド報告）は、昨年度の164件から216件に約30%増加し高い報告数を維持しています。

平成29年 度月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プレア ボイド 報告 (様式1)						1							1
プレア ボイド 報告 (様式2)	18	32	17	17	19	12	8	14	19	8	12	6	182
プレア ボイド 報告 (様式3)	6	2	4	3	5		1	5	4		1	2	33

様式1：重篤化等回避報告
 様式2：未然回避報告
 様式3：薬物治療効果の向上

(5) 製剤業務

当院では、市販品又は同等の市販品への切替えを推進し、院内製剤品目は必要最小限としています。製剤総量は昨年度と同程度でした。

主な製剤総量(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

薬品名	規格	数量	薬品名	規格	数量
3%亜硝酸ナトリウム注射剤	10mL	2	0.0005%SADBE アセトン	50mL	2
5%フェノール注射液	5mL	0	ZENTEL	30mL	5
8倍イソジン洗眼液	100mL	230	2%グリセリンカリ石鹼洗腸	3000mL	1
6倍PAヨード洗顔液	50mL	182	2.5%酢酸	100mL	38
塩酸エピネフリン 0.03%	50mL	775	2.5%酢酸	500mL	46
滅菌エピネ・キシロ1:1	50mL	53	30%酢酸	8000mL	30
滅菌オリーブ油	20mL	38	3%硝酸銀液	10mL	4
滅菌グリセリン	30mL	11	20%硝酸銀液	20mL	4
脱気水	1000mL	43	精製水	3000mL	52
滅菌ハイアミン 0.025%	100mL	457	精製水	10000mL	9
滅菌ハイアミン 0.01%	100mL	100	生理食塩水	10000mL	118
滅菌ハイアミン 0.01%	500mL	51	1%外用ピオクタニン	500mL	1
滅菌ピオクタニン 2%	10mL	436	皮膚インキ	120mL	0
滅菌テーカイン液 0.3%	50mL	40	ポドフィリンチンキ	50mL	0
滅菌テーカ・エピネ1:1	50mL	57	2%ホルマリンアルコール	500mL	7
リファンピシン液 0.2%	500mL	1	5%内服用ルゴール	500mL	6
1.2%口腔外科用ルゴール	100mL	24	1%内服用ルゴール	100mL	11
0.5%硫酸アトロピン点眼液	5mL	11	1.2%ルゴール液	500mL	12
0.25%硫酸アトロピン点眼液	5mL	6	0.8%ルゴール液	500mL	10
1%塩酸点眼液	5mL	0	5%イオウ軟膏	100g	0
4%キシロカイン点眼液 分注	5mL	116	水性ゲル	450mL	2
20%血清点眼液	5mL	33	5%チンクレスタミンクリーム	100g	4
4倍希釈デスマブレシン点鼻液	4.8mL	0	2%ハイドロキノン	10g	48
ナシピン点鼻液 分注	10mL	31	5%ハイドロキノン	10g	68
プリピナ点鼻液 分注	10mL	7	パッチテスト	5g	0
ローズベungal点眼 1%	50mL	0	0.2%ポリミキシン軟膏	300g	6
γ-BHC ローション	500mL	0	モース氏ペースト	100g	0
2%SADBE アセトン	50mL	10	0.1%レチノイン酸	10g	47
1%SADBE アセトン	50mL	11	0.2%レチノイン酸	10g	41
0.1%SADBE アセトン	50mL	10	チラーゼン S 坐薬	個	70
0.01%SADBE アセトン	50mL	6	プラセボ坐剤	個	0
0.001%SADBE アセトン	50mL	1	10%硫酸亜鉛散	100mg/包	1,170

平成29年度年間製剤総数量

滅菌、無菌を要する製剤		滅菌を要しない製剤	
注 射 剤	0本	内・外用液剤	1,716L
点眼薬・点鼻薬等	204本	軟 膏 剤	5kg
そ の 他	209L	坐 薬	70個
		内 用 散 剤	1,170包

(6) 薬学生実務実習受入状況

平成29年度の受入人数は、慶應義塾大学2名、帝京大学1名、星薬科大学1名、横浜薬科大学2名の計6名でした。

16 放射線診断科・放射線治療科業務状況

平成29年度は、PET-CT装置の導入が決まり、PET-CT装置を設置するため部屋の改築と設置工事が行われ、平成30年4月からの稼働準備が整いました。

また、一般撮影では、長尺撮影の出来るフラットパネル（FPD）が導入され、患者サービスの向上、診療の質向上に貢献することが出来ました。

平成29年度業務の前年度比較では、放射線治療が14%増加し、時間外での照射が多くなり放射線科及び病棟スタッフへの負担が多くなりました。核医学では4%減少しましたが、PET-CTを設置するための工事で検査数を調整した事が影響していると思われます。

今後は、PET-CT検査を含め医療機器共同利用枠を拡大し、患者総合サポートセンターと連携を密にし検査件数増・放射線治療件数増に努めます。

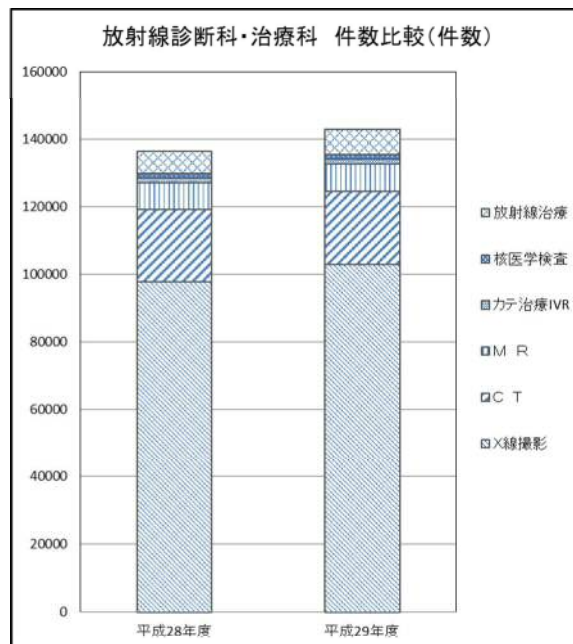
MRI装置・CT装置・放射線治療装置等既存装置の更新時期を迎えています。よりの確な診断を目指し高精度・高性能な医療機器を、また高精細で精密な治療が行える放射線治療装置への更新を行っていきます。

放射線科の年報では、これまで使用していた集計のソフトが使用できなくなり、件数（部位件数）のみの表記としました。これまで人数としていたものは、ほぼ部位件数だったので、人数は表記していません。ただし、放射線治療は、別の集計をしていますのでこれまでと同様の集計方法になっています。以前の年報との比較では、件数が少なくなりますので、注意が必要です。

下表の平成28年度と平成29年度の比較は、同様の集計を行っていますので、前年度比はこの数値で見てください。

放射線診断科・治療科 件数・人数比較表 比較表

部 門	件 数		
	平成28年度	平成29年度	前年度比
X線撮影	97,818	102,862	1.05
C T	21,321	21,670	1.02
M R	8,070	8,226	1.02
カテ治療 I V R	1,253	1,366	1.09
核医学 検 査	1,443	1,387	0.96
放射線 治 療	6,594	7,534	1.14
合 計	136,499	143,045	1.05



(1)撮影部門

検査種別	部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科
一般 単純撮影	頭部・頸部系	単純	41	0	54	2	0	198	3	11
	胸部系	単純	20,530	163	1,567	6,122	1,223	247	1,106	92
	腹部系	単純	2,139	100	261	3,944	11	69	13	0
	椎体系	単純	297	1	24	44	0	45	4,462	0
	胸郭系	単純	154	0	2	16	0	3	2,146	0
	骨盤系	単純	132	1	13	7	0	2	3,413	3
	上肢系	単純	959	3	169	14	0	3	6,224	8
	下肢系	単純	1,085	4	21	36	0	9	5,418	13
	歯科	単純	0	0	1	0	0	1	1	1
その他	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般単純撮影合計			25,337	272	2,112	10,185	1,234	577	22,786	128
ポータブル	頭・頸部系(P)	単純	3	0	0	0	0	3	0	0
	胸部系(P)	単純	6,260	78	638	1,520	210	233	56	3
	腹部系(P)	単純	1,113	31	12	974	32	26	13	0
	椎体系(P)	単純	4	0	0	1	0	2	38	0
	胸郭系(P)	単純	2	1	10	0	0	0	16	0
	骨盤系(P)	単純	19	2	1	3	1	0	35	0
	上肢系(P)	単純	8	0	12	2	0	2	20	0
	下肢系(P)	単純	20	1	1	3	0	0	98	0
その他(P)	単純	0	0	0	0	0	0	2	0	
ポータブル合計			7,429	113	674	2,503	243	266	278	3
手術室 ポータブル	頭部・頸部系(O)	単純	0	0	0	0	0	3	1	1
	胸部系(O)	単純	6	0	0	224	47	9	7	1
	腹部系(O)	単純	3	0	1	387	2	1	1	1
	椎体系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	337	0
	軀幹系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	321	0
	上肢系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	296	0
	下肢系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	397	0
手術室ポータブル合計			9	0	1	611	49	13	1,360	3
乳房撮影			0	0	0	813	0	0	0	0
一般造影	婦人科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	外科系	造影	0	0	0	15	0	0	0	0
	耳鼻科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
一般造影合計			0	0	0	15	0	0	0	0
透視検査	上部消化管	造影	22	0	1	97	0	0	0	0
	下部消化管	造影	14	0	1	54	0	0	0	0
	消化管その他	造影	66	0	1	147	0	0	0	0
	肝・胆道・膵臓	造影	30	0	0	25	0	0	0	0
	腎臓	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿管	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	膀胱、尿道、その他	造影	0	0	0	1	0	0	1	0
	婦人科	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	脊椎、椎体	造影	0	0	0	0	0	0	273	0
	整形系その他	造影	0	0	0	0	0	0	9	0
	小児科	造影	0	0	34	0	0	0	0	0
その他	造影	35	0	0	32	0	0	0	0	
透視検査合計			167	0	37	356	0	0	283	0
透視下 内視鏡	呼吸器系	単純	191	0	0	26	0	0	0	0
	上部消化管系	単純	8	0	0	1	0	0	0	0
	下部消化管系	単純	2	0	0	1	0	0	0	0
	肝臓・胆嚢・膵臓系	造影	206	0	0	63	0	0	0	0
透視下内視鏡合計			407	0	0	91	0	0	0	0
骨塩定量			158	1	18	136	0	5	364	0
結石破砕			0	0	0	0	0	0	0	0
救急室 単純撮影	頭部・頸部系(ER)	単純	24	0	16	0	0	4	3	1
	胸部系(ER)	単純	1,950	2	613	121	0	7	65	0
	腹部系(ER)	単純	660	0	171	103	0	1	4	0
	椎体系(ER)	単純	24	0	0	7	0	0	101	2
	胸郭系(ER)	単純	14	0	0	2	0	1	118	0
	骨盤系(ER)	単純	14	0	0	7	0	0	64	1
	上肢系(ER)	単純	12	0	1	0	0	0	437	7
下肢系(ER)	単純	25	0	10	2	0	2	329	7	
救急室単純撮影合計			2,723	2	811	242	0	15	1,121	18
撮影部門 合計			36,230	388	3,653	14,952	1,526	876	26,192	152

皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
3	0	0	0	91	0	1,891	0	0	0	0	2,294
203	890	994	17	499	11	155	1	186	1	1,316	35,323
2	1,628	51	0	18	1	0	0	18	0	0	8,255
0	1	1	0	22	555	0	0	8	0	0	5,460
1	3	0	0	0	0	0	0	16	0	0	2,341
3	4	41	0	0	0	0	0	14	0	0	3,633
13	1	0	0	0	0	0	0	23	0	0	7,417
24	4	0	0	0	0	0	0	22	0	0	6,636
0	0	0	0	4	0	564	0	0	0	0	572
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
249	2,531	1,087	17	634	567	2,610	1	287	1	1,316	71,931
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7
61	89	130	5	98	6	6	0	908	47	0	10,348
2	75	3	1	43	0	0	0	86	0	0	2,411
0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	50
0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	31
0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	74
0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	54
2	0	0	0	1	0	0	0	17	0	0	143
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
65	164	133	6	143	6	7	0	1,040	47	0	13,120
0	0	0	0	12	0	10	0	1	0	0	28
2	3	3	0	18	0	1	0	3	1	0	325
0	182	402	0	1	0	0	0	4	1	0	986
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	337
0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	325
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	296
0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	403
2	185	405	0	31	0	11	0	18	2	0	2,700
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	417	1,230
0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	17
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	1	17	0	0	0	0	0	0	0	0	33
0	0	0	0	2	0	0	448	0	0	70	640
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69
0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	216
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55
0	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
0	118	0	0	0	0	0	0	1	0	0	121
0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	29
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	273
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67
0	179	29	0	2	0	0	448	4	0	70	1,575
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	217
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	270
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	499
3	0	58	0	0	194	0	0	0	0	21	958
0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
0	0	0	0	4	0	0	0	18	0	0	70
3	5	11	1	39	2	1	0	3,381	1	0	6,202
0	23	2	0	0	0	0	0	359	0	0	1,323
0	1	0	0	0	0	0	0	203	1	0	339
0	0	0	0	0	0	0	0	218	0	0	353
0	0	0	0	0	0	0	0	458	0	0	544
0	0	0	0	0	0	0	0	459	1	0	917
1	0	0	2	0	0	0	0	654	0	0	1,032
4	29	13	3	43	2	1	0	5,750	3	0	10,780
323	3,125	1,742	26	853	769	2,629	449	7,100	53	1,824	102,862

(2)CT部門

部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科
頭部系CT	単純	1,017	98	35	28	5	1,301	15	32	10
	造影	5	0	4	1	0	2	0	0	1
	単純+造影	7	0	0	11	0	1	0	3	4
頸部系CT	単純	11	0	0	0	0	0	1	4	0
	造影	12	0	3	3	0	0	1	0	1
	単純+造影	7	0	0	0	0	0	0	0	1
胸部系CT	単純	1,928	1	6	682	56	6	26	5	21
	造影	1,096	1	9	1,178	56	9	5	1	11
	単純+造影	416	0	1	931	8	4	1	1	2
腹部系CT	単純	196	0	1	174	1	3	2	1	0
	造影	111	0	14	80	0	1	3	0	1
	単純+造影	697	1	1	125	0	0	0	0	0
骨盤系CT	単純	3	1	1	9	0	0	115	1	1
	造影	1	0	0	2	0	0	0	0	0
	単純+造影	2	0	0	2	0	0	0	2	0
四肢系CT	単純	5	0	0	2	0	0	514	13	4
	造影	3	0	0	0	0	0	4	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脊椎系CT	単純	6	0	0	2	0	0	354	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	1
血管系CT	単純	1	0	0	4	0	0	0	0	0
	造影	100	1	0	276	41	9	10	1	3
	単純+造影	180	0	0	33	4	127	3	0	0
その他のCT	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	単純	3,167	100	43	901	62	1,310	1,027	56	36
	造影	1,328	2	30	1,540	97	21	25	2	17
	単純+造影	1,309	1	2	1,102	12	132	4	6	8
合計		5,804	103	75	3,543	171	1,463	1,056	64	61

救急室CT

部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科
頭部系	単純	551	4	144	11	0	53	4	12	2
	造影	2	0	3	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	2	0	0	0	0	0	0	0	0
頸部系	単純	4	0	0	0	0	0	2	0	0
	造影	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	単純+造影	12	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部系	単純	243	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	4	0	0	1	0	0	0	0	0
	単純+造影	17	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部系	単純	188	0	1	9	0	0	2	0	1
	造影	57	0	14	5	0	0	1	0	0
	単純+造影	365	0	8	44	0	0	1	0	0
脊椎系	単純	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	造影	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四肢系	単純	5	0	0	0	0	0	51	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血管系	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	26	0	0	8	0	1	1	0	0
	単純+造影	20	0	0	0	0	0	0	0	0
全身系	単純	94	0	0	5	0	0	1	0	0
	造影	22	0	0	2	0	0	0	0	0
	単純+造影	66	0	0	9	0	0	0	1	0
小計	単純	1,086	4	145	25	0	53	61	12	3
	造影	113	0	18	17	0	1	3	0	0
	単純+造影	482	0	8	53	0	0	1	1	0
合計		1,681	4	171	95	0	54	65	13	3

CT+救急室CT	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科
合計	7,485	107	246	3,638	171	1,517	1,121	77	64

(3)MRI部門

部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科
頭部系	単純	1,493	90	268	12	25	469	7	0	7
	造影	446	0	3	43	0	515	0	0	1
顔面・頸部系	単純	9	0	1	0	0	0	2	5	6
	造影	1	0	1	1	0	0	0	2	0
胸部系	単純	7	0	1	67	1	0	1	6	3
	造影	8	0	0	361	0	0	0	3	1
腹部系	単純	408	0	10	91	0	0	0	1	0
	造影	87	0	2	55	0	0	0	0	0
骨盤系	単純	11	0	3	9	0	0	5	3	8
	造影	1	0	3	5	0	0	3	2	0
上肢系	単純	7	0	3	2	0	0	370	3	4
	造影	1	0	1	0	0	0	3	0	3
下肢系	単純	18	0	9	1	0	0	361	4	12
	造影	0	0	0	1	0	0	5	0	1
脊椎系	単純	308	0	7	16	0	17	1,054	1	4
	造影	19	0	6	0	0	10	21	0	0
血管系	単純	5	0	0	38	0	9	2	0	0
	造影	5	0	0	1	0	1	0	1	0
小計	単純	2,266	90	302	236	26	495	1,802	23	44
	造影	568	0	16	467	0	526	32	8	6
合計		2,834	90	318	703	26	1,021	1,834	31	50

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
6	1	11	223	7	951	0	90	1	0	3,831
0	0	0	11	0	5	0	0	0	0	29
1	0	0	5	0	21	0	0	0	0	53
0	0	0	25	0	6	0	0	0	0	47
0	0	0	64	0	28	0	0	0	0	112
0	0	0	37	0	13	0	0	0	0	58
217	28	0	50	66	12	0	21	0	1	3,126
374	250	0	197	4	5	0	9	0	0	3,205
131	24	0	51	21	1	1	10	0	0	1,603
160	5	0	0	8	0	0	2	0	0	553
33	12	0	0	1	0	0	4	0	0	260
129	2	0	0	4	0	0	11	0	0	970
0	7	0	0	1	0	0	1	0	0	140
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
1	0	0	0	3	0	0	2	0	0	544
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	362
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
1	10	0	1	0	1	0	3	0	0	457
0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	350
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
384	41	11	298	85	969	0	116	1	1	8,608
408	272	0	273	5	39	0	16	0	0	4,075
261	27	0	93	25	35	1	24	0	0	3,042
1,053	340	11	664	115	1,043	1	156	1	1	15,725

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
2	2	5	18	2	2	0	2,050	2	0	2,864
0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	8
0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	6
0	0	0	4	0	1	0	15	0	0	26
0	0	0	6	0	0	0	5	0	0	14
0	0	0	4	0	0	0	5	0	0	21
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	243
0	0	0	1	0	0	0	9	0	0	15
0	0	0	1	0	0	0	12	0	0	30
8	1	0	0	0	0	0	201	0	0	411
0	1	0	0	0	0	0	31	0	0	109
1	6	0	0	0	0	0	210	0	0	635
0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	26
0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	26
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	109	0	0	165
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	2	0	0	0	0	0	54	0	0	92
0	0	0	0	0	0	0	53	0	0	73
0	1	0	1	0	0	0	650	0	0	752
0	0	0	1	0	0	0	174	0	0	199
1	0	0	0	0	0	0	153	0	0	230
10	4	5	23	2	3	0	3,049	2	0	4,487
0	3	0	9	0	0	0	299	0	0	463
2	6	0	5	0	1	0	436	0	0	995
12	13	5	37	2	4	0	3,784	2	0	5,945

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
1,065	353	16	701	117	1,047	1	3,940	3	1	21,670

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
1	0	16	126	25	0	0	72	0	0	2,611
1	0	0	9	0	0	0	1	0	0	1,019
0	0	5	47	0	13	0	0	0	0	88
0	0	2	42	2	28	0	0	0	0	79
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	87
0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	387
12	2	0	2	3	0	0	0	0	0	529
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	154
131	446	0	0	34	0	0	0	0	0	650
30	76	0	0	2	0	0	3	0	0	125
0	0	0	0	27	0	0	1	0	0	417
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
0	0	0	0	21	0	0	6	0	0	432
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
3	1	0	3	68	0	0	33	0	0	1,515
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
147	449	21	178	179	13	0	112	0	0	6,383
41	76	2	51	18	28	0	4	0	0	1,843
188	525	23	229	197	41	0	116	0	0	8,226

(4)核医学部門

部位分類	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科	泌尿器科
脳	206	17	3	0	0	33	0	0	0	0
唾液腺	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲状腺	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0
副甲状腺	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0
肝・胆道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器	115	2	0	3	0	0	0	0	0	0
血流動態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎	0	0	15	0	0	0	0	0	0	6
副腎	10	0	1	0	0	0	0	0	0	4
消化管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨	403	0	0	227	0	4	2	0	1	142
腫瘍	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0
骨髄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リンパ	0	0	0	71	0	0	0	0	0	0
RI内用療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46
核医学合計	764	19	19	303	0	37	2	0	2	198

(5)カテーテル治療・IVR

		内科	外科	心外科	脳外科	放射線科	その他	合計
心臓系	心カテ	440	0	0	0	0	10	450
	PCI	228	0	0	0	0	23	251
	ペースメーカー	9	0	43	0	0	0	52
	その他	15	0	0	0	0	0	15
	心臓系小計	692	0	43	0	0	33	768
頭頸部・一般血管	頭頸部血管診断	1	0	0	71	0	4	76
	頭頸部血管IVR	1	0	0	38	0	1	40
	頭頸部血管小計	2	0	0	109	0	5	116
	胸腹部診断	14	6	3	0	3	0	26
	四肢・血管系診断	2	16	1	0	0	0	19
	一般血管診断小計	16	22	4	0	3	0	45
	胸腹部IVR	56	40	20	0	35	26	177
	四肢・血管系IVR	3	186	0	1	3	1	194
	一般血管IVR小計	59	226	20	1	38	27	371
	血管以外の検査・治療	12	14	0	0	13	0	39
その他	1	9	0	16	0	0	26	
カテーテル治療・IVR室 合計	782	271	67	126	54	65	1,365	

(6)画像データ・フィルム画像の入出力件数

	入出力デバイス名	平成28年度	平成29年度	前年度比
		件数	件数	
入 力	フィルム	252	220	0.87
	CD(医事課)	4,308	4,494	1.04
	入力合計	4,560	4,714	1.03
出 力	フィルム	366	375	1.02
	CD-R	2,472	2,677	1.08
	DVD	417	578	1.39
	出力合計	3,255	3,630	1.12
	総合計	7,815	8,344	1.07

(8)CT 画像処理件数

	平成28年度	平成29年度	前年度比
3D画像	1,228	1,446	1.18
心臓解析	173	162	0.94
デンタル解析	407	448	1.10
合計	1,808	2,056	1.14

産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
0	0	18	0	0	0	0	0	0	277
0	0	0	0	0	4	0	0	0	6
0	0	1	0	0	0	0	0	0	7
0	0	2	0	0	0	0	0	0	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	120
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	21
0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	12	1	4	0	0	0	797
0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	71
0	0	0	0	0	0	0	0	0	46
1	0	21	12	1	8	0	0	0	1,387

(8) 放射線治療部門

リンアック部位件数

部位	件数
脳	357
眼窩	33
副鼻腔	30
口腔・舌	85
頸部	940
その他	55
肺	733
食道	352
乳房	1,544
鎖骨部	365
腋窩・胸壁	325
その他	29
縦隔	167
腹部	131
その他	8
全骨盤	219
小骨盤	1,569
鼠径・臀・外陰	17
その他	48
上肢(軟部)	20
下肢(軟部)	0
その他	0
頭部骨	0
胸部骨	56
腹部・骨盤部	47
脊椎	260
上肢骨	0
下肢骨	52
その他	0
上肢関節	0
下肢関節	0
全身	0
リンパ節	80
その他	12
合計	7,534

治療計画CT件数

		外来	入院	合計
頭部	単純	20	67	87
	造影	1	3	4
	単+造	0	1	1
頭部集計		1	4	5
頸部	単純	26	10	36
	造影	5	2	7
	単+造	2	1	3
頸部集計		7	3	10
肺・縦隔	単純	66	28	94
	造影	3	2	5
肺・縦隔集計		69	30	99
乳房	単純	59	1	60
乳房集計		59	1	60
上腹部	単純	3	1	4
	単+造	0	0	0
上腹部集計		3	1	4
下腹部	単純	0	1	1
	造影	1	0	1
下腹部集計		1	0	1
骨盤腔	単純	59	9	68
骨盤集計		59	9	68
股関節	単純	1	0	1
股関節集計		1	0	1
頸椎	単純	2	1	3
頸椎集計		2	1	3
胸椎	単純	0	6	6
胸椎集計		0	6	6
腰椎	単純	0	8	8
腰椎集計		0	8	8
上肢	単純	1	1	2
上肢集計		1	1	2
下肢	単純	1	3	4
下肢集計		1	3	4
その他	単純	0	4	4
その他集計		0	4	4
小計	単純	238	140	378
	造影	10	7	17
	単+造	2	2	4
合計		250	149	399

リンアック特殊放射線治療件数

区分	件数
強度変調放射線治療(IMRT)	667
前立腺	1,283
画像誘導放射線治療(IGRT)	2,004
脳定位放射線治療	217
肺定位放射線治療	80
合計	4,251

放射線治療管理料件数

区分	件数
1門照射・対向2門照射	59
非対向2門・3門照射	73
4門照射以上	148
強度変調放射線治療(IMRT)	59
放射線治療専任加算	277
合計	616

(9) 使用造影剤

造影剤	規格	平成28年度	平成29年度	前年度比
ガストログラフィン	100ml	268	363	1.35
バリテスターA240散	350g	60	180	3.00
ホーデル	250ml	365	440	1.21
EOB・プリモビスト注シリンジ	10ml	90	105	1.17
イオパミロン注300	50ml	105	120	1.14
	100ml	115	0	0.00
イオパミロン注300シリンジ	50ml	90	75	0.83
	100ml	1,880	1,815	0.97
イオパミロン注370	20ml	265	315	1.19
	50ml	30	40	1.33
	100ml	522	0	-
イオパミロン注370シリンジ	100ml	410	405	0.99
イオメロン300注	50ml	295	320	1.08
	100ml	195	205	1.05
オイパロミン300注シリンジ	100ml	2,760	2,575	0.93
オイパロミン370注シリンジ	100ml	0	200	-
オムニパーク140注	50ml	55	45	0.82
オムニパーク300注	10ml	135	220	1.63
オムニパーク300注シリンジ	80ml	865	850	0.98
	100ml	2,575	2,565	1.00
	150ml	150	135	0.90
ウログラフィン注	20ml	695	705	1.01
バイステージ注370	50ml	50	60	1.20
	100ml	480	495	1.03
マグネビストシリンジ	15ml	635	0	0.00
マグネスコープ静注33%シリンジ	15ml	0	750	-
リピオドール480注	10ml	80	100	1.25
ネオダルムゾル	400ml	48	24	0.50
オムニスキャンシリンジ	10ml	130	0	0.00

(10) 放射性医薬品

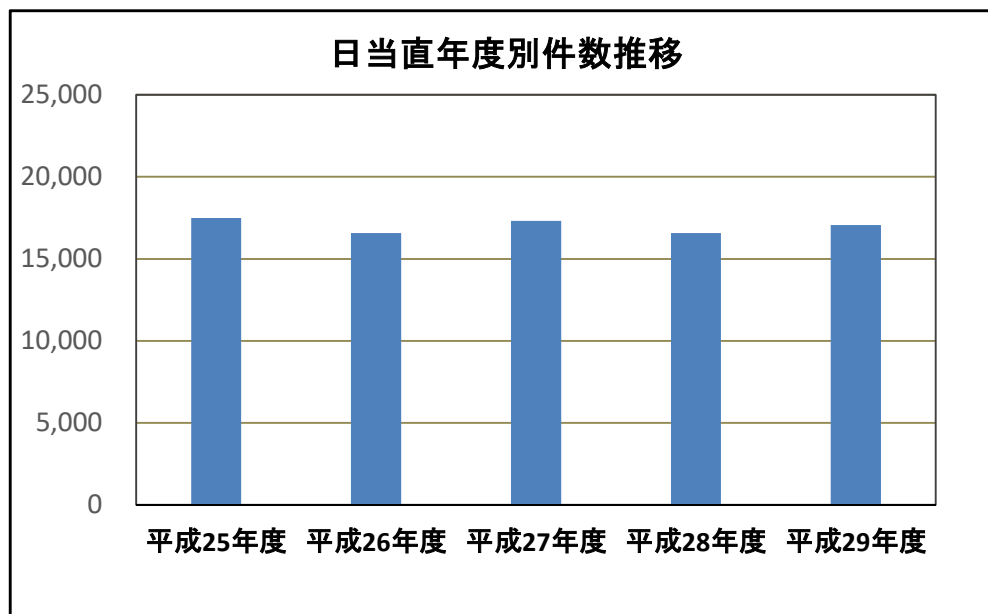
	平成28年度	平成29年度	前年度比
	入荷量(MBq)	入荷量(MBq)	
99mTc-pertechetate	33,670	31,080	92
99mTc-HSA-D	740	0	0
99mTc-ECD	52,600	58,800	112
99mTc-MAG3	1,776	1,554	88
99mTc-MDP	635,290	589,780	93
99mTc-MIBI	1,110	3,330	300
99mTc-tetrofosmin	92,500	69,412	75
201TlCl	1,628	1,480	91
67Ga-citrate	3,737	1,332	36
123I-MIBG	8,991	6,882	77
123I-BMIPP	444	555	125
123I-capsule	33	0	0
111In-DTPA	259	777	300
123I-ioflupane	23,714	25,384	107
223Ra-xofigo		259	

(11) 日当直状況
ア 月別日当直件数

平成29年度	平成29年度(件)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比
	当直	土日祝日勤	合計(件)	合計(件)	合計(件)	合計(件)	合計(件)	
4月	787	503	1,434	1,401	1,308	1,463	1,290	0.88
5月	959	665	1,584	1,492	1,991	1,463	1,624	1.11
6月	954	301	1,496	1,347	1,159	1,415	1,255	0.89
7月	1,040	562	1,435	1,335	1,286	1,427	1,602	1.12
8月	962	445	1,430	1,249	1,323	1,326	1,407	1.06
9月	911	538	1,421	1,405	1,547	1,284	1,449	1.13
10月	891	493	1,302	1,410	1,276	1,288	1,384	1.07
11月	845	514	1,438	1,307	1,472	1,437	1,359	0.95
12月	936	616	1,616	1,587	1,469	1,580	1,552	0.98
1月	1,010	705	1,669	1,629	1,465	1,554	1,715	1.10
2月	748	451	1,319	1,218	1,540	1,167	1,199	1.03
3月	791	429	1,347	1,136	1,475	1,177	1,220	1.04
合計	10,834	6,222	17,491	16,516	17,311	16,581	17,056	1.03
月平均	902.8	518.5	1,457.6	1,376.3	1,442.6	1,381.8	1,421.3	1.03
一日平均	29.7	51.4						

イ 日当直業務内容別件数

業務項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比
	合計件数	合計件数	合計件数	合計件数	合計件数	
1) 単純撮影	9,108	8,282	8,120	8,250	8,334	1.01
2) 回診撮影	3,299	3,337	3,763	2,957	3,286	1.11
3) 透視撮影	138	84	153	164	131	0.80
4) カテーテル治療・IVR	154	154	196	188	200	1.06
5) CT検査	4,785	4,705	5,053	4,935	5,050	1.02
5) MR検査		4	26	87	55	0.63
	17,484	16,566	17,311	16,581	17,056	1.03

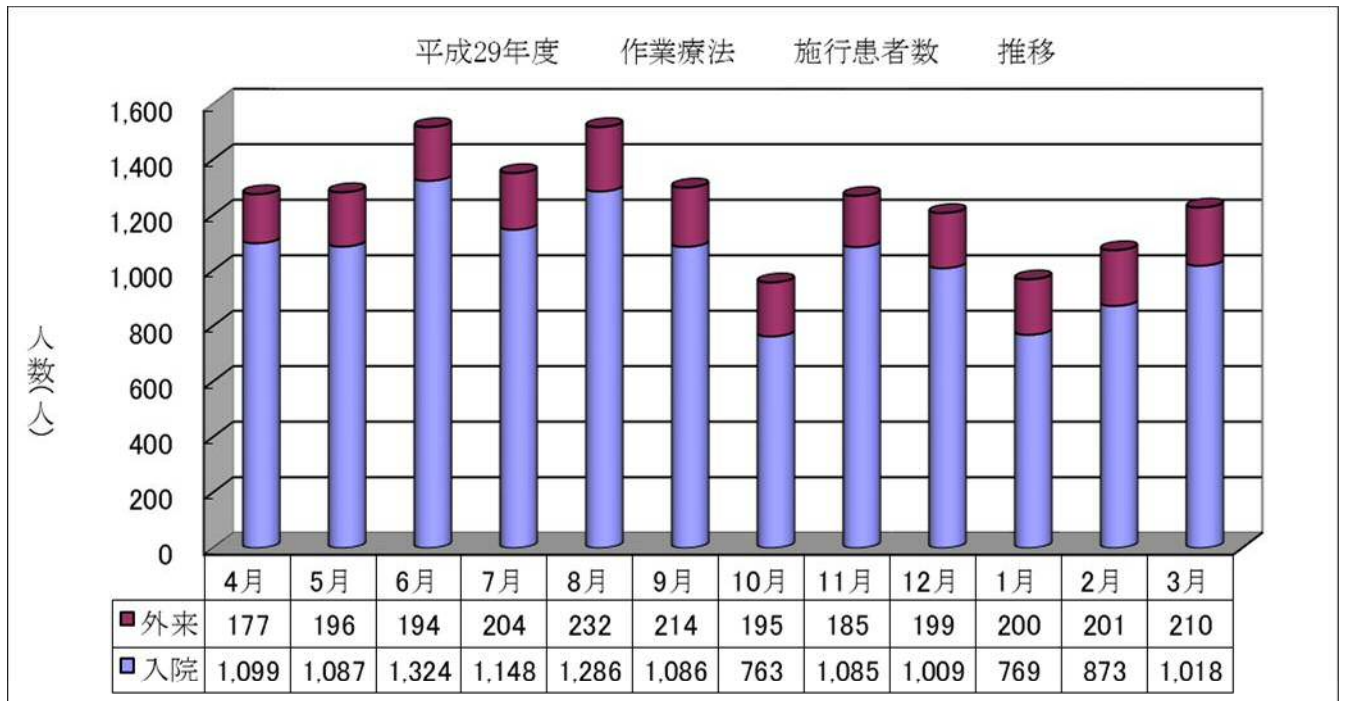


17 リハビリテーション科業務状況

(1) 平成29年度業務実績

平成29年度リハビリテーション科業務実績		
	項目	人数(人)
1	理学療法合計	32,109
2	作業療法合計	14,954
3	言語聴覚療法合計	5,837
4	年間筋電図実施人数	117
5	年間嚙下造影実施人数	447
6	年間嚙下内視鏡実施人数	55
7	総合計	52,900

日付	平成29年4月			平成29年5月			平成29年6月			平成29年7月			平成29年8月			平成29年9月			平成29年10月		
月実施日数	20			20			22			20			22			20			21		
項目	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
理学療法合計	2,256	19	2,275	2,437	20	2,457	2,701	22	2,723	2,505	23	2,528	2,695	25	2,720	2,669	35	2,704	2,668	41	2,709
作業療法合計	1,099	177	1,276	1,087	196	1,283	1,324	194	1,518	1,148	204	1,352	1,286	232	1,518	1,086	214	1,300	763	195	958
言語聴覚療法合計	288	17	305	407	23	430	407	20	427	405	12	417	574	17	591	507	15	522	501	10	511
年間筋電図実施人数																					
年間嚙下造影実施人数																					
年間嚙下内視鏡実施人数																					
総合計	3,643	213	3,856	3,931	239	4,170	4,432	236	4,668	4,058	239	4,297	4,555	274	4,829	4,262	264	4,526	3,932	246	4,178
総合実施計画書(初期)			355			385			411			604			385			355			364
日付	平成29年11月			平成29年12月			平成30年1月			平成30年2月			平成30年3月			年間合計			月平均		
月実施日数	20			21			19			19			21			245			20.41666667		
項目	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計	入院	外来	合計
理学療法合計	2,673	34	2,707	2,681	16	2,697	2,437	17	2,454	2,977	26	3,003	3,104	28	3,132	31,803	306	32,109	2,650	26	2,676
作業療法合計	1,085	185	1,270	1,009	199	1,208	769	200	969	873	201	1,074	1,018	210	1,228	12,547	2,407	14,954	1,046	201	1,246
言語聴覚療法合計	517	12	529	503	11	514	471	20	491	552	15	567	523	10	533	5,655	182	5,837	471	15	486
年間筋電図実施人数																		117			
年間嚙下造影実施人数																		447			
年間嚙下内視鏡実施人数																		55			
総合計	4,275	231	4,506	4,193	226	4,419	3,677	237	3,914	4,402	242	4,644	4,645	248	4,893	50,005	2,895	52,900	4,167	241	4,408
総合実施計画書(初期)			377			375			374			416			419			4,820			402





(2) 平成29年度実習状況

学校名	人数	期間
北里大学医療衛生学部 理学療法学科	1名	平成29年6月5日～7月28日
北里大学医療衛生学部 作業療法学科	1名	平成29年11月13日～12月1日
埼玉医科大学保健医療学部 理学療法学科	1名	平成29年10月23日～11月10日

18 検査科業務状況

病理医の杉浦検査科部長の下、臨床検査技師23名、非常勤職員1名、臨時的任用職員15名、プランチ・ラボ（SRLに業務委託）で業務を行いました。

平成29年6月から採血室の開室時間を15分早め8時15分より採血業務を開始し待ち時間の解消に努めました。また、平成29年10月より新生児の聴覚スクリーニング検査を開始、難聴疑い児の早期対応が可能となりました。その他、感染対策チーム、栄養サポートチーム、糖尿病療養指導、DMAT等のチーム医療への参加など、検査の質と患者サービスの向上に努めています。

各種認定資格取得状況

日本超音波医学会認定超音波技師：循環器3名、消化器2名、体表臓器2名

日本リウマチ学会登録ソノグラファー：2名、血管診療技師認定機構認定 血管診療技師：1名

日本糖尿病療養指導士：2名、日本臨床細胞学会認定細胞検査士：4名（国際細胞検査士3名）

日本臨床衛生検査技師会病理検査技師1名、日本輸血・細胞治療学会認定輸血検査技師：2名

(1) 生理検査

項 目	平成28年度			平成29年度		
	外 来	入 院	総件数	外 来	入 院	総件数
心 電 図	15,373	3,403	18,776	16,095	3,145	19,240
C V R R	63	45	108	56	22	78
心 室 遅 延 電 位	2	3	5	3	5	8
運 動 負 荷	153	6	159	214	7	221
起 立 負 荷	33	6	39	56	13	69
ホ ル タ ー	324	18	342	356	12	368
ト レ ッ ド ミ ル	113	4	117	126	8	134
負 荷 心 肺 機 能 検 査	1	6	7	4	30	34
A B I	1,168	209	1,377	1,079	157	1,236
S P P	21	16	37	19	17	36
T B I	31	1	32	24	2	26
一 般 肺 機 能 (S V C)	1,573	361	1,934	1,591	329	1,920
一 般 肺 機 能 (F V C)	1,573	361	1,934	1,591	329	1,920
機 能 的 残 気 量	80	19	99	97	22	119
肺 拡 散 能 力	80	19	99	96	19	115
C ・ ボ リ ュ ム	76	19	95	80	17	97
薬 剤 吸 入 試 験	5	4	9	3	6	9
筋 電 図	450	23	473	307	36	343
神 経 伝 導 検 査	1,849	279	2,128	1,919	525	2,444
脳 波	701	281	982	681	375	1,056
脳 波 (眠 剤 使 用)	8	120	128	8	112	120
A B R	20	18	38	34	17	51
V E P						
S E P						
V E M P						
新生児聴覚スクリーニング				5	326	331
心 エ コ ー	1,678	715	2,393	1,836	875	2,711
経 食 道 心 エ コ ー	0	5	5	7	17	24
腹 部 エ コ ー	3,211	784	3,995	3,356	732	4,088
体 表 エ コ ー	2,663	160	2,823	2,604	183	2,787
血 管 エ コ ー	485	415	900	521	459	980
エ コ ー 下 生 検 ・ 穿 刺	167	39	206	211	37	248
モ ニ タ リ ン グ	0	35	35	0	19	19
合 計	31,901	7,374	39,275	32,979	7,853	40,832

平成29年10月より新生児聴覚スクリーニングを始めました。

(2) 病理検査部門

ア 病理・細胞診検査

項 目	平 成 28 年 度			平 成 29 年 度		
	外来件数	入院件数	総件数	外来件数	入院件数	総件数
病 理 組 織 検 査	2,977	4,554	7,531	2,892	4,816	7,708
病 理 術 中 迅 速 検 査	4	258	262	2	257	259
免 疫 染 色	374	736	1,110	425	885	1,310
特 殊 染 色	102	368	470	100	680	780
電 子 顕 微 鏡 検 査	0	5	5	1	37	38
細 胞 診 検 査	8,297	1,522	9,819	7,393	1,582	8,975
細 胞 診 術 中 迅 速 検 査	0	23	23	0	27	27
病 理 解 剖	0	20	20	0	26	26
合 計	11,754	7,486	19,240	10,813	8,310	19,123

※平成29年度から「免疫染色」「特殊染色」の件数に細胞診件数を追加しています。

イ 剖検状況

科別剖検状況	平 成 28 年 度				平 成 29 年 度			
	実入院	死亡数	剖検数	剖検率	実入院	死亡数	剖検数	剖検率
内 科	4,736	283	18	6.36	5,300	274	24	8.76
神 経 科								
小 児 科	1,634	2			1,651	1		
外 科	1,598	49			1,638	62	2	3.23
脳 神 経 外 科	193	8	1	12.50	234	8		
整 形 外 科	1,044	3	1	33.33	1,126	0		
形 成 外 科	86	0			91	0		
心 臓 血 管 外 科	121	3			95	1		
皮 膚 科	167	2			175	2		
泌 尿 器 科	741	12			804	4		
産科・婦人科（死産児）	2,076	3			1,972	3		
眼 科	272	0			188	0		
耳 鼻 咽 喉 科	326	5			432	4		
リハビリテーション科	0	0			0	0		
放 射 線 科	6	0			5	0		
歯 科 口 腔 外 科	102	0			118	0		
救 命 救 急 セ ン タ ー	846	289			958	283		
感 染 内 科	0	0			0	0		
感 染 小 児 科	0	0			0	0		
精 神 科	253	0			215	0		
計	14,201	659	20	3.03	15,002	642	26	4.05

ウ 臨床支援業務

項 目	平 成 28 年 度			平 成 29 年 度		
	外来件数	入院件数	外来件数	外来件数	入院件数	総件数
産科エコー（胎児計測）	2,754		2,754	2,589		2,589

(3) 細菌検査

項目		平成 28 年 度			平成 29 年 度		
		外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
塗 抹 鏡 検		3,629	3,747	7,376	3,666	3,808	7,474
培 養 同 定	口 腔 ・ 呼 吸 器	2,190	1,946	4,136	2,264	2,024	4,288
	消 化 器	491	1,034	1,525	413	1,008	1,421
	泌 尿 器 ・ 生 殖 器	2,539	967	3,506	2,516	1,027	3,543
	血 液 ・ 穿 刺 液	4,227	3,594	7,821	4,720	3,925	8,645
	そ の 他	567	675	1,242	454	674	1,128
嫌 気 性 培 養		5,519	4,933	10,452	5,963	5,356	11,319
薬 剂 感 受 性	1 菌 種	2,225	1,311	3,536	2,081	1,397	3,478
	2 菌 種	553	381	934	565	397	962
	3 菌 種 以 上	183	126	309	173	131	304
大 腸 菌 抗 原		309	260	569	272	263	535
大 腸 菌 ベ ロ ト キ シ ン		3	0	3	2	1	3
肺 炎 球 菌 抗 原		1	0	1	0	1	1
ヘ モ フ ィ ル ス 抗 原		1	0	1	0	1	1
カ ン ジ ダ		0	0	0	0	0	0
ト リ コ モ ナ ス		0	0	0	2	0	2
ク ラ ミ ジ ア		0	0	0	0	0	0
抗 酸 菌 塗 抹 至 急		68	307	375	-	-	-
L A M P 法		9	18	27	93	140	233
合 計		22,514	19,299	41,813	23,184	20,153	43,337

平成29年2月から抗酸菌塗抹至急の代わりにLAMP法による遺伝子検査を開始しました。

(4) 血液センター

ア 検査件数

	平成 28 年 度			平成 29 年 度		
	外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
血液型ABO式及びRh式	6,450	1,522	7,972	7,289	772	8,061
抗体スクリーニング検査 含む抗Dia抗体検査	5,024	1,225	6,249	5,553	584	6,137
ABO式亜型の同定	0	0	0	3	0	3
その他の血液検査	0	2	2	1	1	2
抗体価	24	19	43	14	12	26
交差試験	938	2,378	3,316	663	2,255	2,918
直接クームス	31	241	272	32	258	290
間接クームス	33	34	67	48	40	88
出血時間	7	7	14	7	0	7
合 計	12,507	5,428	17,935	13,610	3,922	17,532

イ 血液使用数量

製 剤		単位	平成 28 年 度			平成 29 年 度			
			外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計	
自 己 血		1	0	1	1	0	0	0	
		2	0	91	91	0	80	80	
成 分 製 剤	赤血球製剤	RBC-LR	1	0	0	0	0	4	4
		2	698	1,375	2,073	471	1,334	1,805	
		日赤照射 RBC-LR	1	2	4	6	0	4	4
		2	19	63	82	4	30	34	
		合 計	1	2	4	6	0	8	8
		2	717	1,438	2,155	475	1,364	1,839	
	新鮮凍結血漿	FFP-LR	120ml	0	2	2	0	1	1
		240ml	201	594	795	162	514	676	
		480ml	0	41	41	0	44	44	
	濃 厚 血 小 板	PC-LR	1	0	0	0	0	0	0
5			0	0	0	0	0	0	
10			13	31	44	11	47	58	
15			0	1	1	0	1	1	
20			0	4	4	1	14	15	
日赤照射 PC-LR		1	0	0	0	0	0	0	
		5	0	3	3	1	8	9	
		10	18	114	132	19	122	141	
		15	1	14	15	0	3	3	
		20	3	36	39	3	24	27	
PC-HLA-LR		10	0	14	14	0	0	0	
		15	0	1	1	0	0	0	
		20	0	3	3	0	0	0	

ウ 自己血貯血

	単位	平成 28 年 度			平成 29 年 度		
		外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
液 状 保 存	1	2	0	2	1	0	1
	2	214	4	218	176	2	178
合 計		216	4	220	177	2	179

*単位 1 は200ml、単位 2 は400ml

(5) 院内委託検査

検査項目	平成 28 年 度			平成 29 年 度		
	外 来	入 院	総件数	外 来	入 院	総件数
(尿検査)						
尿定性	48,369	12,331	60,700	47,756	11,613	59,369
尿沈渣	24,979	8,397	33,376	26,267	7,836	34,103
尿定量検査	8,777	16,840	25,617	11,070	21,221	32,291
髄液検査	1,059	1,623	2,682	951	1,821	2,772
穿刺液検査	276	668	944	253	689	942
その他	2,663	4	2,667	2,523	6	2,529
小計	86,123	39,863	125,986	88,820	43,186	132,006
(血液検査)						
血算	77,360	47,737	125,097	78,412	48,960	127,372
血液像	52,386	33,798	86,184	56,357	35,644	92,001
網状赤血球	7,655	8,905	16,560	8,183	8,021	16,204
凝固関連検査	62,744	50,123	112,867	61,332	44,711	106,043
血液ガス	1,730	2,125	3,855	1,963	2,094	4,057
赤沈	7,420	1,149	8,569	7,715	1,234	8,949
その他	6	5	11	14	5	19
小計	209,301	143,842	353,143	213,976	140,669	354,645
(血清検査)						
感染症関連検査	47,086	3,165	50,251	48,333	3,681	52,014
薬物関連検査	2,239	576	2,815	2,192	586	2,778
腫瘍関連検査	24,291	2,083	26,374	24,777	2,094	26,871
その他	40,981	8,165	49,146	43,108	8,028	51,136
小計	114,597	13,989	128,586	118,410	14,389	132,799
(生化学検査)	1,419,344	782,182	2,201,526	1,445,162	813,974	2,259,136
合計	1,829,365	979,876	2,809,241	1,866,368	1,012,218	2,878,586

(6) 院外外注検査

検査項目	平成 28 年 度			平成 29 年 度		
	外 来	入 院	総件数	外 来	入 院	総件数
内分泌学的検査	7,326	5,430	12,756	7,149	5,623	12,772
腫瘍関連検査	14,815	5,747	20,562	13,227	3,828	17,055
細胞性免疫検査	1,384	188	1,572	2,425	277	2,702
薬物検査	1,435	312	1,747	1,485	419	1,904
生化学的検査	7,390	4,011	11,401	7,391	4,273	11,664
免疫学的検査	23,932	6,004	29,936	24,559	6,014	30,573
感染症・ウイルス検査	19,984	5,936	25,920	17,643	4,602	22,245
血液学的検査	283	293	576	201	178	379
遺伝子関連検査	197	186	383	159	127	286
微生物学的検査	3,093	4,116	7,209	3,218	5,520	8,738
病理学的検査	258	148	406	233	121	354
尿検査・他	2,922	600	3,522	2,786	631	3,417
合 計	83,019	32,971	115,990	80,476	31,613	112,089

(7) 採血件数

	平成 28 年 度		平成 29 年 度	
	件 数	月 平 均	件 数	月 平 均
採血件数	67,631	279.5	68,399	280.4

(8) 宿日直検査

項 目	平成 28 年 度		平成 29 年 度	
	件 数	月 平 均	件 数	月 平 均
血液型検査	1,651	137.6	1,852	154.3
交差適合試験	1,195	99.6	1,091	90.9
血液製剤払い出し	735	61.2	691	57.6
心電図検査	4,423	368.6	4,729	394.1
合 計	8,004	667.0	8,363	696.9

19 給食業務状況

平成29年度は、引き続き特別食の増加を目標に掲げ、未熟児に対する特別食の調乳HMS-2を追加しました。このことにより、給食総数の増加のみならず、特別食比率も増加しました。また検査食の見直しを行い、注腸食から大腸検査食に変更しました。栄養に関する情報発信として、栄養だよりを作成、毎月デイルームへ掲示しました。また献立アイディア募集箱の意見を参考に委託業者と連携しながら、メニュー改善に努めました。

(1) 年度別給食状況

年 度	一 般 食				特別食	計	1回の食数	特別食比率%
	常食	軟食	流動食	計				
平成25年度	190,869	86,117	59,635	336,621	126,932	463,553	423	27.4
平成26年度	190,806	89,445	51,783	332,034	119,848	451,882	413	26.5
平成27年度	189,566	92,045	56,284	337,895	126,162	464,057	424	27.2
平成28年度	192,865	96,665	45,708	335,238	112,724	447,962	409	25.2
平成29年度	186,206	103,025	49,378	338,609	131,189	469,798	429	27.9

(2) 食種別給食数

総数 469,798食 100%

一般食	338,609食	72.1%	— 常食	186,206食
			— 軟食	65,020食
			— 嚥下調整食	38,005食
			— 流動食	5,114食
			— 調乳	16,451食
			— 濃厚流動食	27,813食

特別食	131,189食	27.9%	— 蛋白コントロール食	61,037食
			— 脂質コントロール食	6,137食
			— カロリーコントロール食	57,281食
			— 術後・潰瘍食	6,105食
			— 調乳 (HMS-2)	503食
			— 大腸検査食	126食

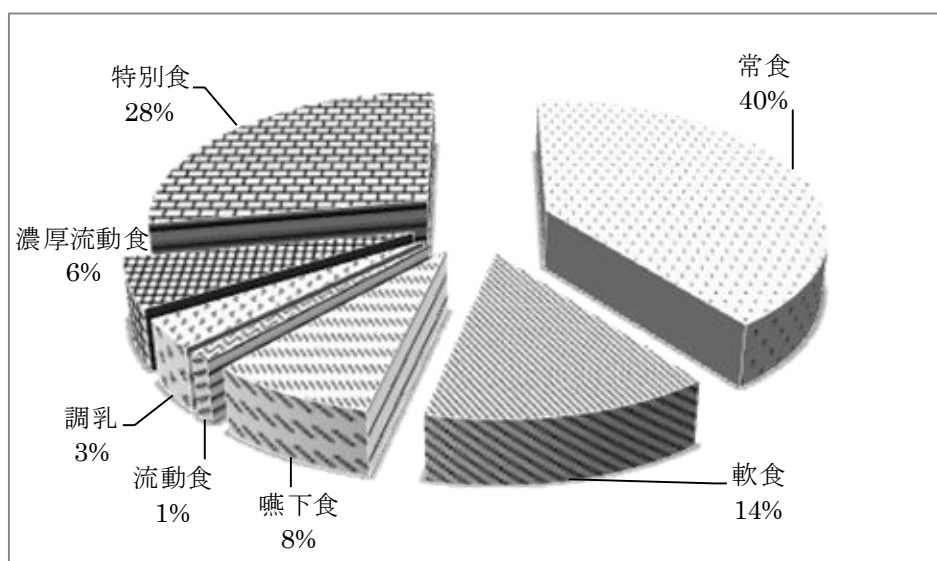
なごみ食 6,750食 (常食として計上)

フリーオーダー食 2,356食 (常食として計上)

定型除去食 62食 (軟食として計上)

検食 4,380食 (常食として計上)

食種別比率



(3) 月別給食数 (平成29年度)

月別	一般食				特別食	計	1回の食数
	常食	軟食	流動食	計			
4月	15,211	8,242	3,987	27,440	9,693	37,133	413
5月	16,835	9,210	3,599	29,644	10,535	40,179	432
6月	15,980	8,390	3,930	28,300	9,710	38,010	422
7月	17,319	9,323	5,172	31,814	10,250	42,064	452
8月	15,941	9,473	4,567	29,981	10,646	40,627	437
9月	15,441	8,905	4,189	28,535	10,772	39,307	437
10月	15,253	9,301	4,201	28,755	11,366	40,121	431
11月	13,793	7,648	3,963	25,404	11,005	36,409	405
12月	14,522	8,621	3,654	26,797	11,456	38,253	411
1月	15,248	7,800	4,167	27,215	12,543	39,758	428
2月	13,929	7,865	4,017	25,811	11,467	37,278	444
3月	16,734	8,247	3,932	28,913	11,746	40,659	437
計	186,206	103,025	49,378	338,609	131,189	469,798	429

(4) 嚥下調整食数

平成26年2月より嚥下調整食の分類を見直し、一口大食ときざみ食をまとめ6段階としました。全食数の8%を占めています。栄養サポートチームでは経口摂取をめざし、早期介入を行っています。

年 度	ゼリー開始食	ミキサー	細きざみ	きざみ	一口大	軟菜食Ⅰ	軟菜食Ⅱ	計
平成25年度	913	10,525	5,340	5,869	4,486	5,637	4,437	37,207
平成26年度	1,647	16,159	7,459	6,498	0	7,885	2,240	41,888
平成27年度	1,730	13,404	5,927	8,074	0	7,738	1,991	38,864
平成28年度	1,235	8,565	5,896	6,683	0	6,227	3,915	32,521
平成29年度	981	9,831	9,649	7,455	0	7,460	2,629	38,005

20 栄養指導・NST業務状況

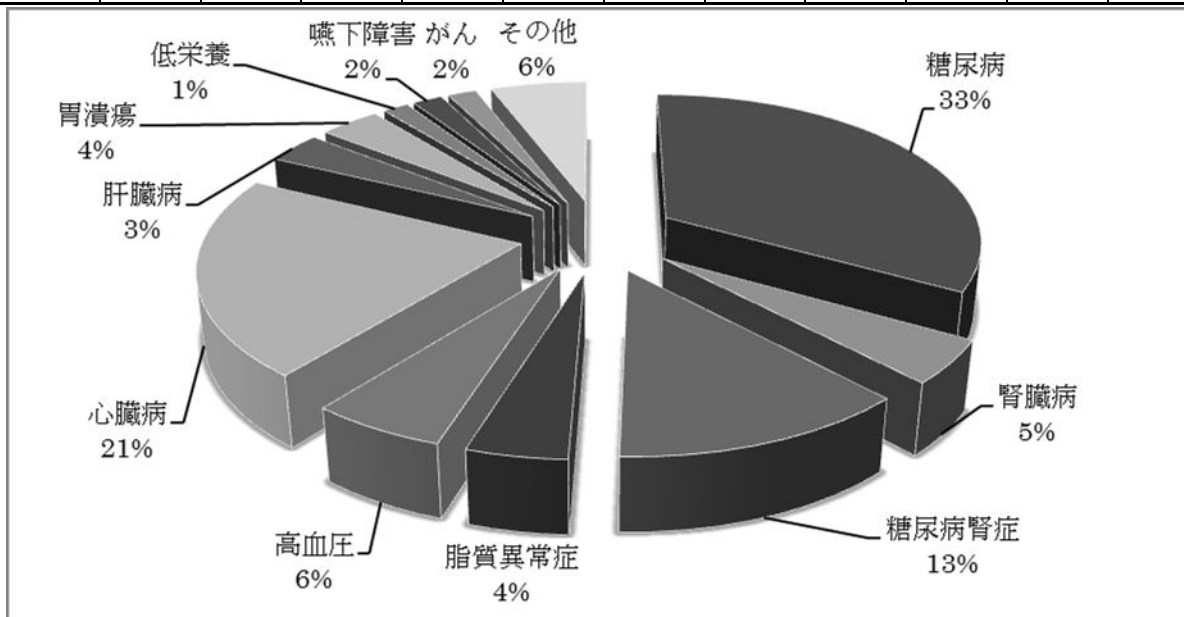
(1) 栄養指導状況

個別指導件数に占める入院個別指導の割合が増えています。透析予防の件数は、やや減っています。疾患別では糖尿病、糖尿病腎症合わせて46%と糖尿病関連の指導が半数を占めています。心臓カテーテル入院でのクリニカルパス指導件数が21%と次いで多く、件数、割合が共に増えています。

		個別指導		集団指導				
		個別指導	透析予防指導	糖尿病教室		母親教室	イベント	
				基礎	応用			
回数	総数	2,481	361	11	12	12	4	
	月平均	206.8	30.1	0.9	1.0	1.0		
人数	総数	2,481	361	98	104	206	184	
	月平均	206.8	30.1	8.2	8.7	17.2		
内訳	総数	外来	922	361	30	39	206	4月 糖尿病市民講座 56名
		入院	1,559		69	64	0	
		家族他	742	35	40	32	0	
	月平均	外来	76.8	30.1	2.5	3.3	17.2	5月 看護の日 12名
		入院	129.9		5.8	5.3	0.0	9月 糖尿病公開講座 42名
		家族他	62.3	2.9	3.3	2.7	0.0	11月 糖尿病市民講座 74名
時間	総時間	1,240.5	180.5	11	12	12		
	1回	30分	30分	1時間	1時間	1時間		

個別栄養指導(疾患別件数)

糖尿病	腎臓病	糖尿病腎症	脂質異常症	高血圧	心臓病	肝臓病	胃潰瘍	低栄養	嚥下障害	がん	その他
944	132	361	123	165	611	95	103	44	51	49	164



(2) N S T回診状況

N S T（栄養サポートチーム）は食事だけでなく、経管栄養、静脈栄養など総合的かつ専門的な栄養管理を目指し、医師、看護師、薬剤師、栄養士、検査技師、言語聴覚士など、多職種が連携して活動を行っています。平成22年の診療報酬改定にて、栄養サポートチーム加算（200点／週／人）が新設され、平成23年3月から施設基準を満たし算定を行っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 (人)
平成25年度	256	191	200	288	197	218	188	212	215	204	215	252	2,636
平成26年度	182	172	254	176	193	209	216	189	186	167	156	184	2,284
平成27年度	162	140	144	163	126	142	138	127	114	125	135	151	1,667
平成28年度	125	119	138	128	196	136	128	162	164	185	172	156	1,809
平成29年度	126	200	192	165	199	172	223	159	174	162	137	152	2,061

※回診回数：平成24年度～平成26年度週3回、平成27年度から週2回

〔介入状況〕

N S T加算算定開始後は嚥下障害や食種・補助食の相談を中心に介入患者数を増やしてきました。嚥下障害による介入依頼が半数以上を占めています。平成29年度からは新たにCONUT変法による栄養スクリーニングによる介入を導入しました。ICUからの栄養経路、輸液内容についての介入依頼も増加しました。介入終了理由については退院・転院が半数を占めています。

	経管栄養 (下痢含む)	褥瘡 /※CONUT	嚥下障害	食種・ 補助食	輸液	栄養判定 ・栄養経路	その他	合計 (人)
平成25年度	65 (10.5%)	8 (1.3%)	316 (51.2%)	166 (26.9%)	10 (1.6%)		52 (8.4%)	617
平成26年度	77 (12.0%)	1 (0.2%)	325 (50.7%)	183 (28.5%)	27 (4.2%)		28 (4.4%)	641
平成27年度	66 (14.9%)	1 (0.2%)	269 (60.7%)	84 (19.0%)	20 (4.5%)		3 (0.7%)	443
平成28年度	56 (11.4%)	5 (1.0%)	283 (57.7%)	82 (16.7%)	23 (4.7%)	7 (1.4%)	35 (7.1%)	491
平成29年度	49 (8.6%)	0 / 9 (1.6%)	335 (58.7%)	130 (22.8%)	37 (6.5%)	9 (1.6%)	1 (0.2%)	570

	退院	転院	改善	不変	死亡	悪化 (ターミナルなど)	合計 (人)
平成25年度	206 (32.3%)	104 (16.3%)	225 (35.3%)	7 (1.1%)	56 (8.8%)	39 (6.1%)	637
平成26年度	195 (30.8%)	73 (11.5%)	266 (42.0%)	18 (2.8%)	49 (7.7%)	32 (5.1%)	633
平成27年度	98 (20.7%)	53 (11.2%)	235 (49.7%)	41 (8.7%)	22 (4.7%)	24 (5.1%)	473
平成28年度	156 (32.5%)	81 (16.9%)	178 (37.1%)	15 (3.1%)	37 (7.7%)	13 (2.7%)	480
平成29年度	185 (32.6%)	99 (17.4%)	199 (35.0%)	15 (2.6%)	30 (5.3%)	40 (7.1%)	568

〔入院期間と介入期間〕

病院全体として入院期間短縮に取り組む中で、NST介入者の入院期間と介入期間は下表のとおりです。介入者の高齢化が進む中、入院期間が短くなるような介入を目指しています。平成29年度の介入患者の介入期間に変化はありませんが、入院期間は前年度より短縮しました。

	年齢（歳）	入院期間（日）	介入期間（日）
平成 25 年度	76.0	44.0	18.0
平成 26 年度	76.0	39.0	14.0
平成 27 年度	75.0	54.8	14.3
平成 28 年度	73.7	50.0	21.7
平成 29 年度	76.1	46.3	21.2